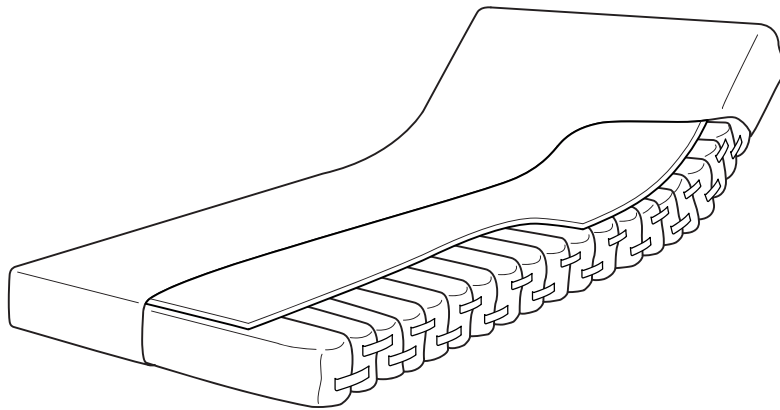


## 取扱説明書

# エアマットレス こちあ利楽シリーズ(清拭タイプ・通気タイプ)

保証書付

7F11068700A2



### まえがき

このたびは、エアマットレス：こちあ利楽シリーズ（以下、エアマットレス）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、エアマットレスを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- このエアマットレスをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- このエアマットレスを使用する方ばかりでなく、付き添いの方や介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は清拭タイプ・通気タイプ共通です。
- この「取扱説明書」はお読みになった後でも、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このエアマットレスは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

# もくじ

---

<b>1</b>	使用目的	1
<b>2</b>	各部の名称と部品の確認	2~4
<b>3</b>	安全に使用するための注意事項	5~11
<b>4</b>	機能	12・13
<b>5</b>	設置について	
	1. マットレス本体の設置	14
	2. ACアダプターの設置	15
	3. ポンプ本体の設置	16~19
	4. ベッドリンクケーブル（別売）とベッドの配線 （ベッドリンク機能を使用する場合のみ）	20~42
	5. 電源コードの配線と接続	43~47
<b>6</b>	使用方法	
	1. 操作パネルの名称と機能	48
	2. 使用開始方法/かたさ自動運転機能について	49
	3. シーツのかけかた	50
	4. 各機能の操作方法	51~57
	5. CPR機能の使いかた	58
<b>7</b>	お手入れと点検	
	1. お手入れ	59~64
	2. 点検	65~67
<b>8</b>	故障かな？と思ったら	68~72
<b>9</b>	長期保管・輸送と廃棄について	73・74
<b>10</b>	仕様	75
<b>11</b>	適合品	76・77
<b>12</b>	アフターサービスについて	78

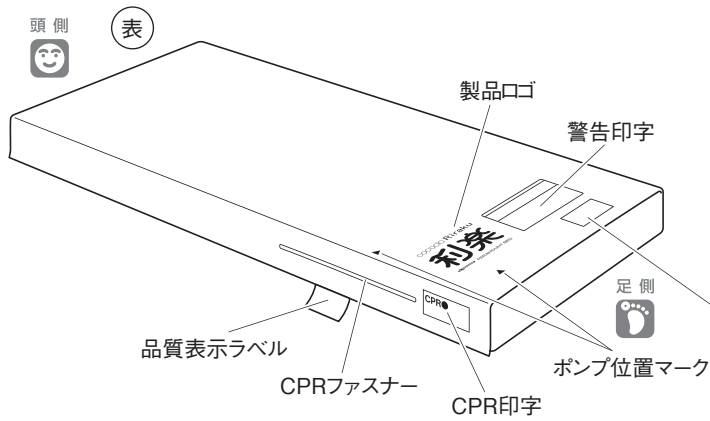
## 1 使用目的

■ここちあ利楽シリーズはポンプ内蔵型のエアマットレスであり、医療施設・高齢者施設やご家庭で療養される際に、身体にかかる圧力を分散させることを目的に作られています。

## 2 各部の名称と部品の確認

■ マットレス本体とポンプ本体が入っていた梱包材（段ボール・ビニール袋）は、長期保管や輸送の際に使用しますので、大切に保管してください。（73・74ページ参照）

### <マットレス本体>



サイズ印字内容:

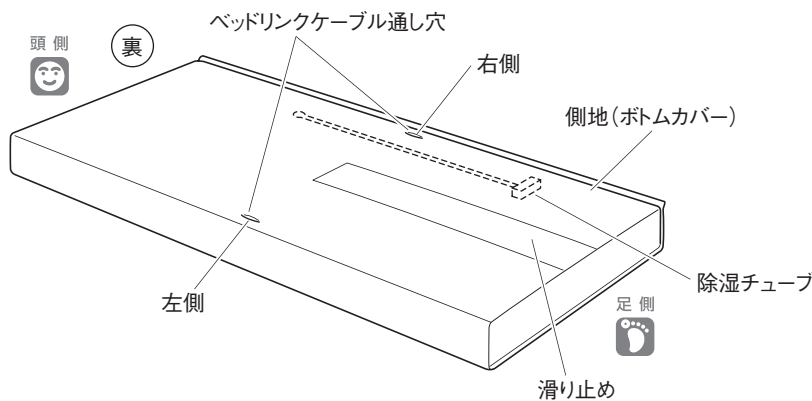
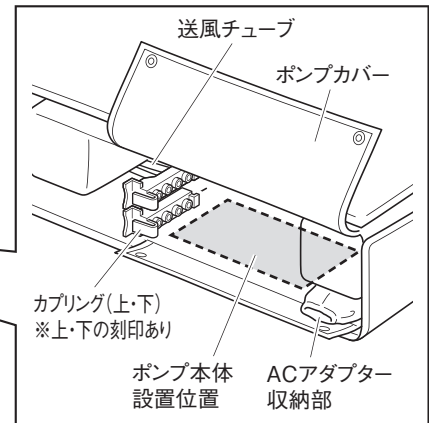
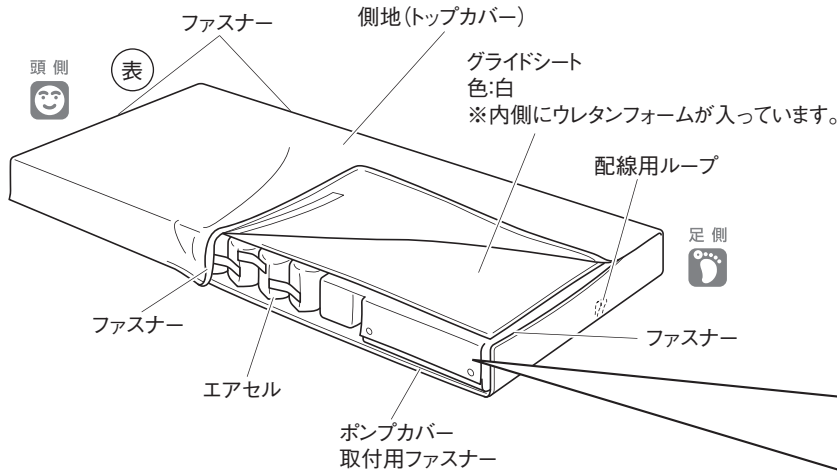
**83** ...ボトム幅83cm用  
...ボトム長さ191cm用

**91** ...ボトム幅91cm用  
...ボトム長さ191cm用

**mini 83** ...ボトム幅83cm用  
...ボトム長さ180cm用

**mini 91** ...ボトム幅91cm用  
...ボトム長さ180cm用

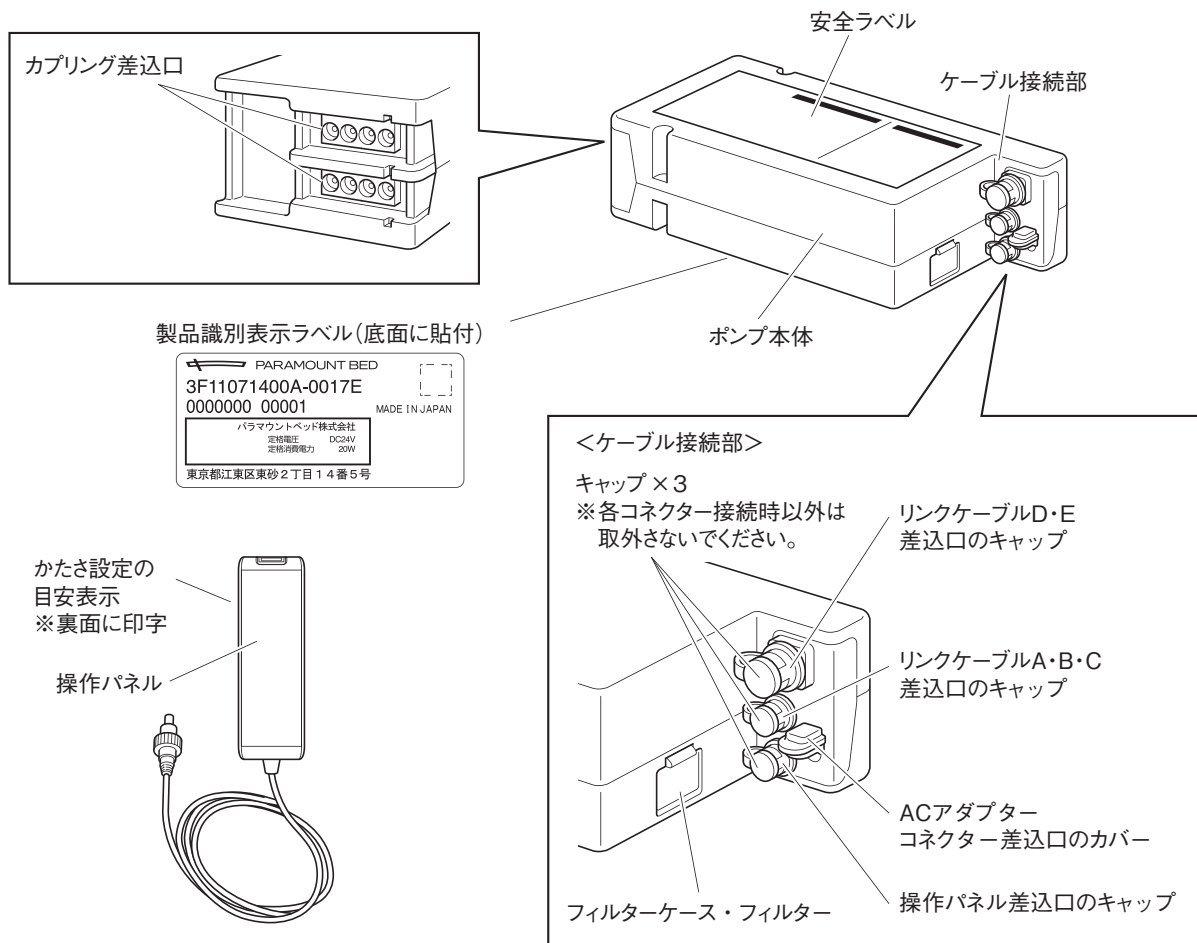
サイズ印字



※このエアマットレスには表・裏・頭側・足側があります。製品ロゴの印刷がある面を表にし、品質表示ラベルが使用される方の足側に来るように設置してください。

## 2 各部の名称と部品の確認

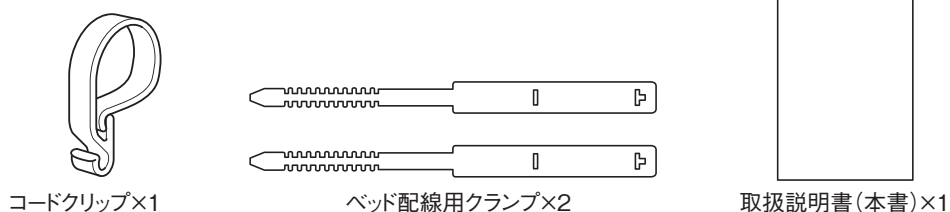
### <ポンプ本体・操作パネル>



### <ACアダプター・電源コード>



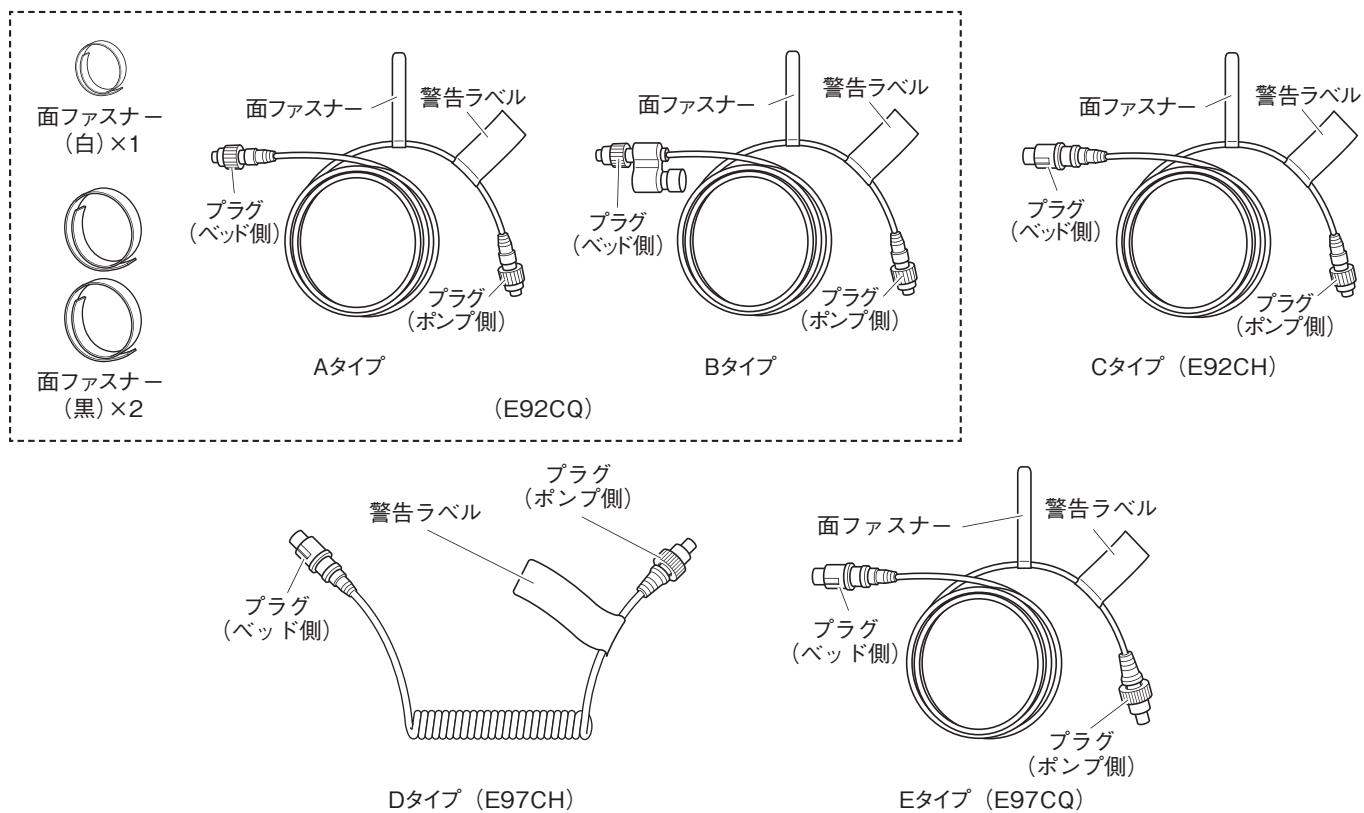
### <その他付属品>



<ベッドリンクケーブル>

※別売品



※ベッドリンクケーブルはご使用になるベッドにより適合品が異なります。詳しくは21ページを参照してください。



### 3 安全に使用するための注意事項

■必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

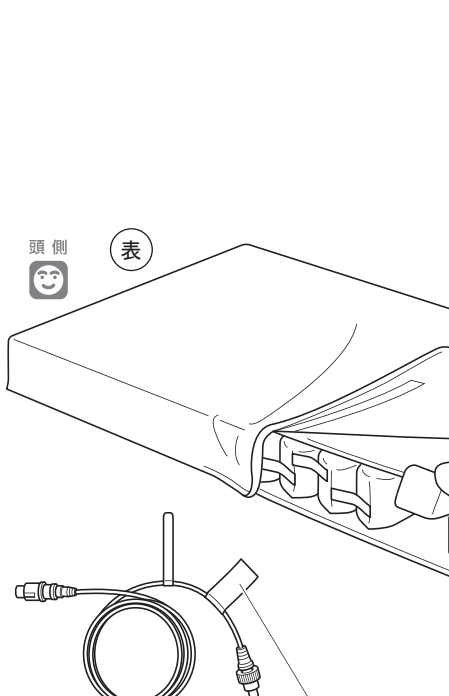
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「△警告」と「△注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

[警告印字・CPR印字・警告ラベル・安全ラベルについて]


- 注意事項の中で、特に注意していただきたい項目をラベルなどにして下記の場所に印刷・貼付してあります。はがしたり傷つけたりしないでください。
  - ・マットレス本体表面と側面・ポンプ本体の上面・操作パネルの裏面・電源コード
  - ・ベッドリンクケーブル
- 警告印字・CPR印字が傷ついたり、はがれたりした場合は、販売店から新しい側地（トップカバー）を取寄せ、交換してください。
- 警告ラベル・安全ラベルが傷ついたり、はがれたりした場合は、販売店から新しい警告ラベル・安全ラベルを取寄せ、貼り直してください。



頭側 表

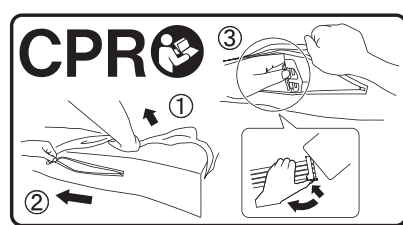
足側 裏

※マットレス本体表面に印刷されています。



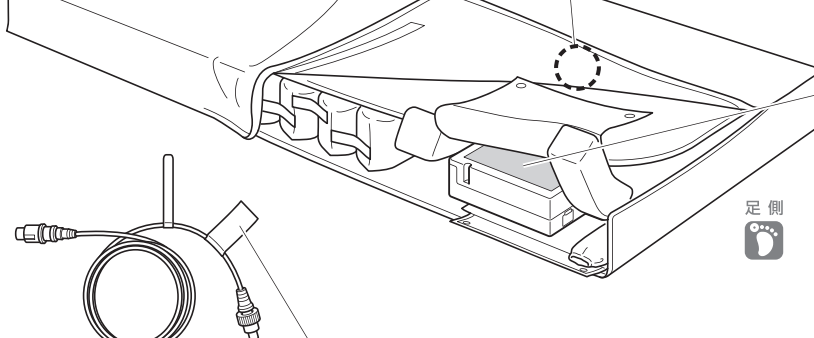
**WARNING**

**CAUTION**

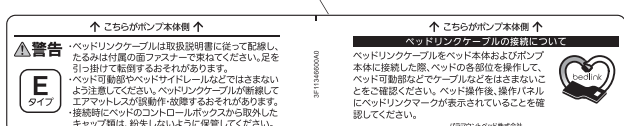


① CPRラベルを剥がす  
② CPRラベルをマットレス本体側面に貼る  
③ CPRラベルをしっかりと貼る

※マットレス本体側面に印刷されています。



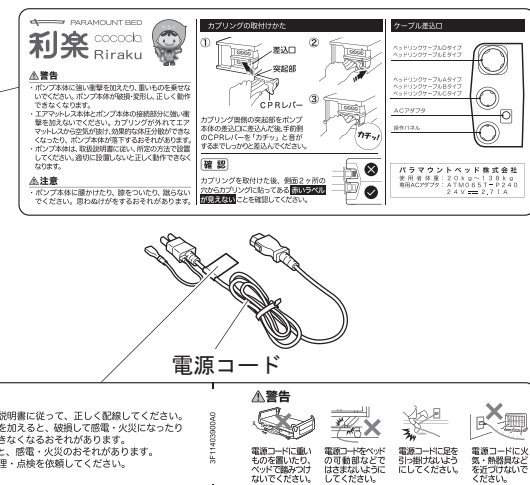
電源コード



↑こちらがポンプ本体側 ↑

**警告** ベッドリンクケーブルは取扱説明書に従って配線し、たるみは付属の留め具で固定してください。足を引っかけると破損するおそれがあります。ベッド可動部やベッドサイドレールなどでは使えないようにご注意ください。ベッドリンクケーブルが断線してエアマットレスが膨らみ・破損するおそれがあります。接続時にベッドのコントロールボックスから取付したキャップ類は、紛失しないように保管してください。

↑こちらがベッド本体側 ↑  
ベッドリンクケーブルの接続について  
ベッドリンクケーブルをベッド本体およびポンプ本体に接続した際、ベッドの各部位を操作して、ベッド可動部などでケーブルなどを挟まないことをご確認ください。ベッド操作後、操作パネルにベッドリンクケーブルが表示されていることを確認してください。




**警告** 電源コードは必ず取扱説明書に従って、正しく配線してください。電源コードに無理な力を加えると、破損して感電・火災になったり、脱落して正しく動作できなくなるおそれがあります。A/Cアダプタを挿入すると、感電・火災のおそれがあります。傷んだ電源コードは修理・点検を依頼してください。

**警告** 電源コードが電線・パイプなどに引っかかると、破損するおそれがあります。電源コードに異常を感じた場合は、電源コードを交換してください。

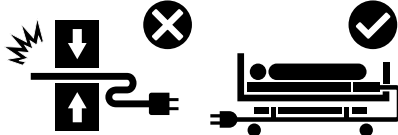

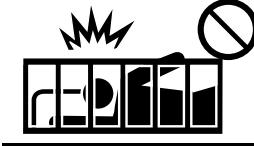



**警告** 電源コードが火災の原因になるおそれがあります。電源コードが破損した場合は、電源コードを交換してください。






●側地（トップカバー）の警告印字のシンボルマークは、それぞれ下記の内容を表しています。

 取扱説明書を参照してください。

## 警告

- ①  ① ■電源コードのはさみ込みに注意してください  
●配線は43～47ページを参照して、正しく行ってください。ベッド可動部へのはさみ込みなどにより、電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- ②  ② ■電源コードはベッド（エアマットレス）への乗り降りやベッドサイドテーブルなどを使用しない側に配線してください  
●電源コードに足を引っ掛けて転倒するおそれがあります。また、電源コードの外れ・破損などにより感電・火災のおそれがあります。  
●足側のコンセントを使用する場合は、余分な電源コードを付属のケーブルクランプで束ねてください。
- ③  ③ ■身体のはさまれに注意してください  
●ベッドサイドレールやベッド用グリップなどと一緒に使用される場合は、それらの製品やベッドと、エアマットレスとのすき間に身体をはさまれると、けがをしたり、圧迫により窒息したりするおそれがあります。  
●本製品は、特性上、沈み込みやすいので十分注意してください。
- ④  ④ ■ベッドサイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください  
●ベッドサイドレールを乗り越えて転落し、けがをするおそれがあります。  
●このエアマットレスは他のマットレスに比べ厚みがあるため、相対的にベッドサイドレールが低くなり、ベッドサイドレールを乗り越えやすくなるのでご注意ください。
- ⑤  ⑤ ■乗り降りしたり、端座位をとったりする際には転落・転倒に注意してください  
●ベッド（エアマットレス）へ乗り降りしたり、端座位をとったりする際は『しっかりモード』（56ページ参照）に設定し、エアマットレス全体が硬くなってから行ってください。また、看護する方や付き添いの方などが身体を支えてあげるかベッド用グリップなどを持たせて滑り落ちないようにしてください。  
●本製品は特性上沈み込みやすく、特にポンプ本体とマットレス本体の境目は段差になりやすいため十分注意してください。
- ⑥  ⑥ ■側地（トップカバー）のファスナーやポンプカバーが開いた状態で使用しないでください  
●開いているファスナーやポンプカバーから水分などが浸入し、ショートして感電したり、故障したりする原因となります。

## 注意

- ⑦  ⑦ ■エアマットレスを移動する際は、ポンプ本体を取外してください  
●ポンプ本体が落下して、ポンプ本体が破損・変形するおそれがあります。
- ⑧  ⑧ ■エアマットレスの表面（ひょうめん）に針など鋭利なものを接触させたり、衣服のポケットに鋭利なものを入れた状態で使用したりしないでください  
●内部のエアセルが破損するおそれがあります。
- ⑨  ⑨ ■火気または温度の高いものを近づけないでください  
●エアマットレスの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・発火などの原因となります。

### 3 安全に使用するための注意事項



#### ■チューブ(ドレーン)などがはさまれないように注意してください

- エアマットレスとベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどのすき間にチューブ(ドレーン)などがはさまれると、チューブ(ドレーン)などが抜けたり、つぶれたりするおそれがあります。

#### ■身体の一部がベッドやベッドサイドレールなどのすき間に入った状態で、操作パネルを操作しないでください

- すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

#### ■エアマットレスと組合せて使用するベッドなどは弊社が指定する適合品をご使用ください

- 指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりエアマットレスが破損したりするおそれがあります。適合品については、76・77ページを参照してください。

#### ■乳幼児やお子様には使用しないでください

- 本製品は乳幼児やお子様向けには設計されていません。エアマットレスとベッドサイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれてけがをしたり、圧迫されて窒息したりするおそれがあります。

#### ■エアマットレスはベッドの幅・長さにあわせてものをご使用ください

- ベッドの幅や長さにあわないエアマットレスを使用すると意図せぬすき間が発生し、はさまれてけがをするおそれがあります。

#### ■人が乗った状態での移動はしないでください

- マットレス本体を移動する際は、人や重いものが乗っていない状態で移動してください。マットレス本体の上に人や重いものが乗った状態で移動すると、人が転落してけがをしたり、マットレス本体が破損したりするおそれがあります。

#### ■エアマットレスがベッドからはみ出して滑り落ちないように注意してください

- ベッドの背あげをする際や使用する方がベッドから乗り降りする際に、エアマットレスがベッドからはみ出すとエアマットレスが滑り落ち、使用する方が転落・転倒するおそれがあります。エアマットレスは特性上、重量が軽いので十分に注意してください。

#### ■エアマットレスの上で立ちあがったり、飛び跳ねたりしてエアマットレスに衝撃を与えないでください

- 転落・転倒してけがをしたり、エアマットレスが破損したりするおそれがあります。

#### ■エアマットレスは使用する方の容体にあわせて使用してください

- 使用する方の容体によっては、エアマットレスの操作で容体を悪化させるおそれがあります。

#### ■使用者体重の範囲外の方には使用しないでください

- このエアマットレスの使用者体重は20～138kgです。使用者体重未満の方や超える方が使用すると、効果的に体圧を分散できません。

#### ■複数の方が同時にエアマットレスに乗らないでください

- 効果的に体圧を分散できず、床ずれが発生したり、エアマットレスが破損したりするおそれがあります。

#### ■うつぶせ寝はしないでください

- 長時間うつぶせ寝をすると窒息するおそれがあります。

#### ■ポンプ本体は手順に従い正しく設置してください。また、ポンプ本体がマットレス本体に確実に接続・固定されていることを確認してください

- 誤った設置や接続・固定が不十分だと、正常に動作しなかったり空気が供給できなくなったりして効果的に体圧を分散できず、床ずれが発生するおそれがあります。

- 接続・固定が不十分だとポンプ本体が落下してけがをしたり、破損・変形したりするおそれがあります。また、破損によりショートして感電・火災のおそれがあります。

※正しい設置方法は16～19ページを参照してください。



## 警告

### ■表・裏・頭側・足側を正しく設置して使用してください

- 効果的に体圧を分散できません。

### ■ポンプ本体およびケーブル接続部に強い衝撃を加えたり、腰・膝などで人の荷重をかけたり、重いものを載せたりしないでください

- ポンプ本体が破損・変形し、感電・火災のおそれがあります。

### ■マットレス本体とポンプ本体の接続部分に強い衝撃を加えないでください

- マットレス本体とポンプ本体の接続部分へ、車いす・介護リフトなどを衝突させたり、膝・腰を乗せたりすると、カップリングが外れてエアマットレスから空気が抜け、効果的な体圧分散ができなくなるおそれがあります。

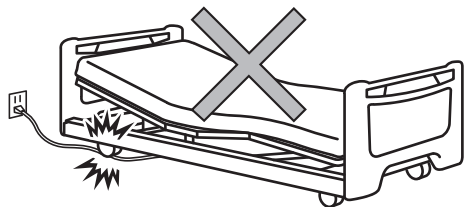
### ■電源コード・電源プラグは正しく配線してください(43~47ページ参照)

- 間違った配線をする、手・足などが引っ掛かりけがをするおそれがあります。また、電源コードや電源プラグがベッドの可動部にはさまれて断線し、感電・火災のおそれがあります。

### ■電源コードに足を引っ掛けないように注意してください

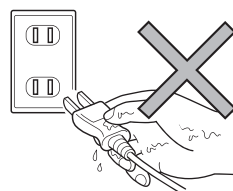
- 転倒してけがをするおそれがあります。
- 電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

### ■コード類(電源コードなど)を傷つけないでください



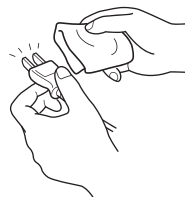
- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
  - ・ベッドの可動部でコード類をはさまないようにしてください。
  - ・コード類に重いものを置いたり無理な力を加えたりしないようにしてください。
  - ・ベッドでコード類を踏みつけないでください。
- 傷んだコード類は修理(交換)を依頼してください。

### ■電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください



- ショートして感電したり、故障したりするおそれがあります。

### ■電源プラグにほこりを付着させないでください



- 電源プラグの表面にほこりが付着していると水分を含んで電流が流れ、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。

- 電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。

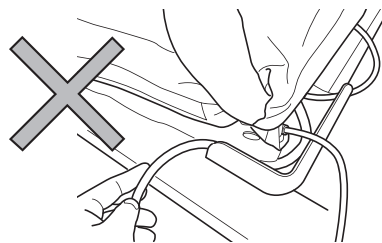
### ■電源プラグに無理な力を加えないでください

- 電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

### ■電源プラグを抜く際は、電源プラグを持って抜いてください

- 電源コードのみを持って引き抜くとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

### ■INTIME1000シリーズ・INTIME2000シリーズの場合は、マットレス止め(足側)とエアマットレスの間に、コード類(電源コード・操作パネルのケーブル・ベッドリンクケーブルなど)をはさまないように配線してください



- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。また、エアマットレスが故障する原因となります。

### 3 安全に使用するための注意事項



#### ■ポンプ本体や操作パネル・ベッドリンクケーブルなどの電装品の取扱いに注意してください

- エアマットレスが誤動作してけがをしたり、故障の原因となったりします。また、ショートなどにより感電・火災のおそれがあります。
  - ・踏みつけたり、押しつけたり、無理な力をかけたりしないでください。
  - ・ぶつけたり傷つけたりしないでください。
  - ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
  - ・水をかけたり濡れた手で触ったりしないでください。
- 傷んだ操作パネルなどの電装品は、修理(交換)を依頼してください。

#### ■エアマットレスの電源は直接コンセントからとってください (ACアダプターを使用する場合のみ)

- 延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

#### ■ベッドリンクケーブルは正しく配線し、たるみは付属の面ファスナーで束ねてください (20~42ページ参照)

- 足を引っ掛けて転倒し、けがをするおそれがあります。

#### ■操作パネルは所定の位置 (ベッドサイドレール・ベッドの足側のボード) の上部に操作面をベッドの外側に向けて引っ掛けてください

- 所定以外の位置に引っ掛けたり、操作面をベッドの内側に向けて引っ掛けたりすると、操作パネルのボタンを誤って押すなどし、エアマットレスが思わぬ動きをしてけがをするおそれがあります。
- ベッドの可動部やベッドサイドレールなどにはさまれて断線し、エアマットレスが誤動作・故障するおそれがあります。

#### ■ポンプ本体をゆかに落としたり、壁などにぶつけたりしないでください

- ポンプ本体が破損し、感電・火災の原因となります。
- ポンプ本体は、両手でしっかりと持つてください。

#### ■ベッドリンクケーブルを抜き差しする際は、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください

- エアマットレスやベッドなどが誤動作したり、故障したりするおそれがあります。

#### ■エアマットレスはベッド上に直接設置し、エアマットレスの上にはシーツやマットレスパッド以外のものを敷かないでください

- 効果的に体圧分散できなくなるおそれがあります。また、厚みが増すと、ベッドサイドレールを乗り越えやすくなり、使用する方がベッドから転落したり、ベッドサイドレールとのすき間に身体をはさまれたりして、けがをするおそれがあります。

#### ■操作が理解できないと思われる方 (12歳以下のお子様や認知症の方など) に操作させないでください

- 操作が理解できないと思われる方が1人で操作パネルを操作した場合、誤ってエアマットレスとベッドやベッドサイドレールなどのすき間に身体がはさまれてけがをしたり、効果的に体圧を分散できなくなり、床ずれが発生したりするおそれがあります。

#### ■心臓マッサージなどの緊急対応が必要なときは、CPR機能を使用してください (58ページ参照)

- CPR機能を使用しないと迅速な処置ができなくなり、症状が悪化するおそれがあります。

#### ■エアマットレスを壁などに立てかけないでください

- エアマットレスが倒れて電装品が破損し、感電・火災のおそれがあります。

#### ■エアマットレスをMRIなどの強い電磁波環境に置かないでください

- エアマットレス誤動作の原因となったり、エアマットレスが故障したりする原因となります。

#### ■エアマットレスの上でタバコを吸ったりしないでください

- 火災などの原因となります。

## 警告

### ■側地や詰め物が汚れたり破損したりした状態では使用しないでください

- 汚物や血液などの汚れは感染症を引き起こす原因となる場合があります。
- 側地が破損した状態で使用したり、汚物や血液などが付着したまま放置したりすると、汚物や血液などがエアマットレス内部に染み込み、感染症などを引き起こす原因となる場合があります。汚物や血液などが付着した場合は、ただちに拭き取ってください。
- 側地が汚れた場合は、「お手入れ」(59~64ページ参照)に従って、清拭消毒・洗浄してください。
- 側地が破損した場合は、側地を交換してください。交換方法などについては、こちあセンター(78ページ参照)までお問い合わせください。
- エアマットレス内部が汚れたり破損したりした場合は、販売店またはこちあセンター(78ページ参照)までご連絡ください。

### ■水などをこぼさないでください

- ポンプ本体や操作パネルなどの電装品に、水などをこぼさないでください。ショートして感電したり、故障したりする原因となります。誤ってこぼしてしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはこちあセンター(78ページ参照)までご連絡ください。

### ■ベッド(エアマットレス)付近では携帯電話などを使用しないでください

- エアマットレス誤動作の原因となります。
- やむを得ずエアマットレス付近で携帯電話などを使用する必要がある場合は、携帯電話などをポンプ本体から30cm以上離してご使用ください。

### ■電気掛毛布などの電気機器を使用する場合は、以下の項目に注意してください

- 温度を40℃以下にしてください。エアマットレスのポンプ本体が発熱し、火災のおそれがあります。また、エアマットレスの故障の原因となります。
- ベッドのキャスターや可動部でコード類(電源コードなど)をはさまないように設置してください。コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
- ご使用になる電気機器の取扱説明書などで、安全な使用方法をご確認のうえご使用ください。
- 電気敷毛布など、身体の下に敷く電気機器は使用しないでください。

### ■お手入れをする際は、電源プラグおよびベッドリンクケーブルを抜いて行ってください

- 誤動作によりエアマットレスが動作し、けがをすることがあります。

### ■電子治療器を使用するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください

- 電子治療器(マイクロ波治療器、超短波治療器など)を同時に使用した場合、エアマットレスの故障や誤動作の原因となります。

### ■お客様による修理・改造はしないでください

- 思わぬけがや破損の原因となります。

### ■エアマットレスを初めて使用する際や長期保管後使用を再開する際は、本取扱説明書をよくお読みになり、エアマットレスの使用方法などを十分ご理解のうえ使用してください

- 誤操作するなどして、思わぬけがをすることがあります。

### ■被災したエアマットレスは点検・修理を依頼してください

- 地震・火災・水害などで被災したエアマットレスは、お買い上げの販売店またはこちあセンター(78ページ参照)まで点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災やエアマットレスの破損・変形による動作の異常によって、けがをすることがあります。

### ■マットレス本体・ポンプ本体・操作パネル・ベッドリンクケーブルは定期的に点検してください(65~67ページ参照)

- 使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各モードの動作、破損の有無などを点検してください。摩耗・劣化した状態で使い続けると、思わぬけがをすることがあります。

### ■ベッド搬送する際は、電源プラグをコンセントから抜いてください(ACアダプターを使用する場合のみ)

- 電源プラグをコンセントに差したままベッド搬送すると、電源プラグや電源コードが破損・断線して、感電・火災のおそれがあります。

### 3 安全に使用するための注意事項



#### ■マットレス本体を落とさないでください

- カプリングが破損するおそれがあります。

#### ■体圧分散機能を確保するために、下記の点に注意してください

- 床ずれ予防は専門家にご相談ください。このエアマットレスだけでは床ずれは予防できません。全身的な管理（栄養状態の管理、基礎疾患の管理など）が必要です。床ずれ予防を行うにあたっては医師、看護師、介護相談員などの専門家にご相談ください。
- このエアマットレスは、総合的な床ずれケアのためのひとつの道具です。体位変換を不要にするものではありません。このエアマットレスの使用と並行して、体位変換などのケアを行ってください。

#### ■エアマットレスの上にものを載せた状態で動作させないでください

- エアマットレスからものが落下し、破損の原因となります。

#### ■マットレス洗淨機やオートクレーブ滅菌器・オゾン殺菌器・洗濯機などでは洗淨しないでください

- エアマットレスや洗淨・殺菌設備などが変質・破損・劣化するおそれがあります。

#### ■氷まくらや保冷剤などの冷却作用のあるものはエアマットレスに直接載せないでください

- エアマットレスに急激な温度変化を与えると、内部で結露が起こることがあります。結露により、側地やエアマットレス内部が劣化するおそれがあります。

#### ■スプレータイプの殺虫剤をエアマットレスに直接噴射しないでください

- 殺虫剤に含まれる溶剤によって、ポンプ本体などの樹脂部品などが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

#### ■空気を入れた状態のエアマットレスを無理に折り曲げないでください

- 破損・変形の原因となります。

#### ■保管の際は、ポンプ本体をマットレス本体から取外して保管してください

- 接続状態で保管すると、ポンプ本体・マットレス本体の破損の原因となります。  
※正しい保管方法は73・74ページを参照してください。

#### ■ポンプ本体とエアセルのすき間に足の指などをはさまないように注意してください

- けがをするおそれがあります。

#### ■電源プラグはすべての配線が終了してからコンセントに差し込んでください

- 電源プラグがコンセントに差し込まれたまま操作パネルの取付け・取外しを行うと、操作パネルやポンプ本体が破損するおそれがあります。

#### ■伝い歩きをする際は、操作パネルのフックに力がかからないように注意してください

- 操作パネルのフックが破損するおそれがあります。



## 4 機能

■このエアマットレスには以下の機能や設定モードがあり、エアセルの内圧を変化させることができます。



●各機能の操作方法やモードの切替方法は、48～57ページを参照してください。

- ①かたさ自動運転機能 ●使用される方の体重にあわせてエアセルの内圧を自動で変更します。（初期設定はON、初期かたさは5）  
※使用者体重20～138kg



- 体重に加えて、ベッドの背あげや使用する方の寝姿勢（ポジショニングの状況や座位など）・体形（骨突出や円背・下肢拘縮など）にあわせて、かたさは自動設定されます。
- かたさ自動運転中に使用する方が10分以上離床すると、かたさは5に自動設定されます。
- 使用する方が臥床すると、5～15分程で使用する方の体重にあわせてかたさに設定されます。

- ②かたさ手動運転機能 ●エアセルの内圧を手動で変更します。（初期設定はOFF）

※かたさ設定の目安

かたさ	2	3	4	5	6	7	8
体重(kg)	20～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75～84

かたさ	9	10	11	12	13	14	14△
体重(kg)	85～94	95～104	105～114	115～124	125～134	135～138	※

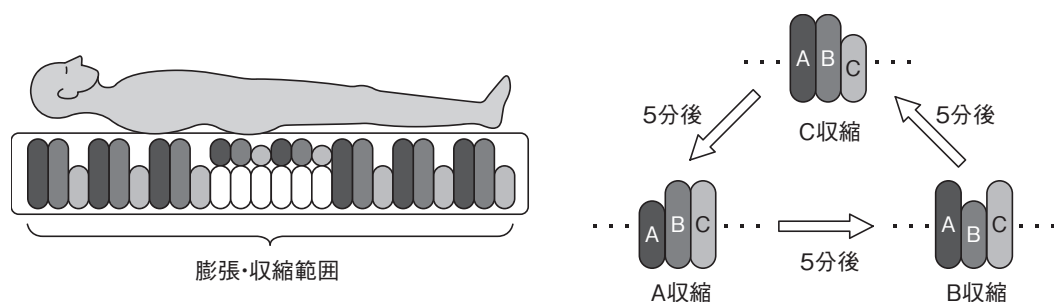
※高体重の方がベッドの背をあげたときに、14より硬いかたさが必要な際に設定します。



- 高体重の方が背あげ時に底ついてしまう場合、かたさ14より1つ上のかたさ「14△」をご使用ください。（2時間でオートOFF）

- ③圧切替機能

- エアセルが3連切替で順次膨張収縮を繰り返し、身体にかかる圧力を順次開放します。  
※ON/OFFを切替えることができます。（初期設定は、ON）



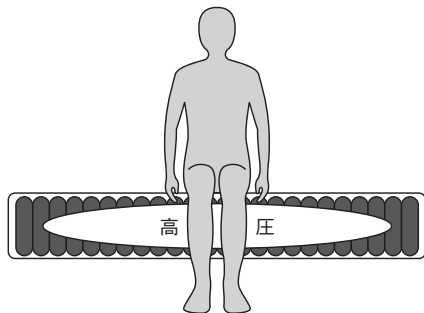
- でん部のエアセルは2層構造式で、上部のみ圧切替します。

## 4 機能

- ④ しっかりモード ●ベッドへの乗り降りや端座位をとったり体位変換を行いやすいように、エアセルの内圧を上昇させます。(体重によらず、同じ内圧になります)  
※ON/OFFの切替えができます。(初期設定は、OFF)  
※ONに設定しても、60分経過すると自動的にOFFになります。



●端座位をとる際には、より姿勢を安定させるためにしっかりモードをお使いください。



●使用する方の容体により使用時間を調整してください。通常より高いエアセルの内圧状態が続くことで効果的に体圧を分散できず、床ずれが発生するおそれがあります。

- ⑤ ターボ運転 ●電源が供給された際や、しっかりモードをONにした際に、マットレスを高速で膨張させます。



●ターボ運転時は、ポンプの音が大きくなります。  
●ターボ運転時は、操作パネルの「準備中」表示が点灯します。

- ⑥ 除湿機能 ●エアマットレス内部に定期的に空気を送り出すことで、エアマットレス内に浸透した湿気や熱を排出します。  
※ON・OFFを切替えることができます。(初期設定は、ON)
- ⑦ 操作音設定 ●操作パネルの操作音のON/OFFを選択できます。(初期設定は、ON)
- ⑧ 停電対策機能 ●停電時は空気の排出を自動的に停止します。  
※使用状況により異なりますが、2週間空気を保持することができます。ただし、停電中はエアマットレスの圧切替などの除圧効果や機能は働きませんので、使用する方の状態に注意してください。
- ⑨ 背あげ時/背さげ時の圧迫軽減機能 ●ベッドの背角度が20°以上のとき、背あげ動作時および背さげ動作時に高速で圧切替を行い、上半身の圧迫を軽減します。  
※ベッドリンクケーブル(別売)接続時のみ使用可能です。
- ⑩ ベッドからの電源供給機能 ●ベッドリンクケーブルを通してベッドからエアマットに電源を供給します。  
※ベッドリンクケーブルD・E(別売)接続時のみ使用可能です。  
※ACアダプターと併用した場合はACアダプターから優先して給電されます。
- ⑪ 設定リセット ●エアマットレスの設定を初期状態に戻します。

### ■しっかりモード時に併用できる機能

- しっかりモード時に併用できる機能は⑤ターボ運転、⑩ベッドからの電源供給機能のみとなります。その他の機能とは併用できません。  
※しっかりモードがOFFになると、各機能の設定は、しっかりモードをONにする前の設定に戻ります。  
※かたさ手動運転で、かたさ「14ハ」を使用していた場合は、かたさ「14」になります。

### ■電源OFF後の機能維持について

- 次の場合、各機能の設定は、直前の設定が維持されます。  
・停電後に電源が復旧した場合  
・電源プラグを抜いてから差込んで再起動させた場合  
・ベッドリンクケーブルD・Eタイプ(別売)を抜いてから差込んで再起動させた場合
- しっかりモードは、直前の残り時間が維持されます。  
●かたさ手動運転で、かたさ「14ハ」を使用していた場合は、かたさ「14」になります。



## 5 設置について

■エアマットレスの設置は、以下の手順で行ってください。

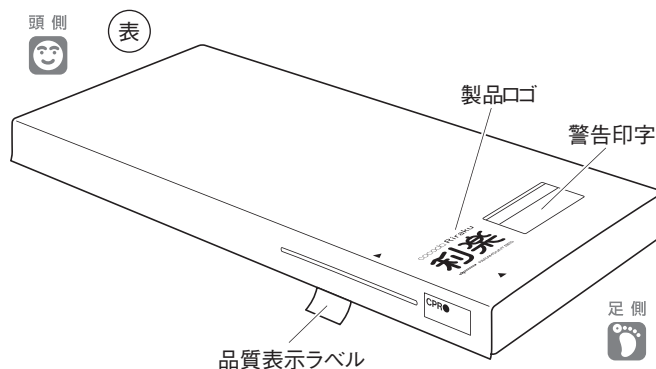
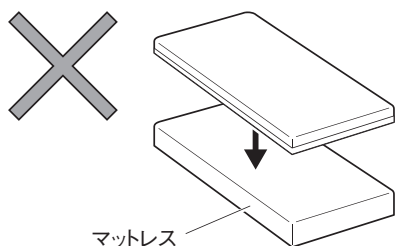
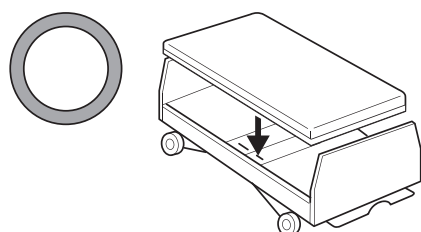
1. マットレス本体の設置（下記参照）
2. ACアダプターの設置（15ページ参照）
3. ポンプ本体の設置（16～19ページ参照）
4. ベッドリンクケーブル（別売）とベッドの配線（ベッドリンク機能を使用する場合のみ）（20～42ページ参照）
5. 電源コードの配線と接続（43～47ページ参照）



●低温・乾燥した環境では、静電気が発生するおそれがあります。設置する際や使用する際はご注意ください。

### 1. マットレス本体の設置

■このエアマットレスは、一般マットレスの代わりに使用する体圧分散マットレスです。ベッド上に直接敷いてお使いください。



●マットレス本体を設置する際は、ベッドのボトムをフラットな状態にして、ベッドのボトム上に障害物がないことを確認してください。

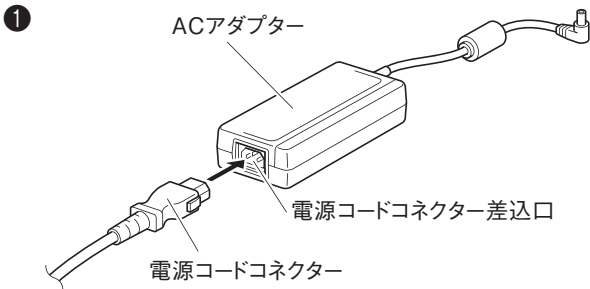
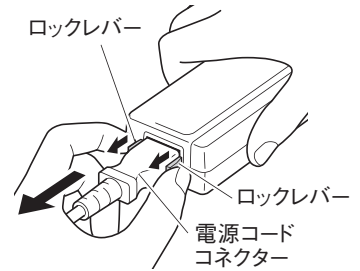
●このエアマットレスには表・裏、頭側・足側があります。マットレス本体を設置する際は、必ず製品ロゴがある面を表にし、品質表示ラベルが使用される方の足側に来るように設置してください。

# 5 設置について

## 2. ACアダプターの設置



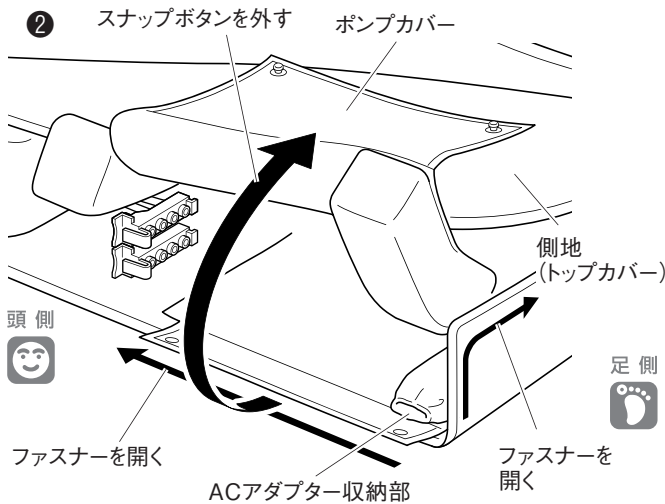
●電源コードコネクタには抜け防止のロック機構が備わっています。電源コードをACアダプターの電源コードコネクタ差込口から抜く際は、電源コードコネクタ左右のロックレバーを引きながら抜いてください。ロックレバーを引かずに抜こうとすると、電源コードコネクタや電源コードが破損・断線して、感電・火災のおそれがあります。



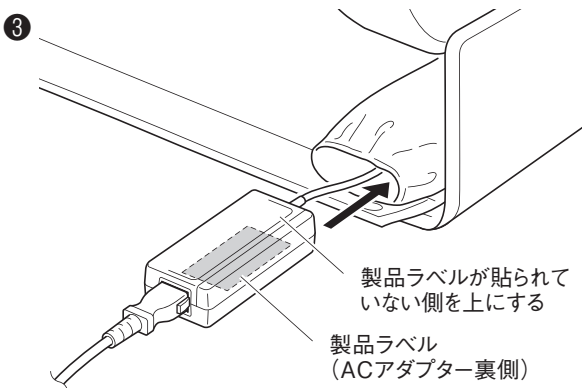
① ACアダプターの電源コードコネクタ差込口に電源コードコネクタを差込んでください。



- 電源コードコネクタは電源コードコネクタ差込口の奥までしっかりと差込んでください。
- 電源コードコネクタを電源コードコネクタ差込口に差込む際は、間にカバーなどがはさまれないように注意してください。



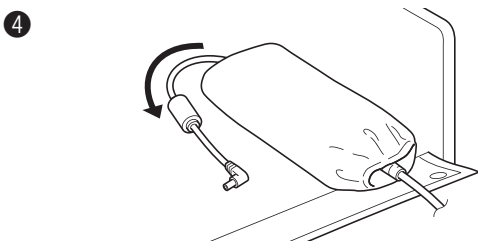
② 側地（トップカバー）とポンプカバーを開いてください。



③ ポンプカバーのACアダプター収納部に、ACアダプターを製品ラベルが貼られていない側を上にして、ACアダプターコネクタ方向から入れ込んでください。



- ACアダプターは、電源コードコネクタ差込口が隠れるまでACアダプター収納部の中に入れてください。
- ACアダプターは向きに注意してACアダプター収納部に入れてください。

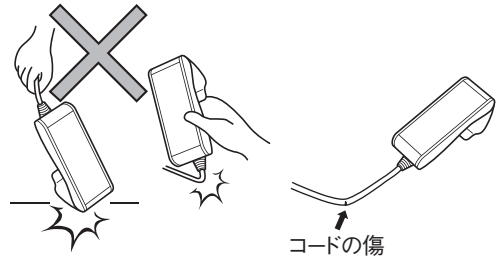


④ ACアダプター収納部の反対側の口からACアダプターコネクタを取出してください。

### 3. ポンプ本体の設置

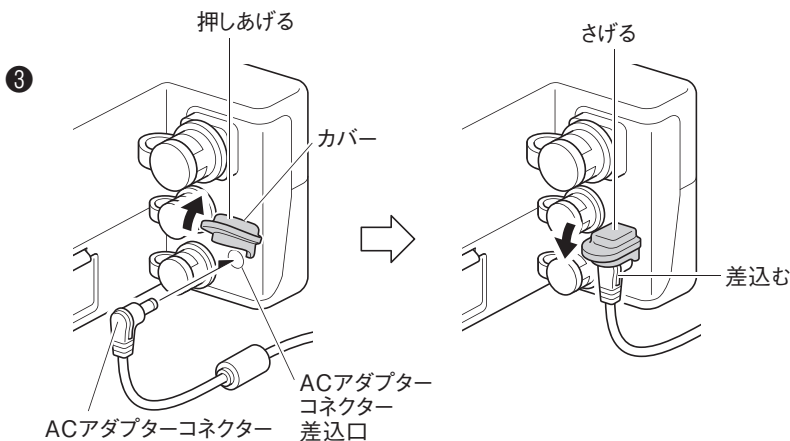
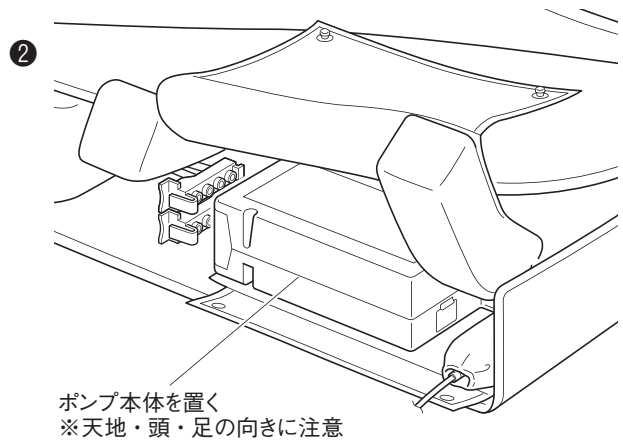
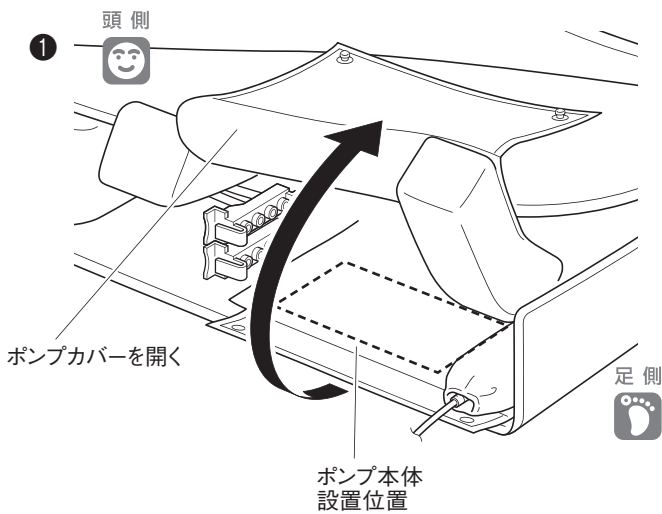


- ポンプ本体を取扱う際は、電源コードや操作パネルのコードを持たずにポンプ本体を両手でしっかり持ってください。断線により感電・火災のおそれがあります。
- 操作パネルやポンプ本体などの取扱いに注意してください。エアマットレスが誤動作してけがをしたり、故障の原因となったりします。また、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。
  - ・踏みつけたり、押しつけたり、無理な力をかけたりしないでください。
  - ・ぶつけたり傷つけたりしないでください。
  - ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
  - ・水をかけたり濡れた手で触ったりしないでください。
- 傷んだ操作パネルなどは修理（交換）を依頼してください。



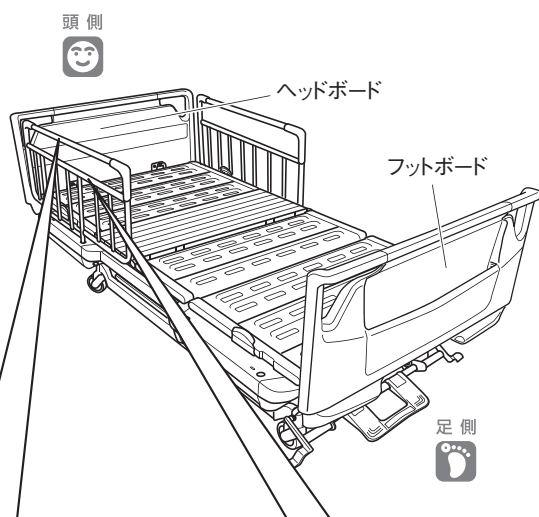
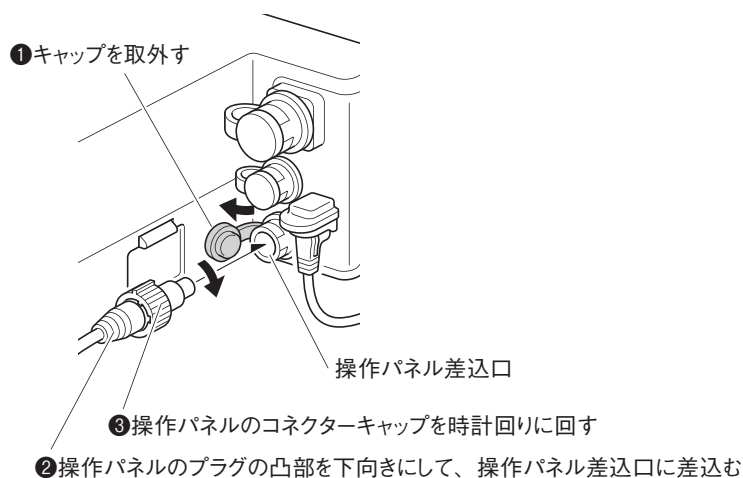
●取外しは、設置と逆の手順で行ってください。

#### ポンプ本体とACアダプターの接続（ACアダプターを使用する場合のみ）



## 5 設置について

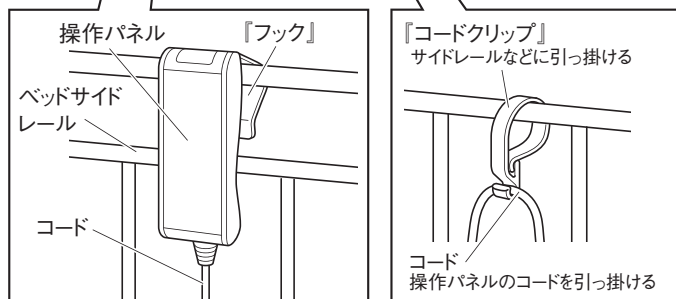
### ポンプ本体と操作パネルの接続および操作パネルの設置



- ④『フック』を利用して、操作パネルをベッドサイドレールやベッドのフットボード上部に、操作面をベッドの外側に向けて引っ掛けてください。



- 付属の『コードクリップ』をベッドサイドレールなどに引っ掛けることで、コードがゆかに着くことを予防することができます。



けい 告  
警 告

- INTIME1000シリーズ・INTIME2000シリーズのハリウッドスタイル（足側ボードがないベッド）で使用する場合は、ベッドサイドレール（別売）を取付け、ベッドサイドレールに操作パネルを引っ掛けてください。エアマットレスが誤動作してけがをしたり、操作パネルが故障したりする原因となります。



ちゅう い  
注 意

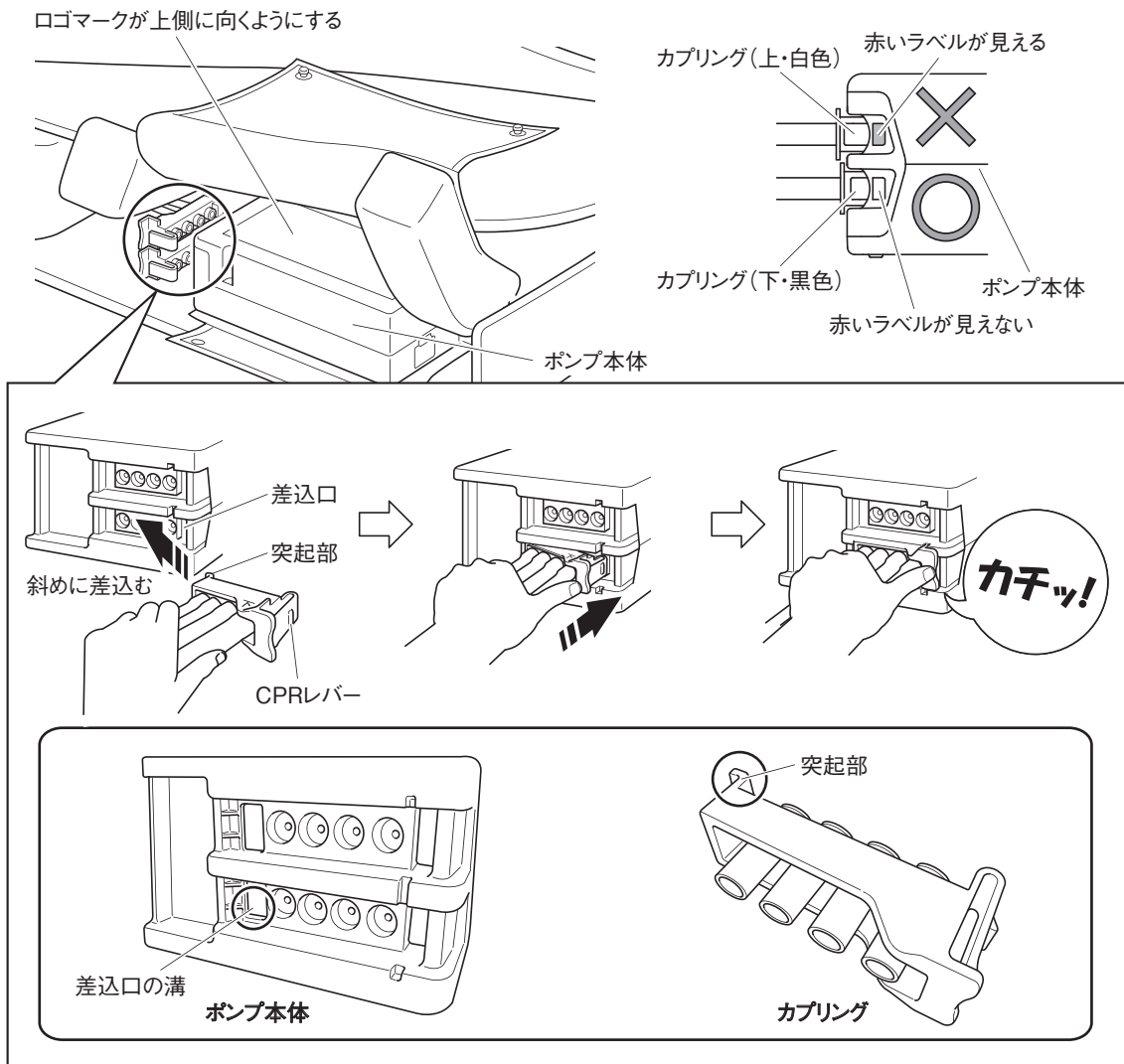
- INTIME1000シリーズ・INTIME2000シリーズの場合は、マットレス止め（足側）とエアマットレスの間に操作パネルのケーブルをはさまないように配線してください。ケーブルが断線し、エアマットレスが故障するおそれがあります。

ポンプ本体とマットレス本体（カプリング）の接続



- カプリングには、上段用の「カプリング（上）」と下段用の「カプリング（下）」があります。接続する際は、下段から上段の順に差込んでください。
- CPRレバーを差込んだ際に、下記の状態の場合は、カプリングが正しく接続されていません。カプリングの上・下を確認した後、カプリングを差込み直してください。
  - ・「カチッ」と音がしない。
  - ・側面2ヶ所の穴から赤いラベルが見えている。

- ①下図のように、カプリング奥側の突起部をポンプ本体の差込口の溝に斜めに差込んだ後、手前側のCPRレバーを「カチッ」と音がするまでしっかりと差込んでください。
- ②カプリングを取付けた後、側面2ヶ所の穴からカプリングに貼ってある赤いラベルが見えないことを確認してください。（下図参照）



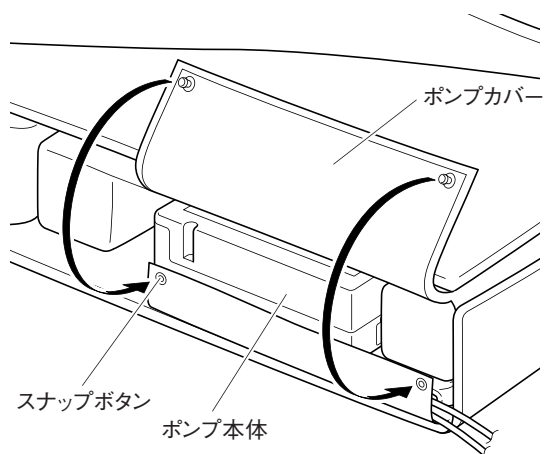
けい 告  
こく 告

●ポンプ本体とカプリング（上・下）が正しく接続されていることを確認してください。確実に接続されていないと、エアマットレスに空気が供給できなくなり、効果的に体圧分散ができなくなるおそれがあります。

## 5 設置について

### ポンプ本体とマットレス本体（ポンプカバー）の設置

①②



- ① ポンプ本体設置位置にポンプ本体が設置されていることを確認してください。
- ② ポンプカバーの『スナップボタン』を2ヶ所留めてください。
- ③ 側地のファスナー（2ヶ所）を閉じ、ファスナーの間の側地の隅から操作パネルのコードおよび電源コード（ACアダプター使用時のみ）を側地の外に出してください。

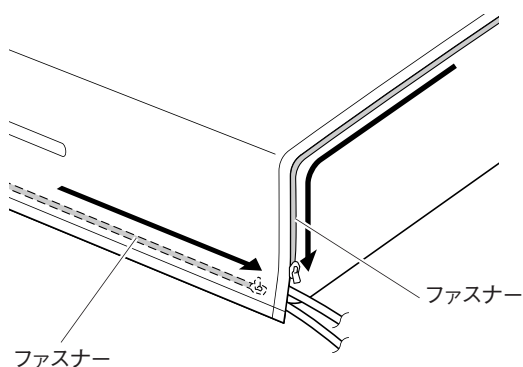


- ポンプ本体がベッドの足ボトムに直接触れないようにポンプ本体設置位置内に正しく設置してください。振動音が生じる可能性があります。



- ポンプ本体はポンプカバーのスナップボタンで確実に留めて、ポンプ本体設置位置内に固定してください。固定が不十分だとポンプ本体が落下してけがをしたり、破損・変形したりするおそれがあります。また、破損によりショートして感電・火災のおそれがあります。

③



- エアマットレスを移動する際は、ポンプ本体を取外してください。ポンプ本体が落下して、ポンプ本体が破損・変形するおそれがあります。
- ポンプ本体をマットレス本体から取外すためにカプリングを外す際は、右図のようにCPRレバーを押しながらカプリングを引き抜いてください。無理に引っ張ると、カプリングが破損する原因となります。
- 保管する際は、ポンプ本体をマットレス本体から外して保管してください。接続状態で保管すると、ポンプ本体・マットレス本体の破損の原因となります。（73・74ページ参照）





#### 4. ベッドリンクケーブル（別売）とベッドの配線（ベッドリンク機能を使用する場合のみ）

■ベッドリンクケーブルを使用して、弊社指定の適合するベッドにエアマットレスを接続することで、背あげ時/背さげ時の圧迫軽減機能とベッドからの電源供給機能（ベッドリンクケーブルDタイプ・Eタイプのみ）を使用することができます。

※適合するベッド・ベッドリンクケーブルタイプ・配線パターンは、21ページの表を参照してください。



- 適合するベッドは、仕様の変更などにより変わる場合があります。製造年月などについてご不明な点は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- ご使用にならないベッドリンクケーブルと面ファスナー（黒・白）は、なくさないように保管してください。
- ベッドリンクケーブルの取外しは、取付方法と逆の手順で行ってください。

#### けい こく 警告

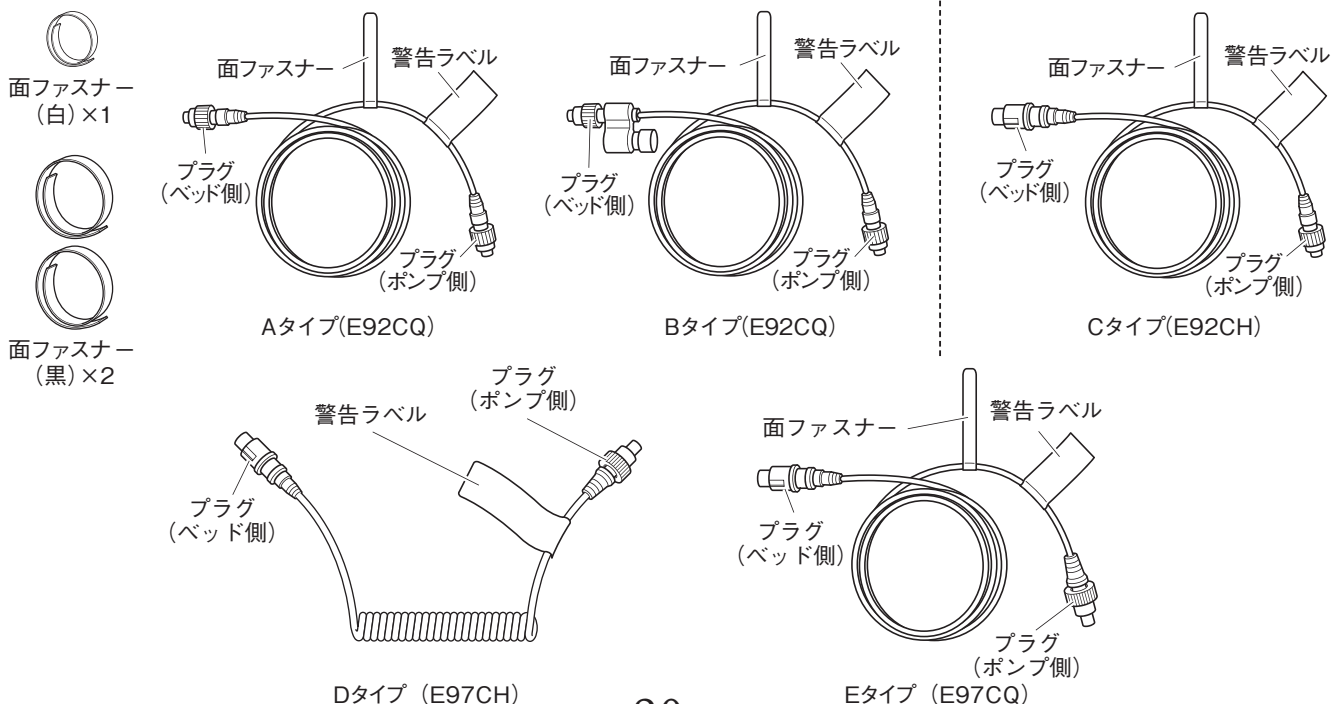
- ベッドリンクケーブルは、Aタイプ・Bタイプ・Eタイプを使用する場合は面ファスナーまたは面ファスナー（黒）で、Cタイプ・Dタイプを使用する場合はベッドのクリップでたるみなくベッドに固定してください。ご使用になるベッドの取扱説明書もお読みになり、コード類がはさまれやすいベッドの可動部をご確認のうえ、ベッドの可動部などではさまないように注意してください。足などを引っ掛けて転倒するおそれがあります。また、ベッドの可動部やベッドサイドテーブル・ベッドサイドレールなどに引っかかりベッドリンクケーブルが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- ベッドリンクケーブルを抜き差しする際は、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。エアマットレスやベッドなどが誤動作したり、故障したりするおそれがあります。また、無理な力を加えないでください。差込部などが破損し、感電・火災のおそれがあります。

#### ちゅう い 注意

- 適合品のベッドによって、使用するケーブルタイプと配線パターンが異なります。ベッドの品名・品番や製造年月と、使用するケーブルタイプと配線パターンを確認したうえで、エアマットレスとベッドを配線してください。ベッドやエアマットレスが故障したり、ベッドやベッドリンクが機能しなかったりするおそれがあります。

#### <ベッドリンクケーブルタイプ>

※警告ラベルが付いている方がポンプ側です。



## 5 設置について

### 【適合するベッドとベッドリンクケーブルタイプ・配線パターン】

適合するベッド	ベッドリンクケーブルタイプ(※)	配線パターン	参照ページ
エスパシアシリーズ	Dタイプ(E97CH)	a	22
カリストエールシリーズ	Cタイプ(E92CH)	b	23~26
KA-60000シリーズ ※2008年10月以降製造分			
KA-85000シリーズ ※2009年10月以降製造分			
メーティスPROシリーズ			
メーティスシリーズ ※2008年6月以降製造分			
ウッディー／ドージェシリーズ ※2008年6月以降製造分			
KA-5000シリーズ(78cm幅は除く) ※2008年6月以降製造分			
アルデコラシリーズ	Eタイプ(E97CQ)	c	27~31
KA-7900シリーズ			
楽匠Zシリーズ			
介護用ベッド(KQ-60000シリーズ)			
INTIME 1000シリーズ		d	32・35・36
INTIME 2000シリーズ			
楽匠FeeZシリーズ			
FeeZシリーズ			
レントシリーズ	Aタイプ(E92CQ)	c	27・29~31
KA-7900シリーズ			
楽匠Zシリーズ			
介護用ベッド(KQ-60000シリーズ)		d	32・33・36
INTIME 1000シリーズ			
楽匠FeeZシリーズ			
FeeZシリーズ	e	37・39	
介護用ベッド(KQ-52*01・KQ-53*01) ※手元スイッチの品番が以下のもの 2M:3F09285200A* / 3M:3F09285400A*			
KRシリーズ(KR-8****)			
KR+シリーズ			
楽匠Sシリーズ(100cm幅は除く)			
楽匠シリーズ(KQ-8****)	Bタイプ(E92CQ)	d	32・34・36
介護用ベッド(KQ-52*0・KQ-53*0)			
介護用ベッド(KQ-52*01・KQ-53*01) ※手元スイッチの品番が以下のもの 2M:3F06171100A* / 3M:3F06171000A*			
KRシリーズ(KR-8****)			
KRシリーズ(KR-8****)			
KRシリーズ(KR-8****)			



手元スイッチが  
表示パネルタイプ



手元スイッチが  
液晶画面タイプ

(※) 形状は20ページ参照



- 延長フレーム、延長マットレスは適合しません。
- 4ページを参照して、各ケーブル品番のケーブルセットが揃っていることを確認してください。
- ベッドリンクケーブルとポンプ本体の接続以降の設置手順については、40~47ページを参照してください。

## ■ベッドリンクケーブルとベッドの接続方法

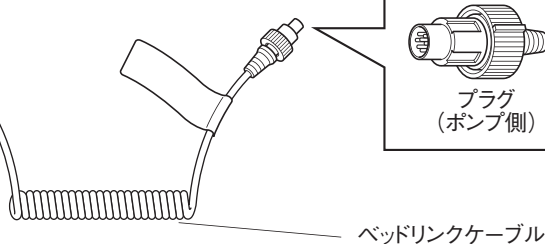
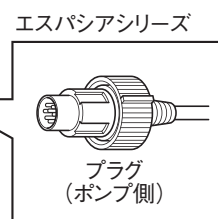
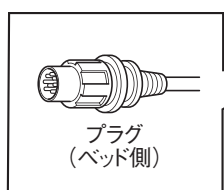
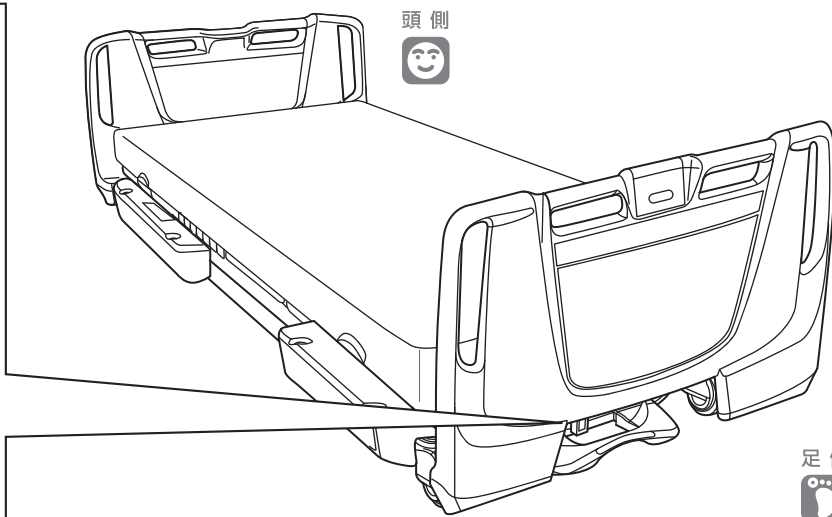
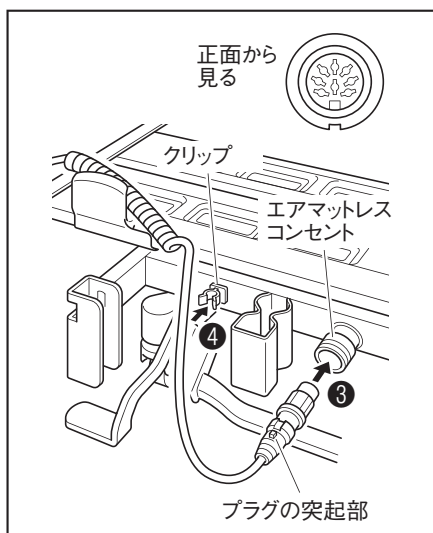
配線パターン：a

※適合するベッドは21ページの表を参照してください。



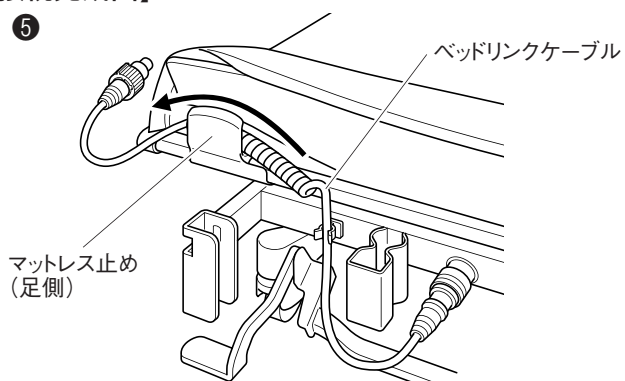
●ベッドの操作方法は、ベッドの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してから行ってください。

- ①ベッドのボトムをフラット（水平）な状態にしてください。
- ②ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ③ベッドリンクケーブルのプラグ（ベッド側）をベッドのエアマットレスコンセントに差込んでください。
- ④ベッドリンクケーブルをクリップにはさんでください。



### 【接続完成図】

⑤



- ⑤ベッドリンクケーブルをマットレス止め（足側）とマットレス本体の間に通してください。

## 5 設置について

### ■ベッドリンクケーブルとベッドの接続方法

配線パターン：b

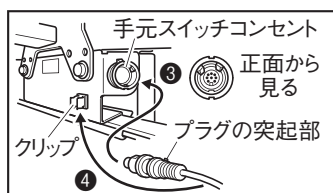
※適合するベッドは21ページの表を参照してください。



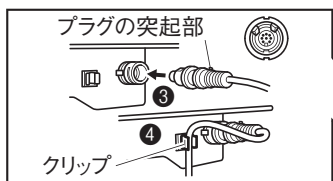
- ベッドリンクケーブルは、ベッド（エアマットレス）への乗り降りやベッドサイドテーブルなどを使用しない側の手元スイッチコンセントに差込んでください。足などを引っ掛けて転倒し、けがをするおそれがあります。
  - ・ベッドリンクケーブルを差込む手元スイッチコンセントの位置は、ベッドの機種によって違うため最終的なケーブルの配線が異なります。26ページの配線図を参照してください。



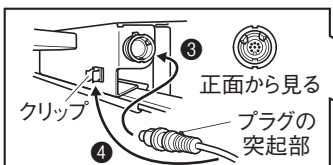
- ベッドリンクケーブルはクリップにはさんでください。プラグ部に力がかかり、破損するおそれがあります。
  - ※カリストエールシリーズ・メーティスPROシリーズにはクリップが付いておりません。
- 足側に手元スイッチコンセントが付いているベッドの場合、ベッドリンクケーブルを足側の手元スイッチコンセントに接続しないでください。ベッドリンクケーブルがベッドの可動部にはさまれて断線し、エアマットレスが誤動作・故障するおそれがあります。
- ベッド可動部やベッドサイドレールなどによるはさみ込みに注意してください。ベッドリンクケーブルが断線して、エアマットレスが故障するおそれがあります。



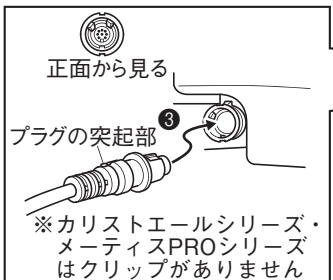
ウッディー/ドージュシリーズ  
・KA-5000シリーズ  
・アルデコラシリーズ



KA-60000シリーズ・  
KA-85000シリーズ



メーティスシリーズ



カリストエールシリーズ  
メーティスPROシリーズ



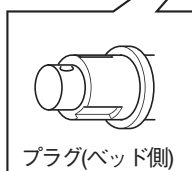
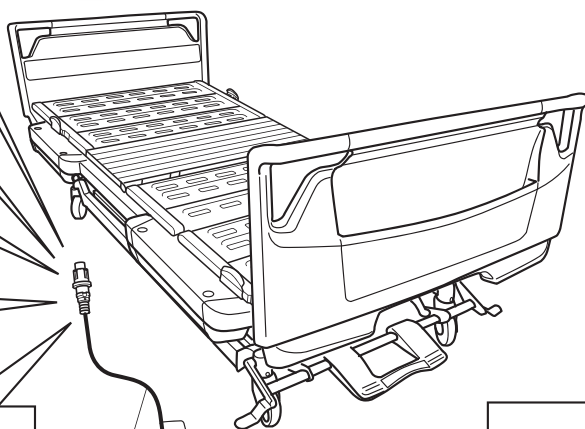
- ベッドの操作方法は、ベッドの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してから行ってください。

- ①ベッドのボトムをフラット（水平）な状態にしてください。
- ②ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ③ベッドリンクケーブルのプラグ（ベッド側）をベッド中央付近の手元スイッチを取付けていない側の手元スイッチコンセントに差込んでください。
- ④ベッドリンクケーブルをクリップにはさんでください。

頭側

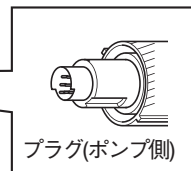


※イラストはカリストエールシリーズで説明しています。



プラグ(ベッド側)

ベッドリンクケーブル

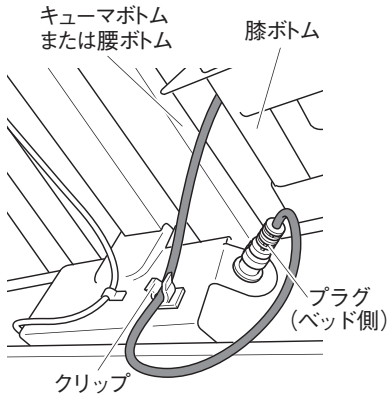


プラグ(ポンプ側)

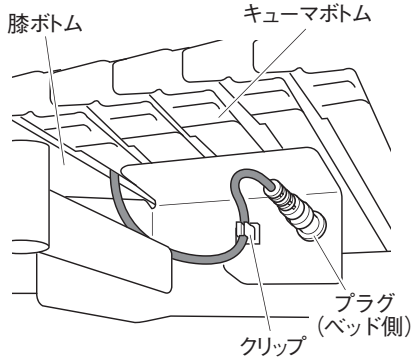
【接続完成図】

③④

- メーティスシリーズ・ウッディー/ドージェシリーズ・KA-5000シリーズ・アルデコラシリーズ

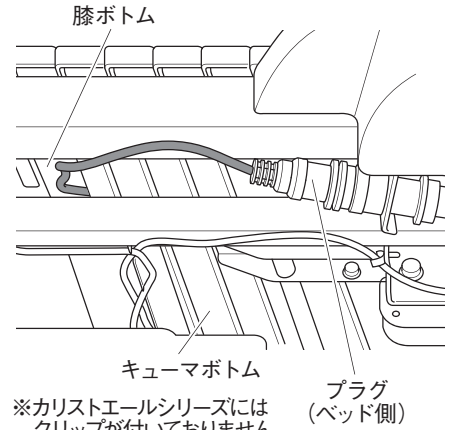


- KA-60000シリーズ・KA-85000シリーズ・メーティスPROシリーズ※

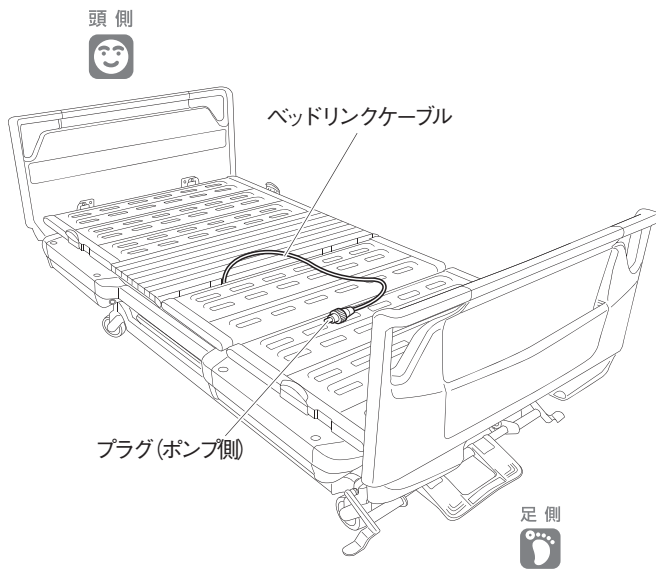


※メーティスPROシリーズにはクリップが付いておりません

- カリストエールシリーズ※



※カリストエールシリーズにはクリップが付いておりません



※イラストはカリストエールシリーズで説明しています。

⑤ ベッドリンクケーブルをベッドの腰ボトムと膝ボトムの間、またはキューマボトムと膝ボトムの間から上に出してください。

⑥ ベッドの電源プラグをコンセントに差込み、ベッドの各部位をあげ・さげし、ベッドリンクケーブルがベッドの可動部にはさまれないことを確認してください。確認後、ボトムをフラットにしてください。



● ベッドリンクケーブルをボトムの間に通す際、できるだけボトムの端部を通し、ベッドの可動部に巻き込まないように配線してください。

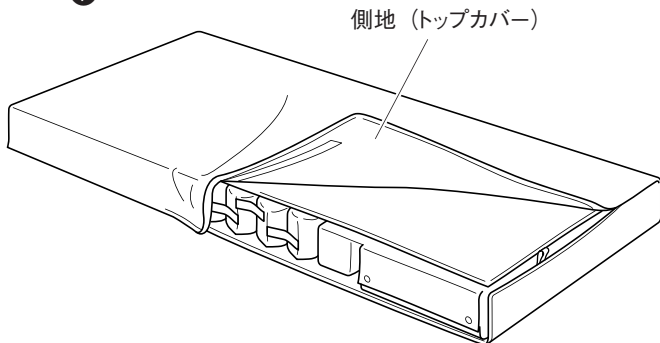


## 5 設置について

### ■ベッドリンクケーブルとベッドの接続方法

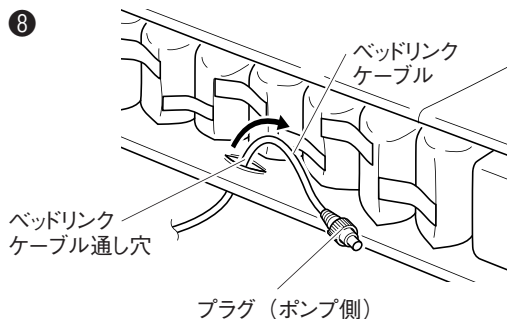
配線パターン：b

7



7 マットレス本体の側地（トップカバー）のファスナーを開けてください。

8



8 ベッドリンクケーブルを側地（ボトムカバー）のベッドリンクケーブル通し穴に通してください。

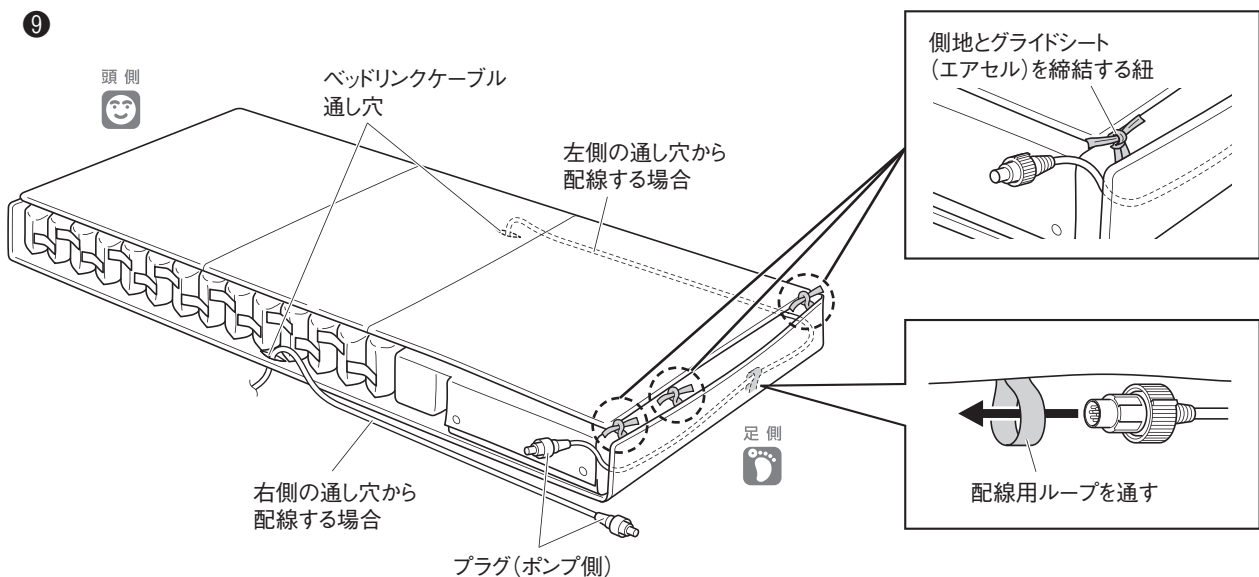
9 側地（ボトムカバー）とエアセルまたはグライドシートを締結する紐の下と配線用ループを通らせながら（左側の通し穴から配線する場合のみ）、ベッドリンクケーブルをエアセルと側地（ボトムカバー）の間を通してポンプ本体まで配線してください。



●ベッドリンクケーブルが、ベッドボトムの上に出る位置（左右）により、ベッドリンクケーブル通し穴の入口が異なります。ボトム左側の場合は、左側のベッドリンクケーブル通し穴から、ボトム右側の場合は右側のベッドリンクケーブル通し穴からベッドリンクケーブルを通してください。

●ベッドリンクケーブルの取外しは、取付方法と逆の手順で行ってください。

9



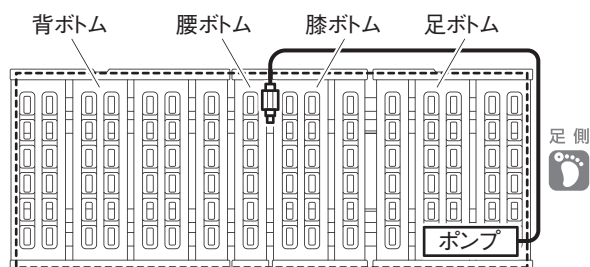
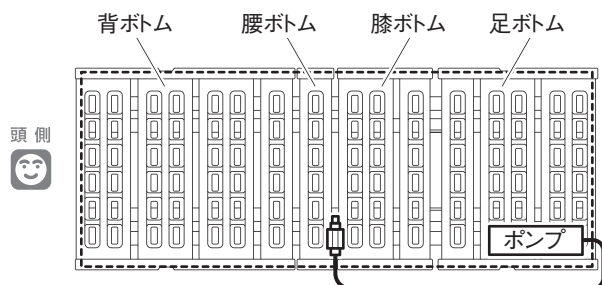


**【ベッドリンクケーブル配線図】**

ウッディー／ドージェシリーズ・KA-5000シリーズ・アルデコラシリーズ

(ベッドリンクケーブルをポンプ本体側に接続する場合)

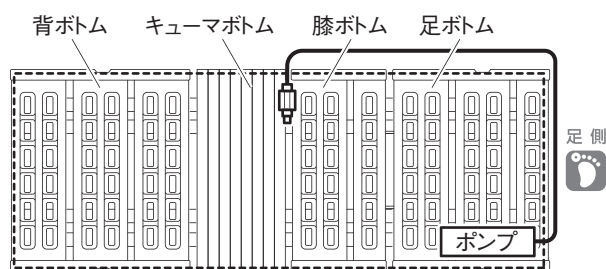
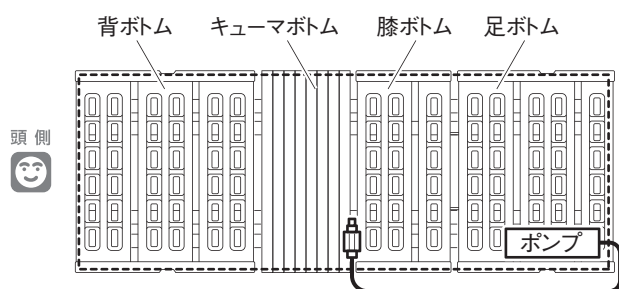
(ベッドリンクケーブルをポンプ本体と反対側に接続する場合)



カリステールシリーズ・KA-60000シリーズ・KA-85000シリーズ・メーティスシリーズ・  
メーティスPROシリーズ

(ベッドリンクケーブルをポンプ本体側に接続する場合)

(ベッドリンクケーブルをポンプ本体と反対側に接続する場合)



## 5 設置について

### ■ベッドリンクケーブルとベッドの接続方法

配線パターン：c

※適合するベッドは21ページの表を参照してください。

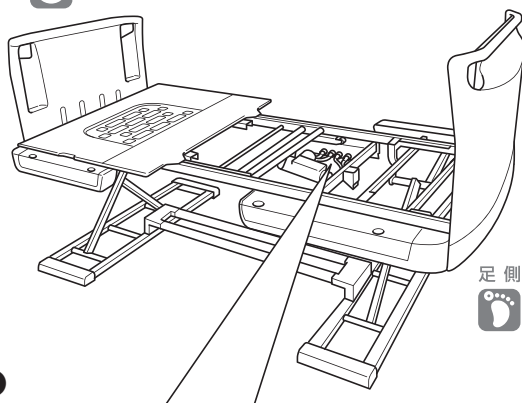


●ベッドの操作方法は、ベッドの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してから行ってください。

- ①ベッドの取扱説明書を参照してベッドの膝・足ボトムを取外し、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。

#### ケーブルタイプ：Aタイプの場合

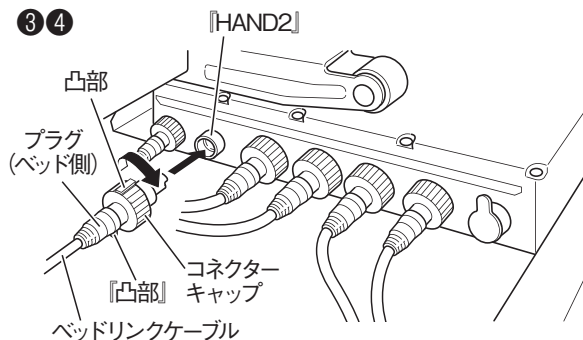
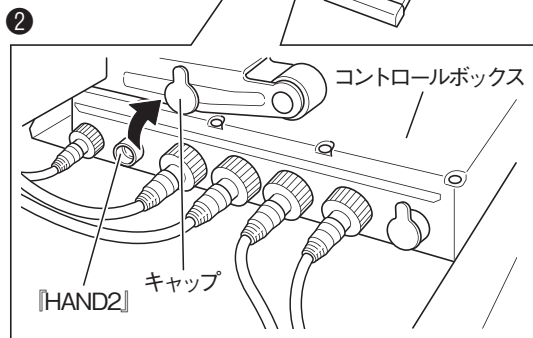
頭側 ※イラストは楽匠Zシリーズで説明しています。



- ②ベッドのコントロールボックスの『HAND2』に付いているキャップを取外してください。



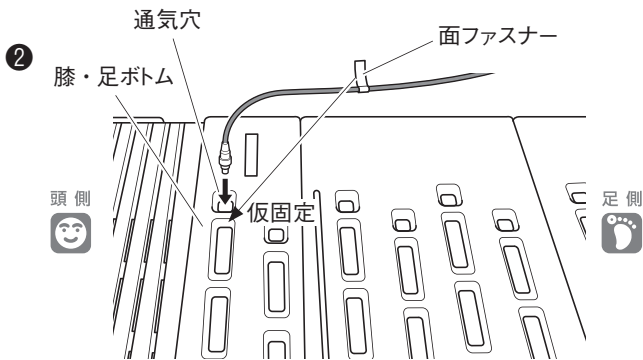
●コントロールボックスから取外したキャップは、紛失しないように保管してください。



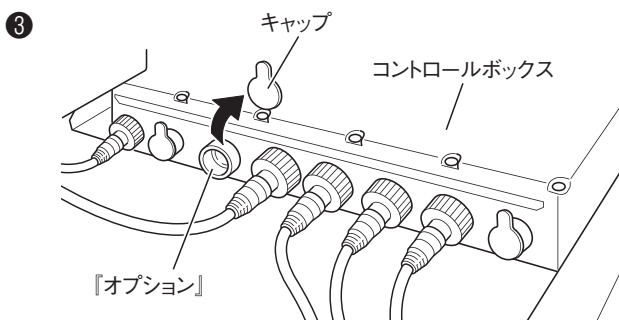
- ③ベッドリンクケーブルのプラグ（ベッド側）を、『凸部』を下向きにして、コントロールボックスの『HAND2』に差込んでください。
- ④ベッドリンクケーブルのコネクタキャップを、凸部が真上に来るように、「カチッ」と音がするまで時計回りに回して固定してください。

※⑤は29ページを参照してください。

ケーブルタイプ：Eタイプの場合



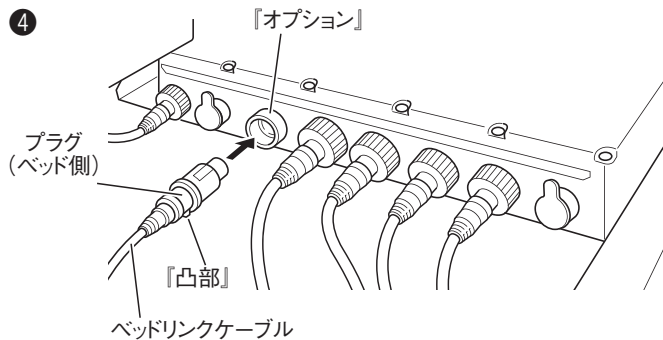
- ② 取外した膝・足ボトムの『通気穴』からベッドリンクケーブルを入れて、面ファスナーで仮固定してください。



- ③ ベッドのコントロールボックスの『オプション』に付いているキャップを取外してください。



- コントロールボックスから取外したキャップは、紛失しないように保管してください。



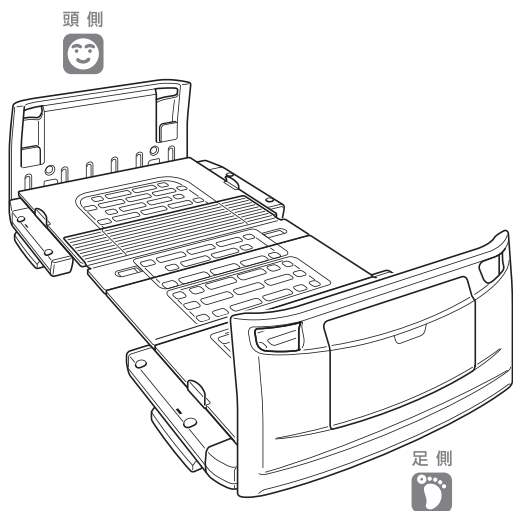
- ④ ベッドリンクケーブルのプラグ（ベッド側）を、『凸部』を下向きにして、コントロールボックスの『オプション』に差込んでください。

## 5 設置について

### ■ベッドリンクケーブルとベッドの接続方法

配線パターン：c

5



5 ベッドの取扱説明書を参照して、ベッドに膝・足ボトムを取付けてください。



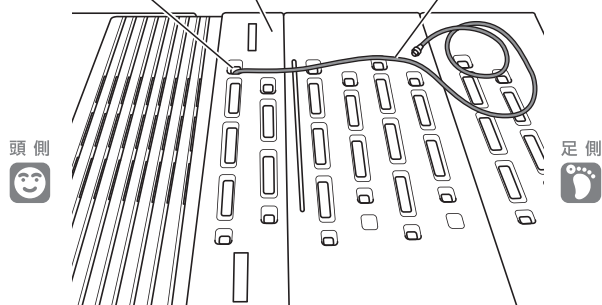
●ベッドリンクケーブルが、膝・足ボトムとベッドフレームの間にはさまれないように注意してください。

※KQ-60000シリーズ・INTIME1000シリーズ・INTIME2000シリーズの場合は30ページを参照してください。

#### 楽匠Zシリーズ・KA-7900シリーズの場合

6

「通気穴」 膝・足ボトム ベッドリンクケーブル



6 ベッドの膝・足ボトムの『通気穴』（図6参照）から、ベッドリンクケーブルを引きあげてください。

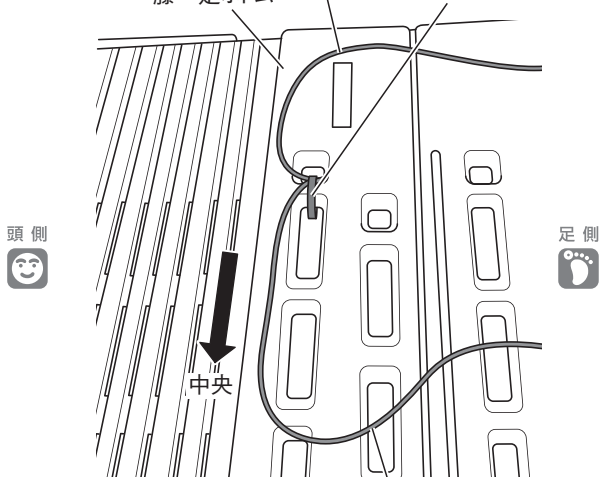


●ベッドリンクケーブルが、ベッドフレームに引っ掛かっていないことを確認してください。

7

ベッドリンクケーブル  
(左側から配線する場合)

膝・足ボトム 『面ファスナー』



7 右側から配線する場合はベッドリンクケーブルがベッドの幅方向の中央を向くように、左側から配線する場合はベッドの幅方向の外側を向くように膝・足ボトムに『面ファスナー』で固定してください。

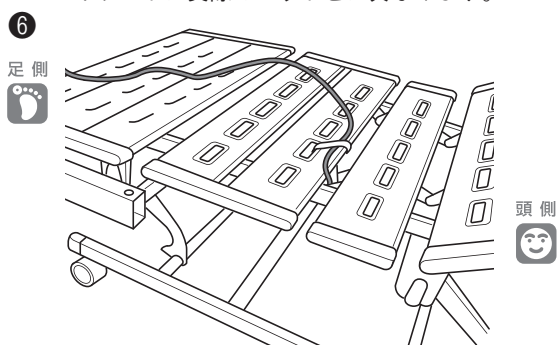
8 ベッドの電源プラグをコンセントに差込み、ベッドの各部位をあげ・さげし、ベッドリンクケーブルがベッドの可動部にはさまれないことを確認してください。確認後、ボトムをフラットにしてください。

※9以降は31ページを参照してください。

ベッドリンクケーブル  
(右側から配線する場合)

KQ-60000シリーズ・INTIME1000シリーズ・INTIME2000シリーズの場合

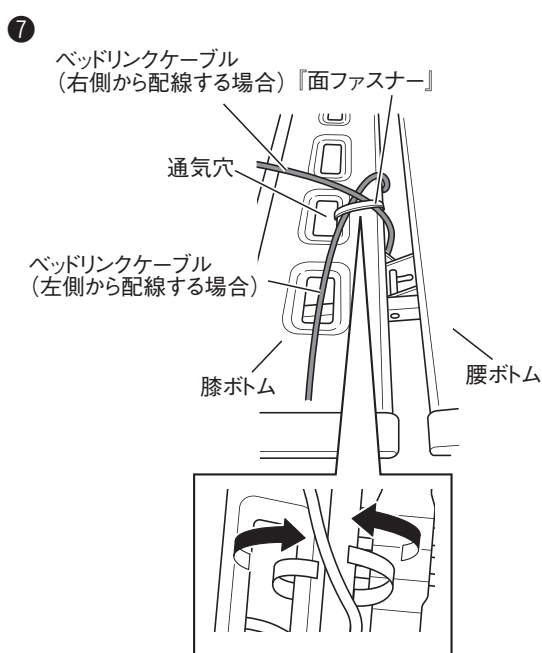
※イラストは実際のベッドとは異なります。



⑥ 腰ボトムと膝ボトムの間から、ベッドリンクケーブルを引きあげてください。

⑦ 右側から配線する場合はベッドリンクケーブルがベッドの幅方向の中央を向くように、左側から配線する場合はベッドの幅方向の外側を向くように、膝ボトムの通気穴に「面ファスナー」で固定してください。

※ベッドリンクケーブルは膝ボトムと腰ボトムとの連結部内側を通してください。



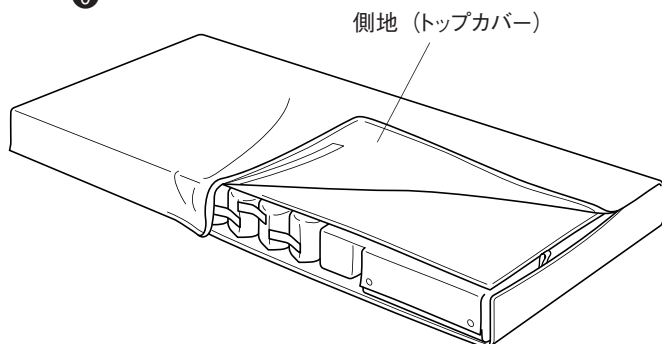
⑧ ベッドの電源プラグをコンセントに差込み、ベッドの各部位をあげ・さげし、ベッドリンクケーブルがベッドの可動部にはさまれないことを確認してください。確認後、ボトムをフラットにしてください。

## 5 設置について

### ■ベッドリンクケーブルとベッドの接続方法

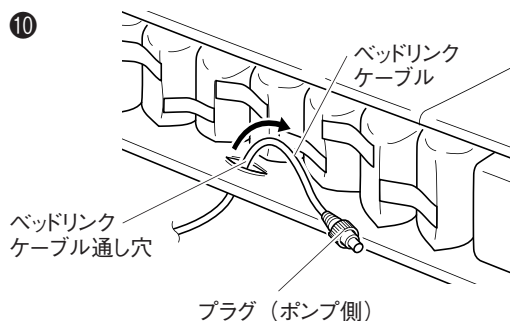
配線パターン：c

9



9 マットレス本体の側地（トップカバー）のファスナーを開けてください。

10



10 ベッドリンクケーブルを側地（ボトムカバー）のベッドリンクケーブル通し穴に通してください。

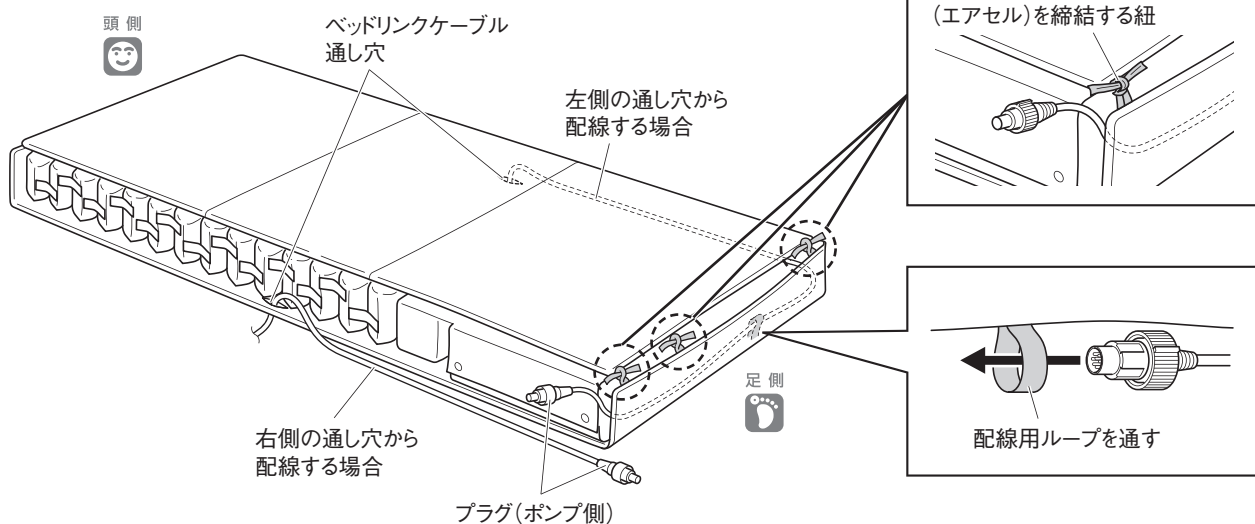
11 側地（ボトムカバー）とエアセルまたはグライドシートを締結する紐の下と配線用ループを通らせながら（左側の通し穴から配線する場合のみ）、ベッドリンクケーブルをエアセルと側地（ボトムカバー）の間を通してポンプ本体まで配線してください。



●ベッドリンクケーブルを配線する向きによりベッドリンクケーブル通し穴の入口が異なります。ベッドの左側から配線する場合は左側のベッドリンクケーブル通し穴から、ベッドの右側から配線する場合は右側のベッドリンクケーブル通し穴からベッドリンクケーブルを通してください。

●ベッドリンクケーブルの取外しは、取付方法と逆の手順で行ってください。

11





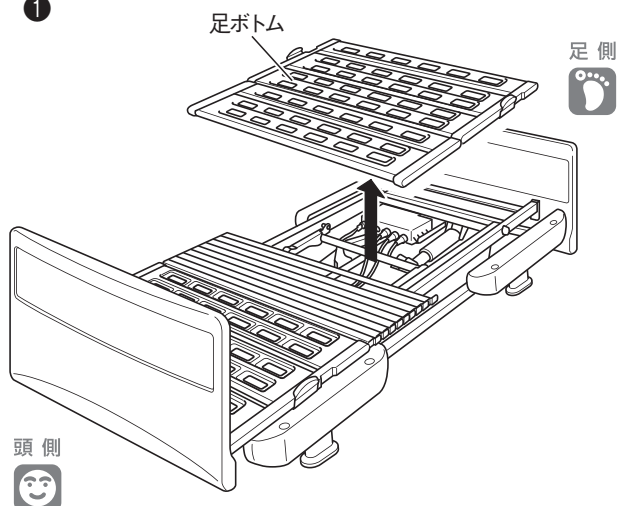
配線パターン：d

※適合するベッドは21ページの表を参照してください。



●ベッドの操作方法は、ベッドの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してから行ってください。

①

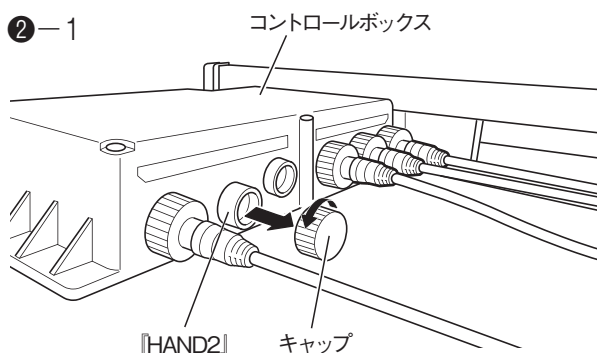


①ベッドの取扱説明書を参照して、ベッドの足ボトムを取外し、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。

※ケーブルタイプ：Aタイプのうち楽匠FeeZ、FeeZは33ページを、ケーブルタイプ：Bタイプの場合は34ページを、ケーブルタイプ：Eタイプは35ページを参照してください。

ケーブルタイプ：Aタイプのうち介護用ベッド（KQ-52\*01,KQ-53\*01）の場合

②-1

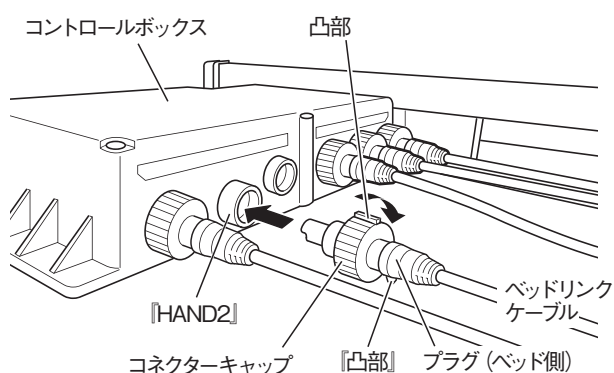


②-1 ベッドのコントロールボックスの『HAND2』に付いているキャップを取外してください。キャップを反時計回りに回して引くと、取外せます。



●コントロールボックスから取外したキャップは、紛失しないように保管してください。

②-2・3



②-2 ベッドリンクケーブルのプラグ（ベッド側）を、『凸部』を下向きにして、コントロールボックスの『HAND2』に差込んでください。

②-3 ベッドリンクケーブルのコネクタキャップを凸部が真上に来るように「カチッ」と音がするまで時計回りに回して固定してください。

※③以降は36ページを参照してください。

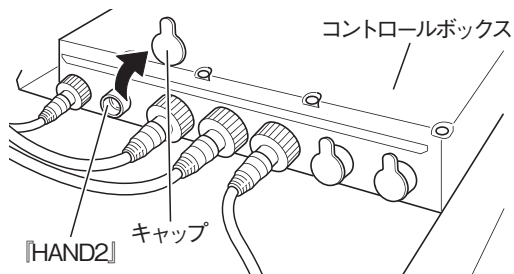
## 5 設置について

### ■ベッドリンクケーブルとベッドの接続方法

配線パターン：d

ケーブルタイプ：Aタイプのうち楽匠FeeZシリーズ・FeeZシリーズの場合

②-1

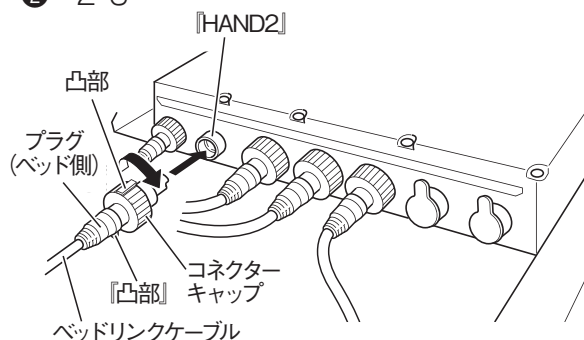


②-1 ベッドのコントロールボックスの『HAND2』に付いているキャップを取外してください。



●コントロールボックスから取外したキャップは、紛失しないように保管してください。

②-2・3

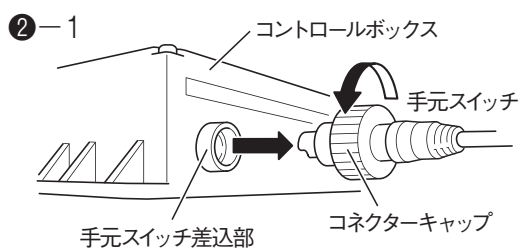


②-2 ベッドリンクケーブルのプラグ（ベッド側）を、『凸部』を下向きにして、コントロールボックスの『HAND2』に差込んでください。

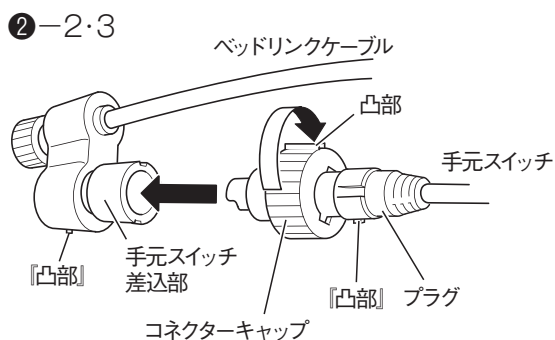
②-3 ベッドリンクケーブルのコネクタキャップを凸部が真上に来るように「カチッ」と音がするまで時計回りに回して固定してください。

※③以降は36ページを参照してください。

## ケーブルタイプ：Bタイプの場合

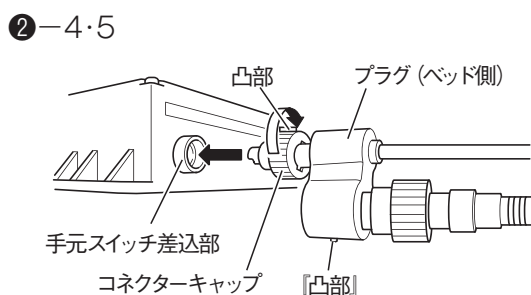


②-1 ベッドのコントロールボックスの手元スイッチ差込部から、手元スイッチを外してください。コネクタキャップを反時計回りに回してから引くと取外せます。



②-2 取外した手元スイッチのプラグの『凸部』とベッドリンクケーブルの『凸部』の向きをあわせ、手元スイッチをベッドリンクケーブルの手元スイッチ差込部に差込んでください。

②-3 手元スイッチのコネクタキャップを凸部が真上に来るように「カチッ」と音がするまで時計回りに回して固定してください。



②-4 ベッドリンクケーブルのプラグ（ベッド側）を、『凸部』を下向きにして、コントロールボックスの手元スイッチ差込部に差込んでください。

②-5 ベッドリンクケーブルのコネクタキャップを凸部が真上にくるように「カチッ」と音がするまで時計回りに回して固定してください。

※③以降は36ページを参照してください。

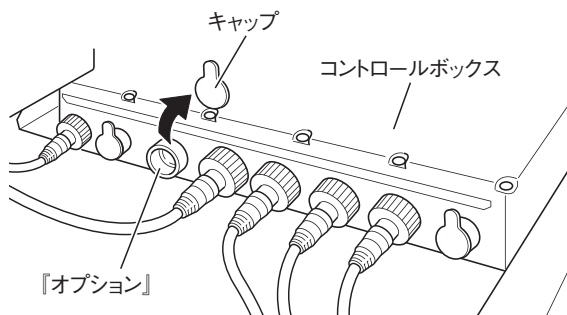
## 5 設置について

### ■ベッドリンクケーブルとベッドの接続方法

配線パターン：d

ケーブルタイプ：Eタイプの場合

②-1

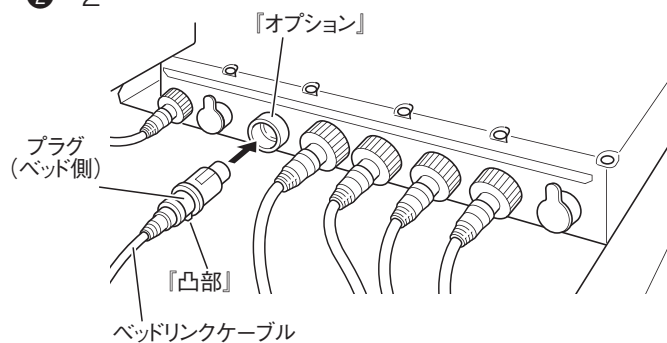


②-1 ベッドのコントロールボックスの『オプション』に付いているキャップを取外してください。

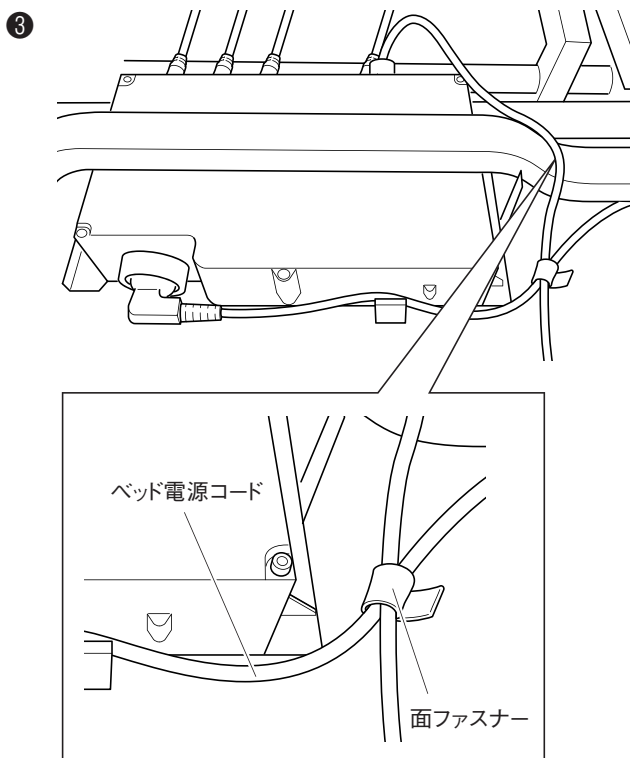


●コントロールボックスから取外したキャップは、紛失しないように保管してください。

②-2



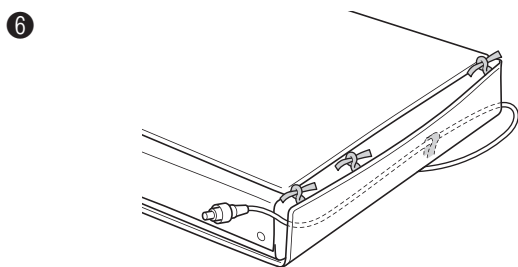
②-2 ベッドリンクケーブルのプラグ（ベッド側）を、『凸部』を下向きにして、コントロールボックスの『オプション』に差込んでください。



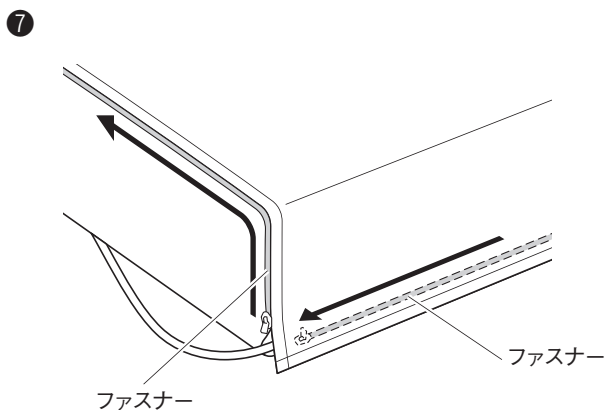
③ ベッドリンクケーブルを左図のベッド電源コードに『面ファスナー』で固定し、ベッドリンクケーブルをベッド足側に出してください。

④ ベッドの足ボトムを取付けてください。

⑤ ベッドの電源プラグをコンセントに差込み、ベッドの各部位をあげ・さげし、ベッドリンクケーブルがベッドの可動部にはさまれないことを確認してください。確認後、ボトムをフラットにしてください。



⑥ 側地のファスナー（3ヶ所）を開いて、ベッド足側から出したベッドリンクケーブルを側地（ボトムカバー）と、エアセルまたはグライドシートを締結する紐の下と配線用ループを通らせながら、エアセルと側地（ボトムカバー）の間を通らせてポンプ本体まで配線してください。



⑦ 側地のファスナー（2ヶ所）を閉じ、ファスナーの間の側地の隅からベッドリンクケーブルを側地の外に出してください。



## 5 設置について

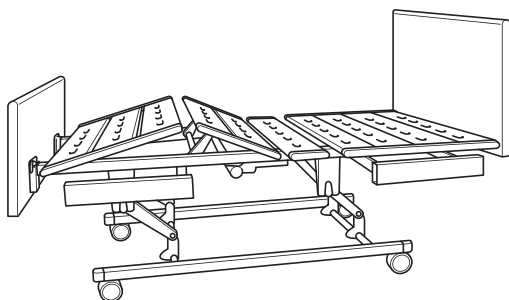
### ■ベッドリンクケーブルとベッドの接続方法

配線パターン：e

※適合するベッドは21ページの表を参照してください。



●ベッドの操作方法は、ベッドの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してから行ってください。



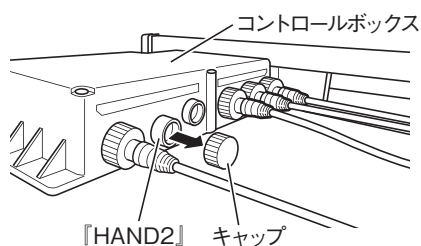
- ① ベッドの高さと膝の角度を最大まであげて、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。

※ケーブルタイプ：Bタイプの場合は38ページを参照してください。

#### ケーブルタイプ：Aタイプの場合

##### KRシリーズ (KR-8\*\*\*\*) の場合

②-1

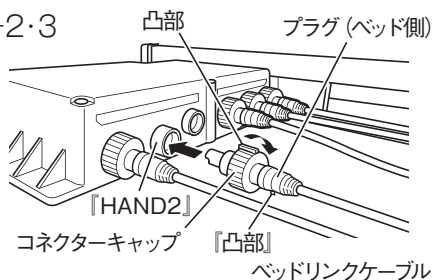


- ②-1 ベッドのコントロールボックスの『HAND2』もしくは『H1』に付いているキャップを取外してください。



●コントロールボックスから取外したキャップは、紛失しないように保管してください。  
●KR+シリーズは、コントロールボックスの底面に『H1』の記載があります。

②-2・3



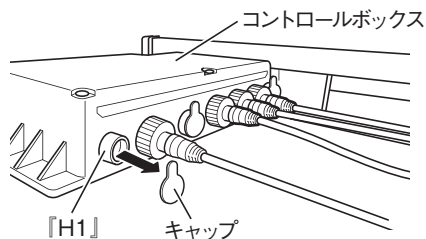
- ②-2 ベッドリンクケーブルのプラグ（ベッド側）を、『凸部』を下向きにして、コントロールボックスの『HAND2』もしくは『H1』に差込んでください。

- ②-3 ベッドリンクケーブルのコネクタキャップを凸部が真上に来るように「カチッ」と音がするまで時計回りに回して固定してください。

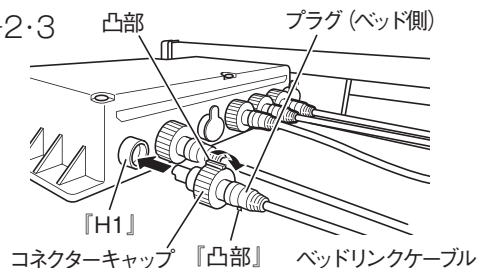
※③以降は39ページを参照してください。

##### KR+シリーズの場合

②-1

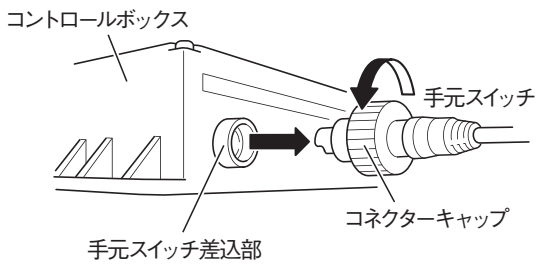


②-2・3



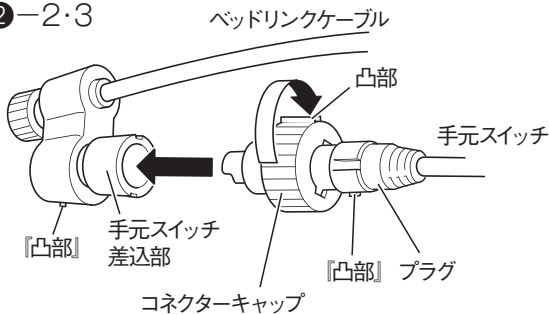
## ケーブルタイプ：Bタイプの場合

②-1



②-1 ベッドのコントロールボックスの手元スイッチ差込部から、手元スイッチを外してください。コネクタキャップを反時計回りに回してから引くと取外せます。

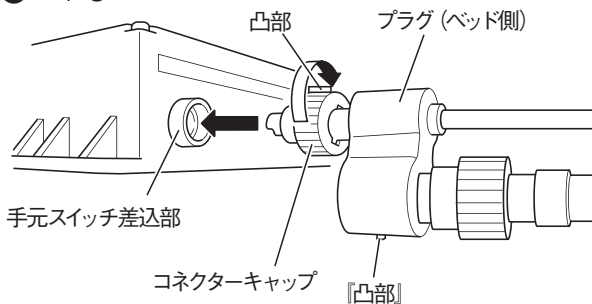
②-2.3



②-2 取外した手元スイッチのプラグの『凸部』とベッドリンクケーブルの『凸部』の向きを合わせ、手元スイッチを手元スイッチ差込部に差込んでください。

②-3 手元スイッチのコネクタキャップを凸部が真上に来るように「カチッ」と音がするまで時計回りに回して固定してください。

②-4.5



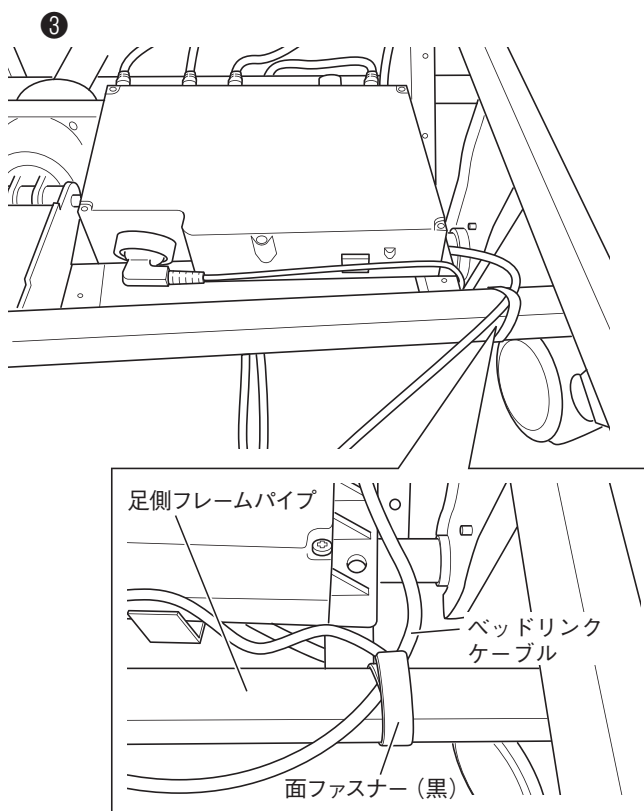
②-4 ベッドリンクケーブルのプラグ(ベッド側)を、『凸部』を下向きにして、コントロールボックスの手元スイッチ差込部に差込んでください。

②-5 ベッドリンクケーブルのコネクタキャップを凸部が真上にくるように「カチッ」と音がするまで時計回りに回して固定してください。

## 5 設置について

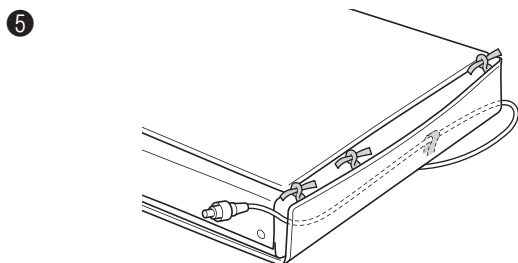
### ■ベッドリンクケーブルとベッドの接続方法

配線パターン：e

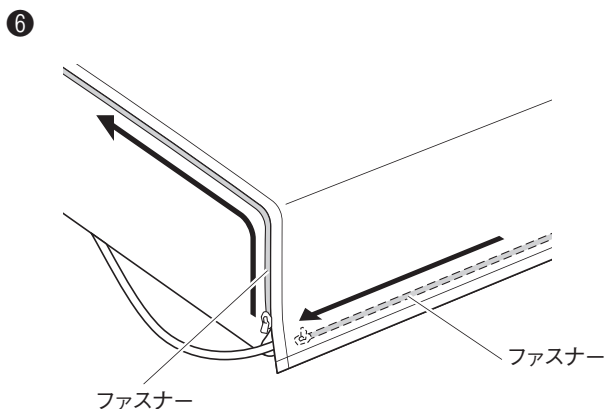


③ ベッドリンクケーブルを左図のベッド足側フレームパイプに『面ファスナー (黒)』で固定し、ベッドリンクケーブルをベッド足側に出してください。

④ ベッドの電源プラグをコンセントに差込み、ベッドの各部位をあげ・さげし、ベッドリンクケーブルがベッドの可動部にはさまれないことを確認してください。確認後、ボトムをフラットにしてください。

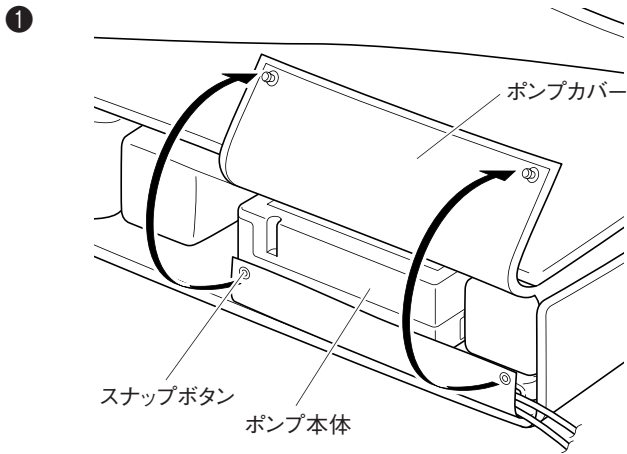


⑤ 側地のファスナー (3ヶ所) を開いて、ベッド足側から出したベッドリンクケーブルを側地 (ボトムカバー) と、エアセルまたはグライドシートを締結する紐の下と配線用ループを通らせながら、エアセルと側地 (ボトムカバー) の間を通らせてポンプ本体まで配線してください。



⑥ 側地のファスナー (2ヶ所) を閉じ、ファスナーの間の側地の隅からベッドリンクケーブルを側地の外に出してください。

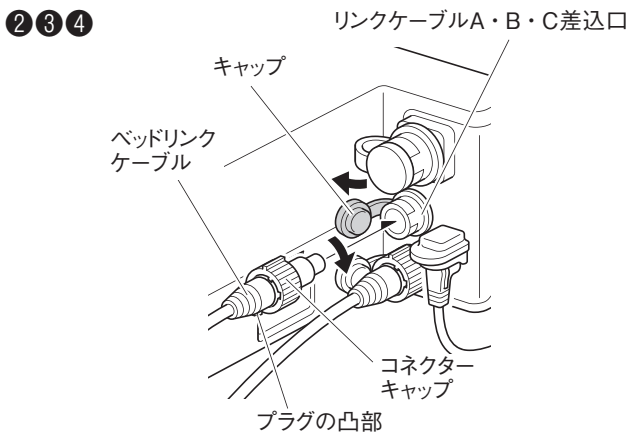
## ベッドリンクケーブルとポンプ本体の接続



① ポンプカバーのスナップボタンを外して、ポンプカバーを開いてください。

※ケーブルタイプ：DタイプとEタイプは41ページを参照してください。

### ケーブルタイプ：Aタイプ・Bタイプ・Cタイプの場合



② リンクケーブルA・B・C差込口に付いているキャップを取外してください。

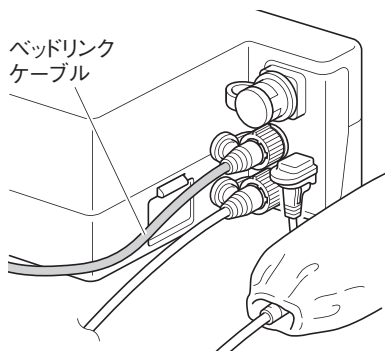
③ ベッドリンクケーブルのプラグ（ポンプ側）を『凸部』を下向きにしてリンクケーブルA・B・C差込口に差込んでください。

④ ベッドリンクケーブルのコネクタキャップを時計回りに回して固定してください。

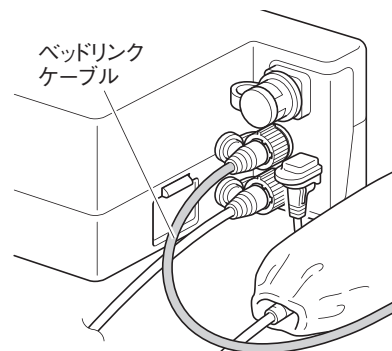
※⑤以降は42ページを参照してください。

### <接続状態>

#### 右側から配線した場合



#### 左側から配線した場合



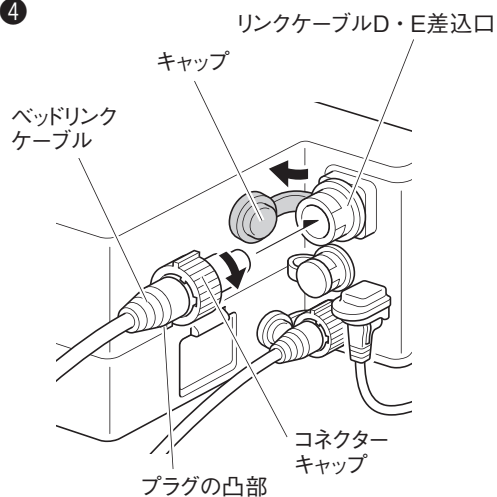
## 5 設置について

### ■ベッドリンクケーブルとベッドの接続方法

#### ベッドリンクケーブルとポンプ本体の接続

#### ケーブルタイプ：Dタイプ・Eタイプの場合

②③④



② リンクケーブルD・E差込口に付いているキャップを取外してください。

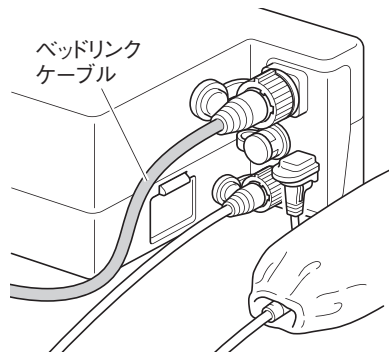
③ ベッドリンクケーブルのプラグ（ポンプ側）を『凸部』を下向きにしてリンクケーブルD・E差込口に差込んでください。

④ ベッドリンクケーブルのコネクターキャップを時計回りに回して固定してください。

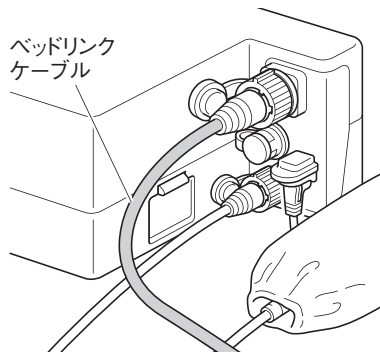
※⑤以降は42ページを参照してください。

#### <接続状態>

#### 右側から配線した場合

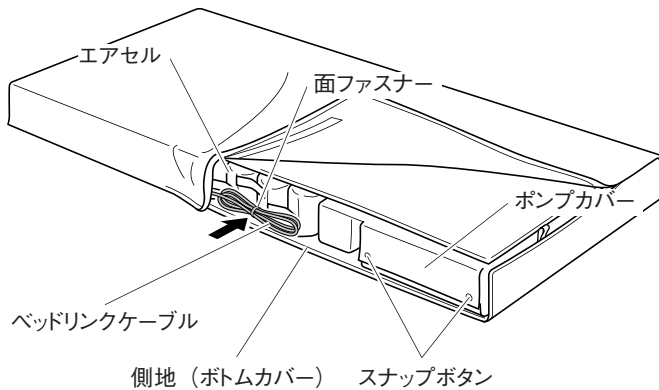


#### 左側から配線した場合





5



- ⑤ ベッドの膝角度を最大まであげ、ベッドリンクケーブルのたるみをベッドリンクケーブルに付いている面ファスナーで束ねて、エアセルと側地（ボトムカバー）の間に入れてください。
- ⑥ ベッドの各部位を操作して、ベッドリンクケーブルがベッドの可動部にはさまれないこと、張りすぎていないことを確認してください。
- ⑦ ポンプカバーのスナップボタンを2ヶ所留めてください。
- ⑧ 側地のファスナー（2ヶ所）を閉じてください。



- ベッドリンクケーブルに付いている面ファスナーがグライドシートや側地に引っ掛からないように注意してください。
- ベッドリンクケーブルを外す際は、接続方法と逆の手順で行ってください。

## ⚠️ 注意

- ベッドリンクケーブルのたるみは、ベッドリンクケーブルに付いている面ファスナーで束ねてください。たるんでいるとベッドリンクケーブルがベッドの可動部などにはさまれて断線し、エアマットレスが故障するおそれがあります。なお、エスパシアシリーズ・カリストエールシリーズ・メーティスシリーズ・ウッディー／ドージェシリーズ・KA-5000シリーズ・アルデコラシリーズ・メーティスPROシリーズの場合は、ベッド足側のサイドレール格納ホルダーにベッドサイドレールを格納する際にベッドリンクケーブルをはさみ込んだり引っ掛けたりしないように注意してください。

## 5 設置について

### 5. 電源コードの配線と接続



- 電源コードは、エアマットレスへの乗り降りやベッドサイドテーブルなどを使用しない側に配線してください。電源コードに足を引っ掛けて転倒するおそれがあります。また、電源コードの破損などにより、感電・火災のおそれがあります。
- 電源コード・電源プラグは正しく配線してください。間違った配線をするとう、手・足などが引っ掛かりけがをするおそれがあります。また、電源コードがベッドの可動部にはさまれて断線し、感電・火災のおそれがあります。
- 高さ調節・膝あげ機能付きのベッドの場合は、高さ・膝を最大まであげた状態で配線してください。あげた状態で配線しないと、使用中に高さ・膝をあげた際に電源コードが引っ張られて断線し、火災のおそれがあります。

■ベッドの高さと膝角度を最大まであげてください。

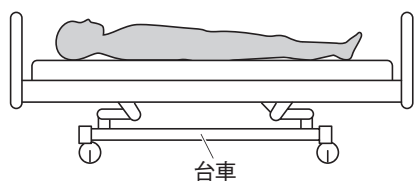
#### 5-1 ベッドの足側にコンセントがある場合

■電源コードが邪魔にならないように、余った長さ分はケーブルクランプで束ねてください。



#### 5-2 ベッドの頭側にコンセントがある場合

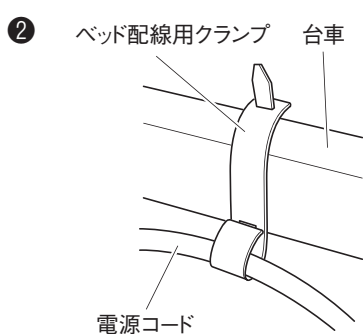
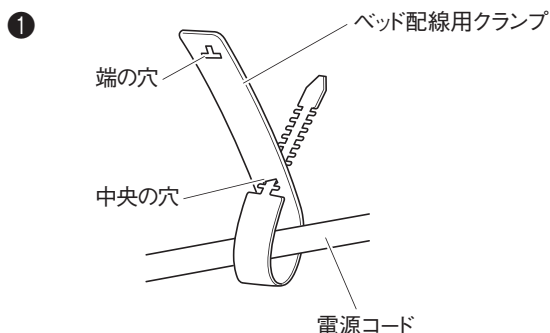
台車があるベッドの場合<1> (楽匠Sシリーズ, 楽匠FeeZシリーズ, FeeZシリーズ以外)



■電源コードをコンセントの位置により、下記のように配線し、付属のベッド配線用クランプで、ベッドの台車に固定してください。(44ページ参照)



## ベッド配線用クランプの取付かた



- ① 電源コードを巻き込みながら、ベッド配線用クランプ中央の穴にベッド配線用クランプ先端部を差込んで輪を作ってください。

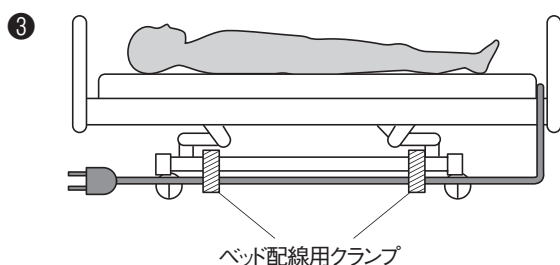
- ② ベッド配線用クランプの余った部分をベッドの台車に巻きつけ、ベッド配線用クランプ先端部をベッド配線用クランプ端の穴に差込んで固定してください。



- 取付の際、電源コードを通しての輪が台車の外側側面に来るようにしてください。

## 警告

- 2つのベッド配線用クランプは図③を参照し、できるだけ離れた位置でたるみなく取付けてください。
  - ・ 近い位置で固定すると電源コードがたるみ、足を引っ掛けて転倒しけがをするおそれがあります。また、ベッドサイドテーブルなどの脚が引っ掛かり電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
  - ・ ベッド配線用クランプが破損する原因となります。
- 電源コードを無理に引っ張ったり、引っ張った状態で固定したりしないでください。電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。



- ③ 固定後、ベッド配線用クランプが左右にずれないこと、電源コードが無理に引っ張られていないことを確認してください。締付けがゆるい場合は、ベッド配線用クランプ端部を再度締付け、確実に固定してください。

※ 取外しかたは、逆の手順で行ってください。

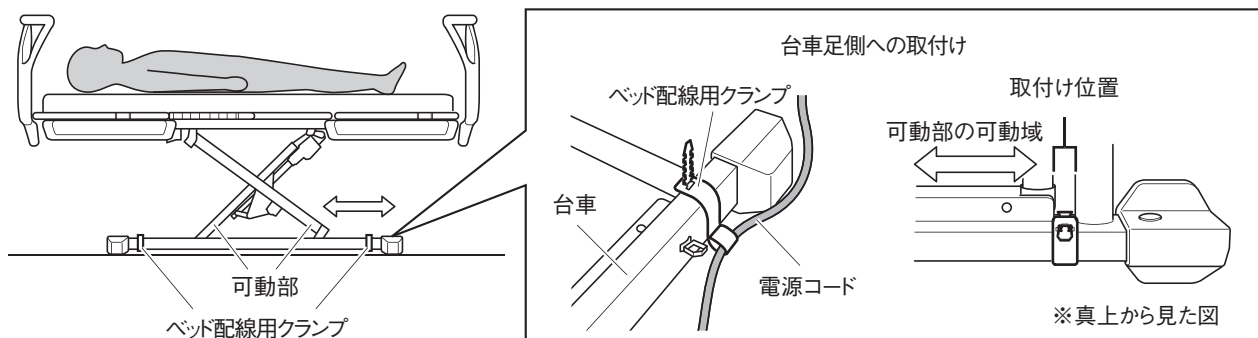
- ④ ベッドの高さと膝角度を、使用する適切な位置までさげてください。

## 5 設置について

### 台車があるベッドの場合<2> (楽匠Sシリーズ, 楽匠FeeZシリーズ, FeeZシリーズ)

- ①電源コードをコンセントの位置により43ページの図のように配線し、付属のベッド配線用クランプで下図2ヶ所に取り付けてください。

※ベッド配線用クランプの取付方法は、44ページの【ベッド配線用クランプの取付けかた】を参照してください。



ベッド配線用クランプは台車の端部に設置します。足側に取付ける際は、右図に示す取付け位置に取り付けてください。



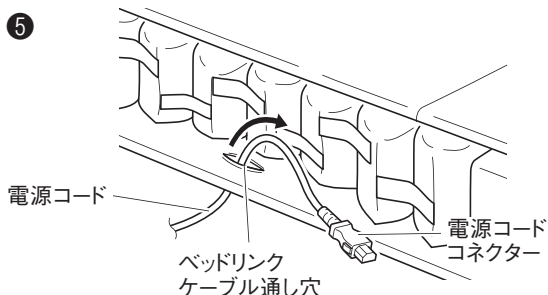
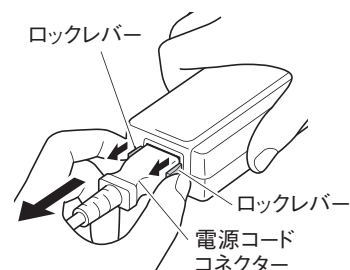
- ベッド配線用クランプは、ベッド高さ調節時にベッドの可動部が、接触しない位置に取り付けてください。

- ②ベッドの高さをあげ・さげし、電源コードがベッドの可動部に接触しないこと、張りすぎていることを確認してください。確認後、ベッドの高さと膝角度を使用する適切な位置までさげてください。

### 台車がないベッドの場合 (楽匠Zシリーズ・KA-7900シリーズ)



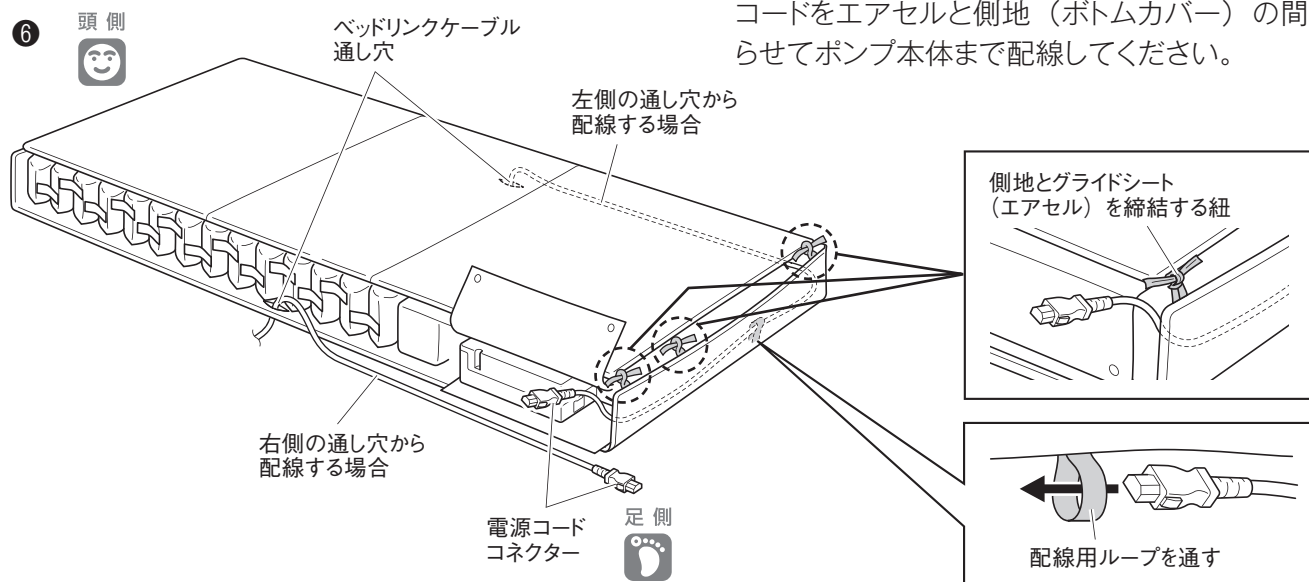
- 電源コードコネクタには抜け防止のロック機構が備わっています。電源コードをACアダプターの電源コードコネクタ差込口から抜く際は、電源コードコネクタ左右のロックレバーを引きながら抜いてください。ロックレバーを引かずに抜こうとすると、電源コードコネクタや電源コードが破損・断線して、感電・火災のおそれがあります。



- ①ポンプカバーを開いてください。
- ②ACアダプターコネクタをポンプ本体のACアダプターコネクタ差込口から抜いてください。
- ③ACアダプターをACアダプター収納部から取出してください。
- ④電源コードコネクタをACアダプターの電源コードコネクタ差込口から抜いてください。
- ⑤電源コードを電源コードコネクタ側から側地（ボトムカバー）のベッドリンクケーブル通し穴に通してください。

※電源コードは配線位置（コンセントに近い位置）により、右または左のベッドリンクケーブル通し穴を通してください。

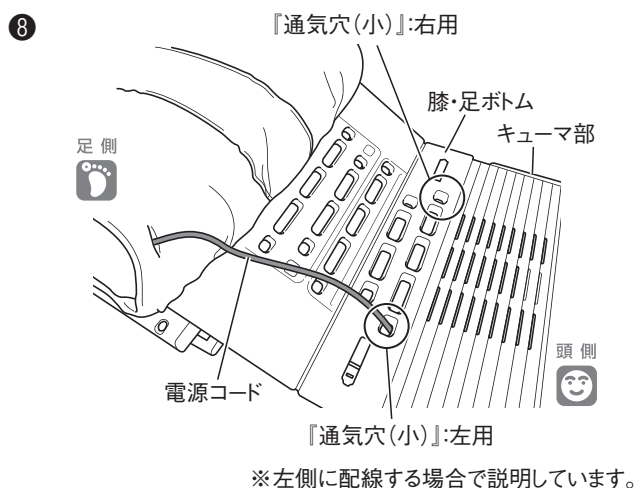
- ⑥側地（ボトムカバー）とエアセルまたはグライドシートを締結する紐の下と配線用ループを通らせながら（左側の通し穴から配線する場合のみ）、電源コードをエアセルと側地（ボトムカバー）の間を通してポンプ本体まで配線してください。



- ⑦15・16ページを参照して、ACアダプターをポンプ本体と接続してください。



- 電源コードコネクタは電源コードコネクタ差込口の奥までしっかりと差込んでください。
- 電源コードコネクタを電源コードコネクタ差込口に差込む際には、間にカバーなどがはさまれないように注意してください。



- ⑧電源コードを配線する側（右・左）により、膝・足ボトムの最もキューマ部側の『通気穴（小）』の左用または右用に電源コードを通してから、マットレス本体をボトム上面に置いてください。

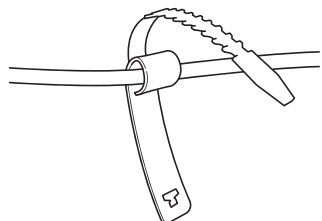


- 電源コードは、最もキューマ部側の『通気穴（小）』を通してください。最もキューマ部側の通気穴（小）以外に通すと、ベッド操作などの際に電源コードが引っ張られて破損し、感電・火災のおそれがあります。

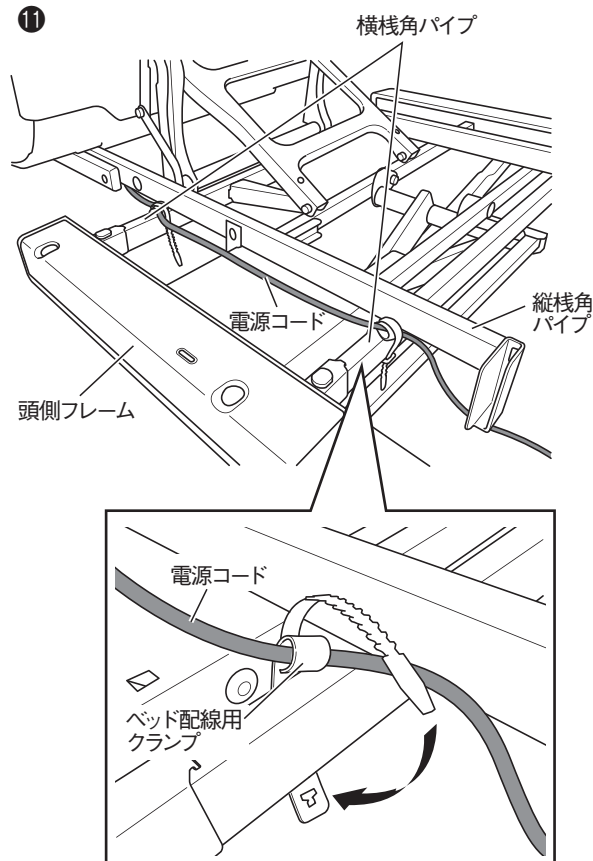


## 5 設置について

10



11



9 背ボトムを最大まであげてください。

10 電源コードを巻き込みながら、ベッド配線用クランプ中央の穴にベッド配線用クランプ先端部を差込んで輪を作ってください。

11 電源コードを頭側フレーム横棧角パイプの上を通し、頭側フレームの横棧角パイプに付属のベッド配線用クランプで固定してください。(2ヶ所)



●電源コードは頭側フレームの縦棧角パイプの外側すぐ脇を通し、その位置におさまるようにベッド配線用クランプで固定してください。

●ベッド配線用クランプが、ボトムに接触しないようにしてください。

12 ベッドの各部位を操作して、電源コードがベッドの可動部にはさまれないこと、張りすぎないことを確認してください。確認後、高さ・背・膝角度を使用する適切な位置までさげてください。

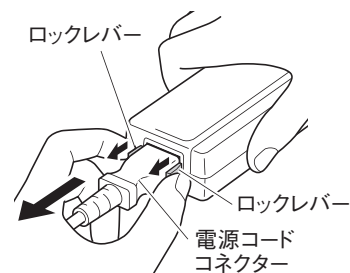
### 5-3 ACアダプターを使用しない場合

■電源コードをACアダプターの電源コード差込口から取外し、大切に保管してください。



けい 告  
こく 告

●電源コードコネクタには抜け防止のロック機構が備わっています。電源コードをACアダプターの電源コードコネクタ差込口から抜く際は、電源コードコネクタ左右のロックレバーを引きながら抜いてください。ロックレバーを引かずに抜こうとすると、電源コードコネクタや電源コードが破損・断線して、感電・火災のおそれがあります。



●ACアダプターを使用しない場合もACアダプターはポンプカバーに設置した状態でご使用ください。

# 6 使用方法

## 1. 操作パネルの名称と機能

■操作パネルでエアマットレスの機能を設定できます。操作パネルの天面にはしっかりモードを実行するためのボタンが、操作パネルの上部にはエアマットレスの運転状態や各種設定状態などを表示する画面が、下部にはエアマットレスの運転状態や各種設定を確認・変更するための各操作ボタンがあります。  
※下図は画面項目や状態・ボタンを表示しています。状態により表示されるボタンは異なります。

### 電源ランプ

電源プラグをコンセントに差込むか、ベッドリンクケーブルD・Eでベッドと接続すると緑色に点灯し、エラー発生時は黄色に点灯、または赤色に点滅します。

### しっかりモードボタン

しっかりモードを実行する際に使用します。

### 状態表示画面

エアマットレスの運転状態や各種設定状態などを示します。

### かたさ自動運転ボタン

かたさ自動運転機能を実行する際に使用します。また、かたさ自動運転中に押すと、設定かたさを表示します。



●かたさ手動運転中は表示されません。

### かたさ手動運転ボタン

かたさ手動運転機能を実行する際に使用します。また、かたさ手動運転中に押すと、設定かたさを表示します。



●かたさ自動運転中は表示されません。

### 準備中表示

ターボ運転による内圧調整中に点灯します。

### マットレス幅設定ボタン

かたさ自動運転機能を設定する際に使用します。



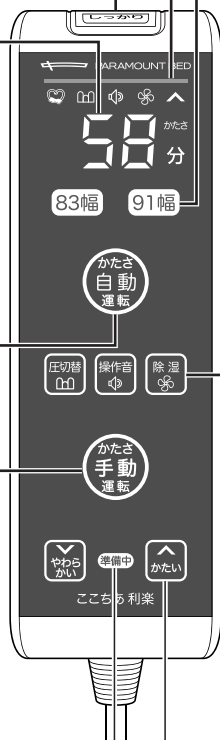
●電源プラグをコンセントに差込むか、ベッドリンクケーブルD・Eでベッドと接続したとき、および裏面の設定ボタンを押して設定中のとき以外は表示されません。

### 圧切替/操作音/除湿ボタン

圧切替、操作音、除湿を設定する際にそれぞれ使用します。



●裏面の設定ボタンを押して設定中のとき以外は表示されません。



### 設定ボタン

エアマットレスの各種設定を変更・確定する際に使用します。

### かたさ手動運転設定ボタン

かたさを手動で設定する際に使用します。



●裏面の設定ボタンを押して設定中のとき以外は表示されません。

## 6 使用方法

### 2. 使用開始方法/かたさ自動運転機能について

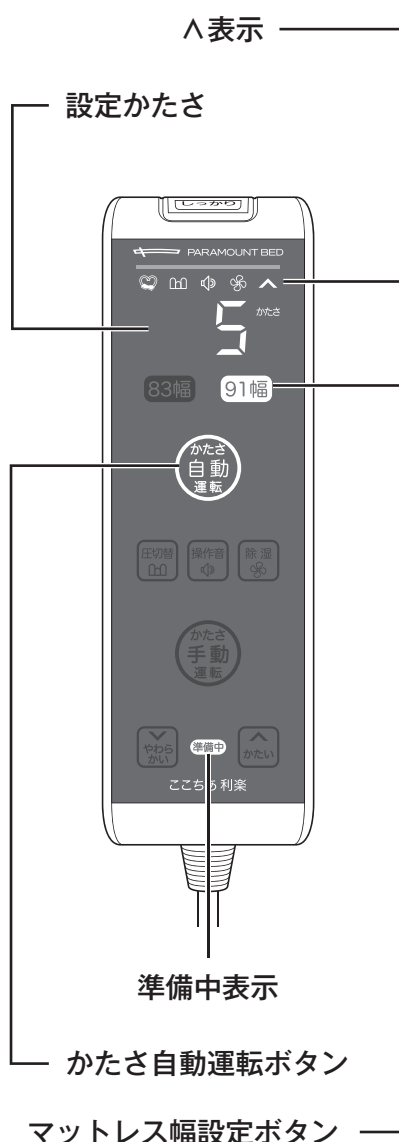


けい  
告

●かたさ自動運転を使用する場合は、マットレス本体のサイズ印字の幅と操作パネルの幅設定が同じであることを確認してください。マットレス本体のサイズ印字の幅と操作パネルの幅設定が異なると、効果的に体圧を分散できず、床ずれが発生するおそれがあります。



●操作パネルの表面には、透明のシートが貼ってあります。長期間使用すると、シートが伸びて気泡が入ることがあります。気になる場合は、シートをはがしてご使用ください。



#### 【かたさ自動運転】

■電源プラグをコンセントに差込むか、ベッドリンクケーブルD・Eでベッドと接続すると、かたさ自動運転が開始します。使用する方が臥床すると、使用する方の体重にあわせたかたさ（マットレス内圧）に自動設定されます。

- ・かたさ自動運転に用いるマットレス幅設定ボタンはしばらく表示された後に消灯します。
- ・設定かたさはしばらく表示された後に消灯し、かたさ自動運転ボタンを押すことで、しばらく表示されます。
- ・初期設定はONで、初期かたさは5です。
- ・使用者体重は20kg～138kgです。
- ・かたさは2～14 $\wedge$ の14段階です。かたさの目安は下表の通りです。

かたさ	2	3	4	5	6	7	8
体重(kg)	20～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75～84

かたさ	9	10	11	12	13	14	14 $\wedge$
体重(kg)	85～94	95～104	105～114	115～124	125～134	135～138	※

※高体重の方がベッドの背あげをしたときなど、14より硬いかたさが必要な際に設定されます。

※14 $\wedge$ は「設定かたさ」に14と表示されるとともに、「 $\wedge$ 表示」も表示されます。



●体重に加えて、ベッドの背あげや使用する方の寝姿勢（ポジショニングの状況や座位など）・体形（骨突出や円背・下肢拘縮など）にあわせて、かたさは自動設定されます。

●かたさ自動運転中に使用する方が10分以上離床すると、かたさは5に自動設定されます。

●使用する方が臥床すると、5～15分程で使用する方の体重にあわせたかたさに設定されます。

#### ■空気注入完了時間

●電源プラグをコンセントに差込むか、ベッドリンクケーブルD・Eでベッドと接続すると、しばらくしてから自動的にエアセルに空気が入ります。

・空気注入完了時間：10分

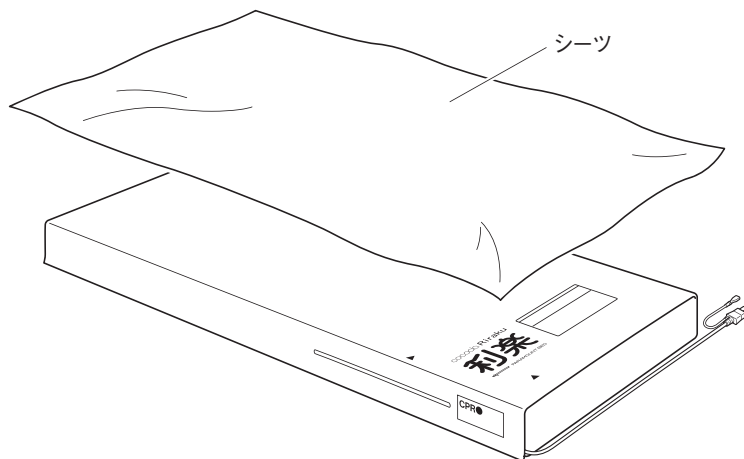
●空気注入中は、準備中表示が点灯します。空気注入が完了すると、準備中表示が消灯します。

### 3. シーツのかけかた

■エアマットレスが膨らんだ後、シーツやマットレスパッドをかけてください。



●電源コードをポンプ本体と左右反対側に配線する場合は、下図のようにマットレス幅方向に電源コードを沿わせ、シーツで覆ってください。ベッドサイドレールを足側に格納している際に引っ掛かり、断線して感電・火災のおそれがあります。



## 6 使用方法

### 4. 各機能の操作方法

■操作パネルを用いて、エアマットレスの各機能（12・13ページ参照）の設定を変更できます。



●各操作の後、取扱説明書に記載されている画面が表示されない場合は、正しく操作が完了していません。再度操作してください。

■操作パネル裏面の「設定」ボタンを押すと設定表示に切替わり、各機能の設定が変更できます。また、操作パネル上面の「しっかりモード」ボタンを押すと「しっかりモード」に切替わります。「圧迫軽減機能」、「ベッドからの電源供給機能」はポンプ本体にベッドリンクケーブルを接続することで設定できます。

※ベッドリンクケーブルの接続は20～42ページをご参照ください。

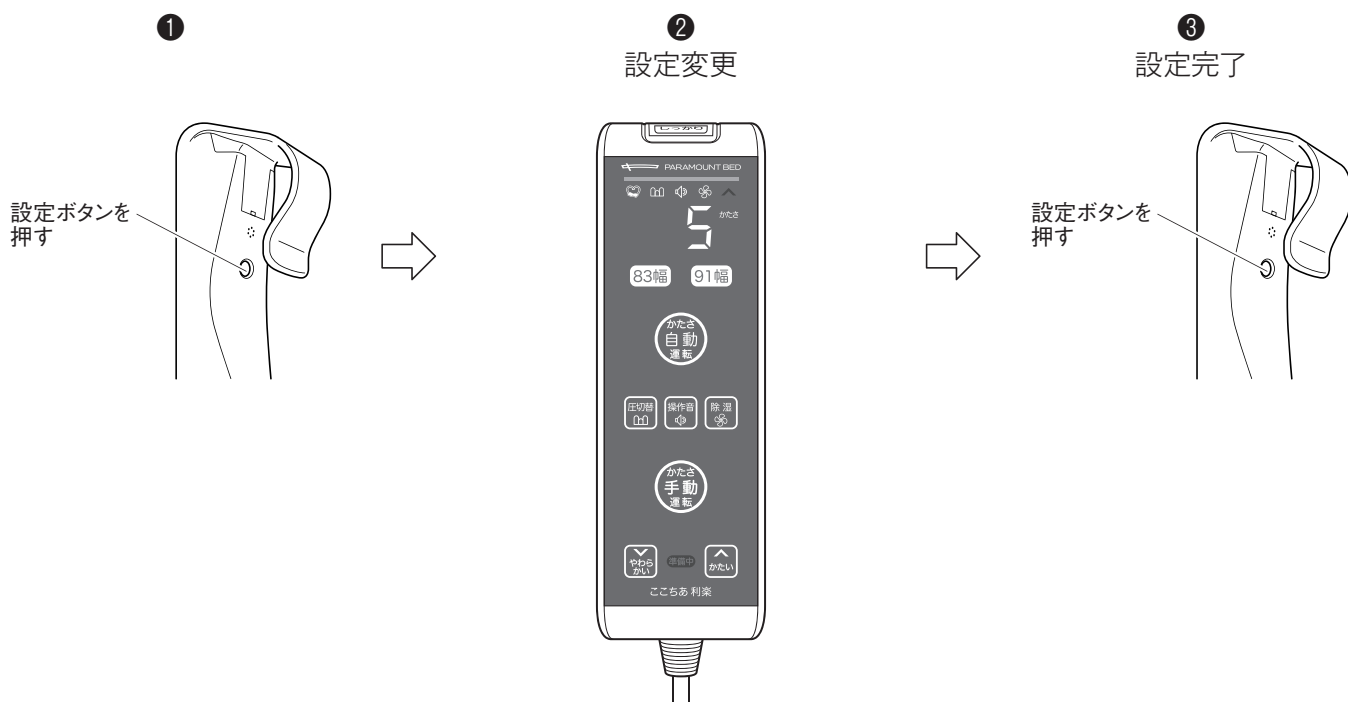
設定可能な機能	ボタン表示	状態表示	機能説明の記載ページ	操作方法の記載ページ
a) かたさ自動運転		—	12	53
b) かたさ手動運転		—	12	54
c) 圧切替機能			12	55
d) 操作音設定			13	55
e) 除湿機能			13	56

設定可能な機能	ボタン表示	状態表示	機能説明の記載ページ	操作方法の記載ページ
しっかりモード		—	13	56
圧迫軽減機能	—		13	57
ベッドからの電源供給機能	—		13	57



## (1) 設定表示への切替方法

- ① 操作パネル裏面の「設定」ボタンを押してください。
- ② 「設定」ボタンを押すと、各種設定ボタンが点灯し、操作可能になります。  
※各種設定ボタンのうち、選択されていない設定ボタンは暗く点灯します。
- ③ 操作パネル裏面の「設定」ボタンを押してください。
  - ・ 設定の変更が完了し、各種設定ボタンが消灯します。



## 6 使用方法

### (2) 各機能の設定変更方法



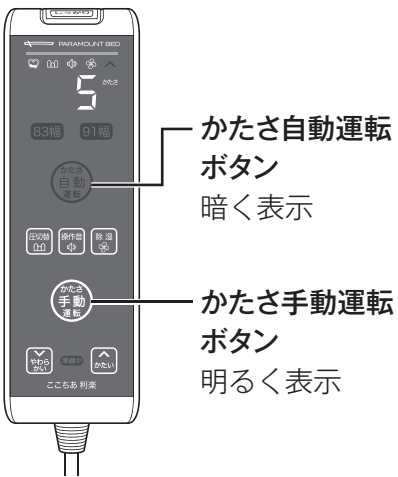
- エアマットレスの各機能の設定変更は、12・13ページに記載している各機能の説明をお読みにになり、ご理解されたうえで行ってください。
  - ・各機能の設定は医師や看護師、介護相談員などの専門家にご相談のうえ、使用する方の状態にあわせて調整してください。
  - ・不適切な状態に設定すると、効果的に体圧が分散できず床ずれが発生したり、期待する効果がでず、使用する方の健康に影響をおよぼしたりするおそれがあります。




- 設定表示中に各種設定を選択しても、再度操作パネル裏面の「設定」ボタンを押さないと、設定の変更は完了しません。  
※設定変更後は、状態表示に変更が反映されたことを確認してください。

#### a) かたさ自動運転（かたさ手動運転から切替える場合）

##### <かたさ手動運転選択時>

- 

①

  - ①操作パネル裏面の「設定」ボタンを押して、設定表示に切替えてください。  
※「かたさ手動運転」設定中は「かたさ自動運転」ボタンが暗く表示されます。
  - ②「かたさ自動運転」ボタンを押してください。
    - ・「かたさ自動運転」ボタンを押すと、「かたさ自動運転」ボタンが明るく表示され、マットレス幅設定ボタンが表示されます。
    - ・マットレス幅設定ボタンは設定されている幅が明るく表示され、設定されていない幅が暗く表示されます。
  - ③使用するマットレス本体のサイズ印字の幅を確認して、必要に応じてマットレス幅設定ボタンを押して、マットレス本体のサイズ印字の幅と操作パネルの幅設定をあわせてください。  
※接続するマットレスの幅を変更するときのみ、操作が必要です。
- 

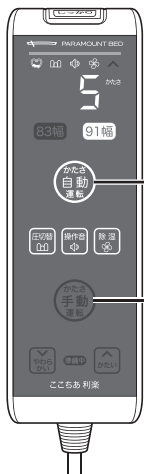
②

  - ④操作パネル裏面の「設定」ボタンを押してください。
    - ・設定の変更が完了し、各種設定ボタンが消灯します。

## b) かたさ手動運転（かたさ自動運転から切替える場合）

### <かたさ自動運転選択時>

①



かたさ自動運転  
ボタン  
明るく表示

かたさ手動運転  
ボタン  
暗く表示

① 操作パネル裏面の「設定」ボタンを押して、設定表示に切替えてください。

※「かたさ自動運転」設定中は「かたさ手動運転」ボタンが暗く表示されます。

② 「かたさ手動運転」ボタンを押してください。

・「かたさ手動運転」ボタンを押すと、「かたさ手動運転」ボタンが明るく表示され、「かたさ手動運転設定」ボタンが表示されます。

③ 状態表示の設定かたさを見ながら、「かたさ手動運転設定」ボタンを押してかたさを調整してください。

・使用者体重は20kg～138kgです。  
・かたさは2～14 $\Delta$ の14段階です。かたさの目安は下表の通りです。

かたさ	2	3	4	5	6	7	8
体重(kg)	20~24	25~34	35~44	45~54	55~64	65~74	75~84

かたさ	9	10	11	12	13	14	14 $\Delta$
体重(kg)	85~94	95~104	105~114	115~124	125~134	135~138	※

※高体重の方がベッドの背をあげたときに、14より硬いかたさが必要な際に設定します。

④ 操作パネル裏面の「設定」ボタンを押してください。

・設定の変更が完了し、各種設定ボタンが消灯します。

②



設定かたさ

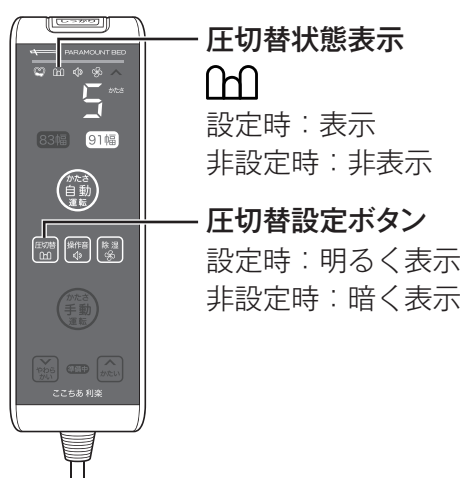
かたさ自動運転  
ボタン  
暗く表示

かたさ手動運転  
ボタン  
明るく表示

かたさ手動運転設定  
ボタン

## 6 使用方法

### c) 圧切替設定





#### 圧切替状態表示



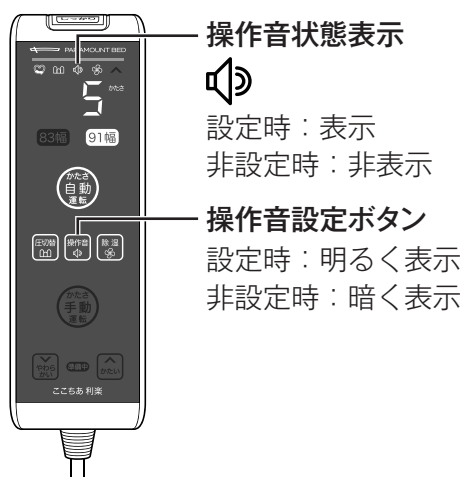
設定時：表示  
非設定時：非表示

#### 圧切替設定ボタン

設定時：明るく表示  
非設定時：暗く表示

- ① 操作パネル裏面の「設定」ボタンを押して、設定表示に切替えてください。
- ② 「圧切替」設定ボタンを押して、設定/非設定を切替えてください。
  - ・「圧切替」設定中：「圧切替」ボタンが明るく表示され、が表示されます。
  - ・「圧切替」非設定中：「圧切替」ボタンが暗く表示され、が非表示になります。
- ③ 操作パネル裏面の「設定」ボタンを押してください。
  - ・設定の変更が完了し、各種設定ボタンが消灯します。

### d) 操作音設定





#### 操作音状態表示



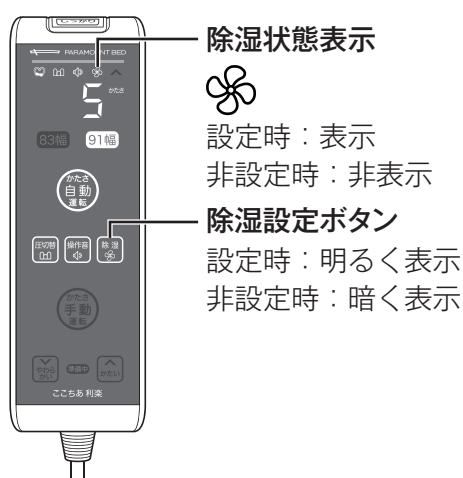
設定時：表示  
非設定時：非表示

#### 操作音設定ボタン

設定時：明るく表示  
非設定時：暗く表示

- ① 操作パネル裏面の「設定」ボタンを押して、設定表示に切替えてください。
- ② 「操作音」設定ボタンを押して、設定/非設定を切替えてください。
  - ・「操作音」設定中：「操作音」ボタンが明るく表示され、が表示されます。
  - ・「操作音」非設定中：「操作音」ボタンが暗く表示され、が非表示になります。
- ③ 操作パネル裏面の「設定」ボタンを押してください。
  - ・設定の変更が完了し、各種設定ボタンが消灯します。

## e) 除湿設定



- ① 操作パネル裏面の「設定」ボタンを押して、設定表示に切替えてください。
- ② 「除湿」設定ボタンを押して、設定/非設定を切替えてください。
  - ・「除湿」設定中：「除湿」ボタンが明るく表示され、が表示されます。
  - ・「除湿」非設定中：「除湿」ボタンが暗く表示され、が非表示になります。
- ③ 操作パネル裏面の「設定」ボタンを押してください。
  - ・設定の変更が完了し、各種設定ボタンが消灯します。

## (3) しっかりモード



### 【しっかりモードONの操作方法】

- 操作パネル天面の「しっかりモード」ボタンを押してください。
  - ・しっかりモードに切替わり、残り時間表示になります。(57ページ1つ目の図参照)
  - ※60分経過すると自動でしっかりモードはOFFになります。



- しっかりモードで、ベッドの背をあげる際は、使用する方の状態に注意してください。マットレスが屈曲しにくいいため、滑り落ちたり、転落したりして、けがをするおそれがあります。



- 操作パネル裏面の「設定」ボタンを押して設定表示中は「しっかりモード」ボタンを操作できません。

## 6 使用方法



### 【しっかりモードOFFの操作方法】

- しっかりモード運転中に操作パネル天面の「しっかりモード」ボタンを押してください。
  - ・しっかりモードがOFFになり、通常表示に戻ります。
  - ※しっかりモードがOFFになった場合、エアマットレスの各機能の設定は、しっかりモードをONにする前の設定に戻ります。

### (4) 圧迫軽減機能/ベッドからの電源供給機能（ベッドリンクケーブルタイプD・Eのみ）



### 【圧迫軽減機能/ベッドからの電源供給機能ON】

- 20~42ページを参照して、ベッドリンクケーブルとポンプ本体を接続してください。圧迫軽減機能/ベッドからの電源供給機能がONになります。

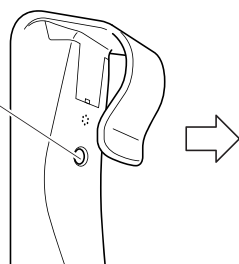
### 【圧迫軽減機能/ベッドからの電源供給機能OFF】

- ベッドリンクケーブルを外したり、ベッドの電源コードを抜いたりすると、圧迫軽減機能/ベッドからの電源供給機能がOFFになります。

### (5) 設定リセット

①

設定ボタンを押す



② しっかりモードボタンを長押しする

① 操作パネル裏面の「設定」ボタンを押してください。

② 「しっかりモード」ボタンを長押ししてください。「ピー」と音が鳴り、設定がリセットされます。



●設定リセットにより、かたさ自動運転の幅設定は変更されません。

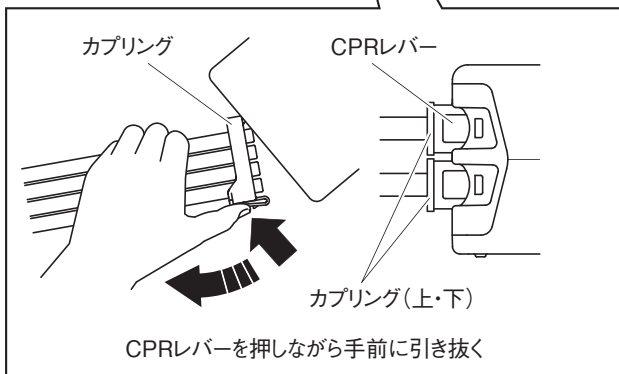
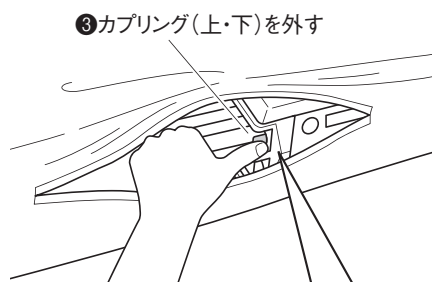
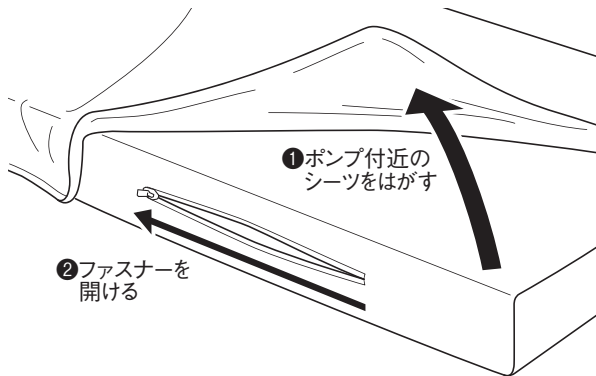




## 5. CPR機能の使いかた

■緊急時などにCPR機能を使用することで、エアマットレスの空気がすばやく排出され、30秒で心臓マッサージが行えるようになります。

※空気が排出される時間は、使用する方の体格やモードの設定状態によって異なります。



### 注意

- カプリングを外す際は、左下図のようにCPRレバーを押しながら、引き抜いてください。無理に引っ張るとカプリングが破損する原因となります。
- カプリング(上・下)を外す際は、周りのものに注意してください。勢いよく外すと手などがものに当たり、けがをするおそれがあります。



- CPR機能を使用した後、再度ポンプ本体とマットレス本体を接続する際は、18・19ページを参照してください。

# 7 お手入れと点検

## 1. お手入れ

警告

- お手入れは、電源プラグおよびベッドリンクケーブルを抜いて行ってください。エアマットレスが誤動作し、けがをするおそれがあります。
- お手入れ後は、グライドシートおよびエアセルと側地（ボトムカバー、ポンプカバー）をつなぐ紐が確実に結ばれていることを確認してください。お手入れのために紐をほどいた場合は、お手入れ後に各部の紐を確実に結んでください。紐がほどけていると、エアセルが片寄り効果的に体圧分散できなくなるおそれがあります。

注意

- ACアダプターを入れたまま側地を洗淨しないでください。ACアダプターが破損するおそれがあります。
- お手入れのためにポンプ本体をマットレス本体から外した場合は、カプリング（上・下）およびポンプ本体の差込口（上段・下段）に水などが浸入しないように注意してください。ポンプ本体やエアセルに水分が浸入すると、故障やカビ発生の原因となります。お手入れ後は18・19ページを参照して、ポンプ本体をマットレス本体に固定してください。
- お手入れ後は、ファスナーが確実に閉まっていることを確認してください。お手入れのために側地を外した場合は、お手入れ後に側地のファスナー（4本）を確実に閉めてください。開いているファスナーから水分などが浸入して、詰め物（エアセル・送風チューブなど）が劣化したり、カビが発生したりする原因となります。
- マットレス洗淨機やオートクレーブ滅菌器・オゾン殺菌器などでは洗淨しないでください。エアマットレスや洗淨・殺菌設備などが変質・破損・劣化するおそれがあります。

### マットレス本体のお手入れ

**【側地の清拭方法】**（清拭タイプの側地・ポンプカバー、通気タイプのポンプカバー）

■ マットレス本体の側地が汚れたり、使用される方が替わったりする際は、必ずマットレス本体の側地全面を、下記の手順（①～④）に従ってお手入れしてください。なお、マットレス本体の裏面をお手入れする際は、18ページの「ポンプ本体とマットレス本体（カプリング）の接続」および19ページの「ポンプ本体とマットレス本体（ポンプカバー）の設置」を参照して、ポンプ本体をマットレス本体から取り外してから行ってください。

● エアマットレスは定期的に清拭消毒してください。

① 汚物があれば除去してください。（血液・便など）

② 石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）でマットレス本体の表面（ひょうめん）の側地を拭き、汚れを落としてください。

注意

- ファスナーを開けて清拭をしないでください。詰め物（エアセル・送風チューブなど）が劣化したり、カビが発生したりする原因となります。ファスナーが開いている場合は、閉めてください。
- 血液・尿・皮脂などの汚れは放置せず、こまめに中性洗剤や石鹼を用いて落としてください。放置すると側地が劣化したり、においやしみが残ったりするおそれがあります。
  - ・ 使用中についた側地においては、市販の口内洗淨剤を使用すると軽減する場合があります。
  - ・ しみがある場合は、オキシドール（過酸化水素水：濃度3%）でしっかり拭き取ってください。
- 揮発性のもの（シンナー・ベンジン・ガソリンなど）は使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。

③ 消毒剤でマットレス本体の表面（ひょうめん）を清拭消毒してください。

消毒剤は、必ず下記の薬品を指定の濃度を守って使用してください。また、各消毒剤の取扱い方法に従って使用してください。

76.9 ~ 81.4%	消毒用エタノール	0.05~0.2%	塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）
70%	イソプロパノール	0.05~0.2%	塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）
0.02~1.0%	次亜塩素酸ナトリウム （ピューラックスなど）	0.05%	グルコン酸クロルヘキシジン （ヒビテンなど）

注意

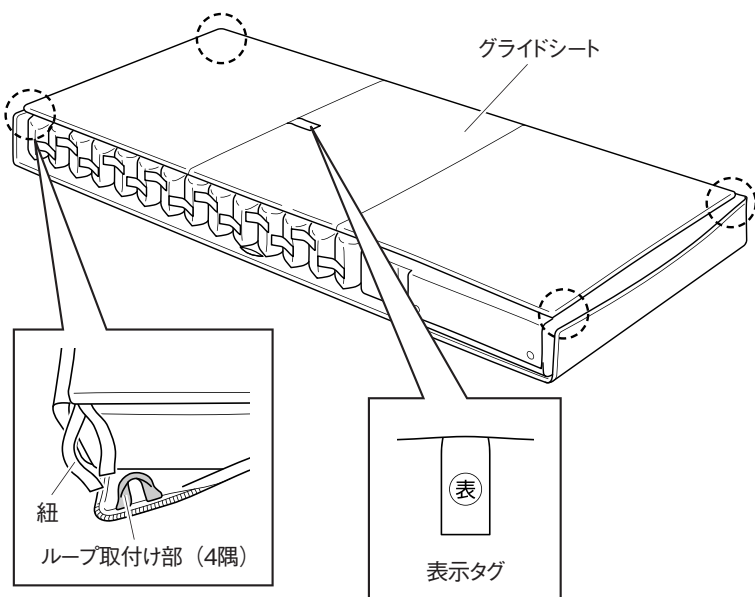
- 消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。側地の防水性能などの劣化や変色が生じるおそれがあります。

④ ベッドの上などで自然乾燥させてください。また、天日干しはしないでください。

### 【側地（トップカバー）の洗浄方法】（清拭タイプ）

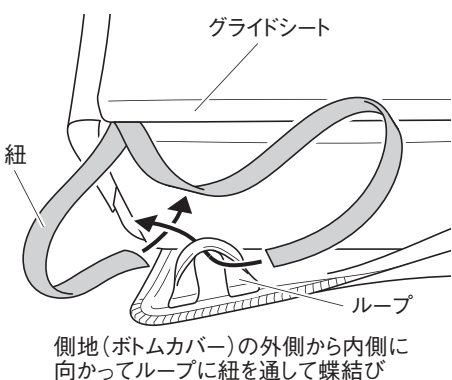
- ①側地（トップカバー）と側地（ボトムカバー）を留めているファスナーを開けて、側地（トップカバー）を側地（ボトムカバー）から取外してください。
- ②石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）で、つけ洗いしてください。
- ③洗剤がなくなるまで水ですすいでください。
- ④側地（トップカバー）が破損しないように、ねじらず軽く絞ってください。
- ⑤陰干しして完全に乾燥させてください。
- ⑥側地（トップカバー）と側地（ボトムカバー）を留めるファスナーを閉じてください。

### 【グライドシート・ウレタンフォームの洗浄方法】（清拭タイプ・通気タイプ）



- ①側地（トップカバー）と側地（ボトムカバー）を留めているファスナーを開けて、側地（トップカバー）を側地（ボトムカバー）から取外してください。
- ②側地（ボトムカバー）の4隅のループからグライドシートの紐を解いてグライドシートとウレタンフォームを一緒に取外してください。
- ③グライドシートとウレタンフォームを分離せず、石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）で、一緒につけ洗いしてください。
- ④洗剤がなくなるまで水ですすいでください。
- ⑤グライドシートやウレタンフォームが破損しないように、ねじらず軽く絞ってください。
- ⑥陰干しして完全に乾燥させてください。

### ■グライドシートの取付かた



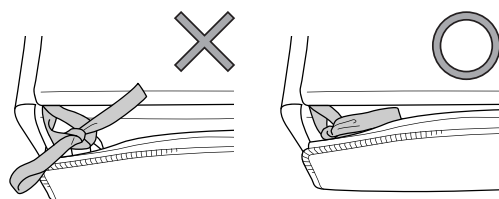
- ①グライドシートを「表」（おもて）表示タグが表側になるようにエアセルの上に敷いてください。
- ②グライドシートの4隅の紐を側地（ボトムカバー）のループに蝶結びで結んでください。
- ③側地（トップカバー）と側地（ボトムカバー）を留めているファスナーを閉じてください。



- グライドシートを取付けるときは、中のウレタンシートの片寄りやよれがないようにしてください。
- グライドシートとウレタンフォームは分離しないでください。分離した場合は、グライドシートの内側と外側が裏返っていないことを確認してウレタンフォームを入れてください。（「表」（おもて）表示タグがグライドシートの外側につくようにしてください）

**注意**

- グライドシートの紐をループに結ぶときは、結んだ紐が側地（ボトムカバー）の外にはみ出さないように側地（ボトムカバー）の内側で紐を結んでください。側地（トップカバー）と側地（ボトムカバー）を留めるファスナーを閉じる際に紐がはさまりファスナーが破損するおそれがあります。



## 7 お手入れと点検

### 【側地（トップカバー）の洗浄方法】（通気タイプ）

- ①側地（トップカバー）と側地（ボトムカバー）を留めているファスナーを開けて、側地（トップカバー）を側地（ボトムカバー）から取外してください。
- ②下記の絵表示に従ってください。（品質表示ラベルにも同様の記載がされています）



- ・洗濯機で弱い洗濯処理ができます
- ・洗濯の液温は40℃が限度です



- ・低面温度110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができます
- ・あて布を使用してください



- ・塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができます



- ・ドライクリーニング処理はできません



- ・洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができます
- ・排気温度は60℃が限界です（低温乾燥）



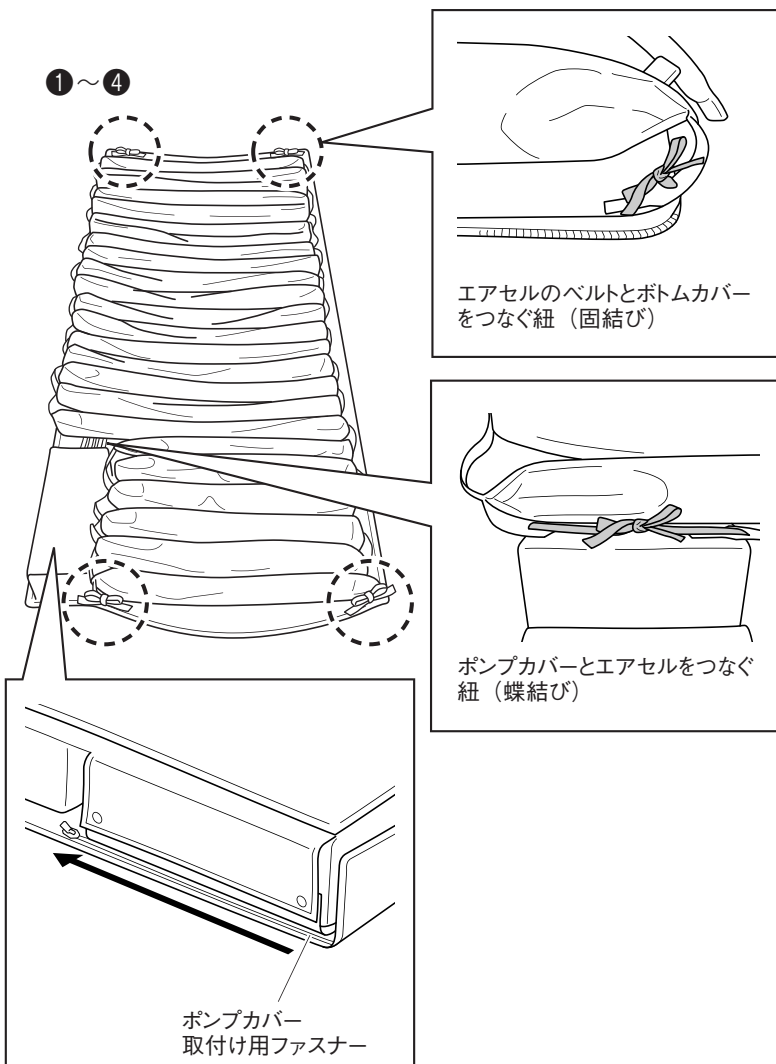
- ・普通操作のウェットクリーニング処理ができます



- ・日陰でのつり干し乾燥がよいです

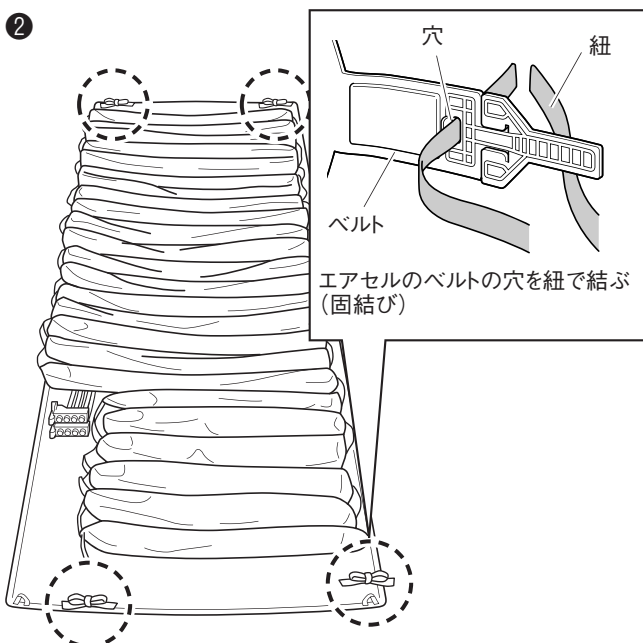
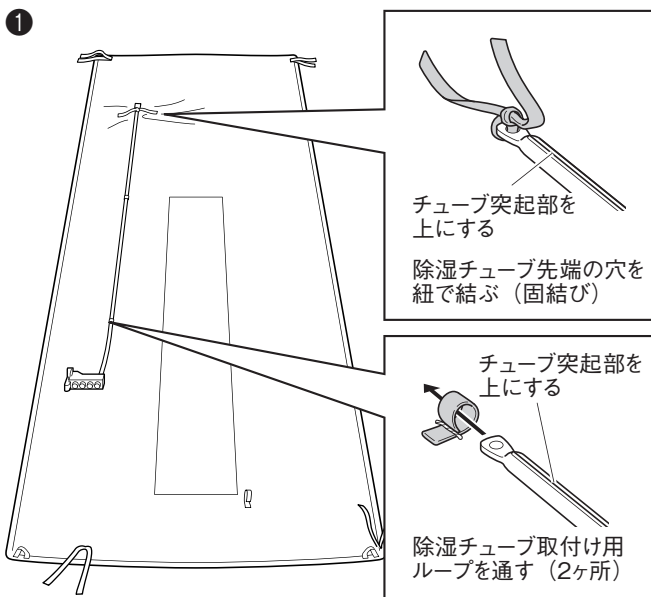
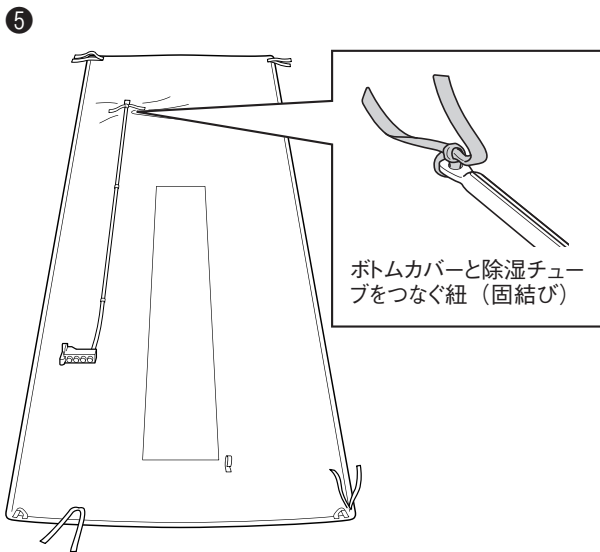


- 側地にアイロンをかける場合は、グライドシートやポンプカバー、エアセルを取外してください。



### 【側地（ボトムカバー）の洗浄方法】（通気タイプ）

- ①側地（トップカバー）と側地（ボトムカバー）を留めているファスナーを開けて、側地（トップカバー）を側地（ボトムカバー）から取外してください。
- ②側地（ボトムカバー）の4隅のループからグライドシートの紐をほどいてグライドシートを取外してください。
- ③ポンプカバーとエアセルとつないでいる紐をほどき、ポンプカバー取付け用ファスナーを開いてポンプカバーを側地（ボトムカバー）から取外してください。
- ④側地（ボトムカバー）の4隅とエアセルのベルトをつないでいる紐をほどき、エアセルを側地（ボトムカバー）から取外してください。



- ⑤側地（ボトムカバー）と除湿チューブをつないでいる紐をほどき、除湿チューブを側地（ボトムカバー）から取外してください。
- ⑥上記【側地（トップカバー）の洗浄方法】記載の絵表示に従ってください。

### ■側地（ボトムカバー）の取付けかた

- ①側地（ボトムカバー）の除湿チューブ取付け用ループ（2ヶ所）に除湿チューブを通し、側地（ボトムカバー）の紐を除湿チューブ先端の穴を通して固結びで結んでください。

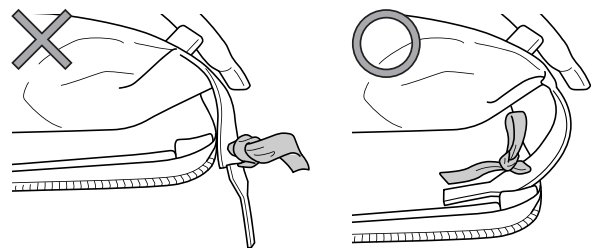


●除湿チューブを取付ける場合はチューブの突起部を上にして、ねじれないように取付けてください。

- ②側地（ボトムカバー）の4隅についている紐をエアセルのベルトの穴に通して固結びで結んでください。（4ヶ所）

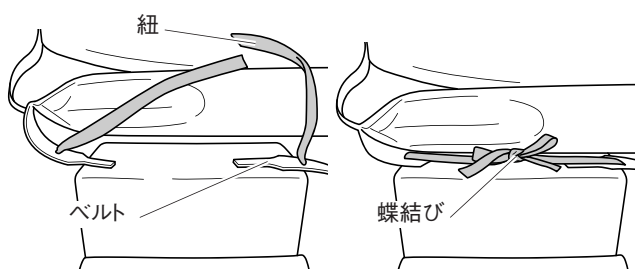
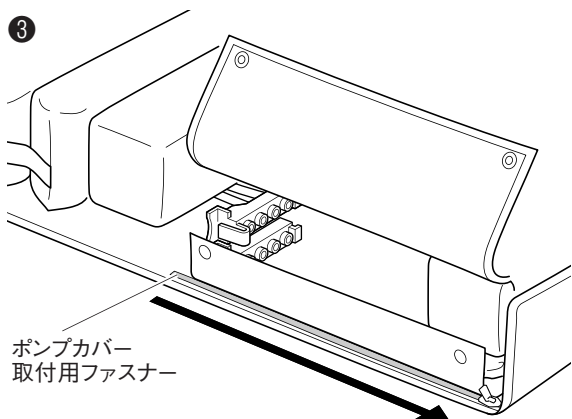
### ちゅうい 注意

- 側地（ボトムカバー）の紐をエアセルのベルトに結ぶときは、結んだ紐およびベルトが側地（ボトムカバー）の外にはみ出さないように、側地（ボトムカバー）の内側で紐を結んでください。側地（トップカバー）と側地（ボトムカバー）を留めるファスナーを閉じる際に紐やベルトがはさまりファスナーが破損するおそれがあります。





## 7 お手入れと点検



- ③ 側地（ボトムカバー）のポンプカバー取付用ファスナーにポンプカバーを取付けて、ポンプカバーの紐を隣接するエアセルのベルトの穴を通して結んでください。（蝶結び）
- ④ 60ページの「グライドシートの取付けかた」を参照してボトムカバーにグライドシートを取付けてください。
- ⑤ 側地（トップカバー）と側地（ボトムカバー）を留めているファスナーを閉じてください。

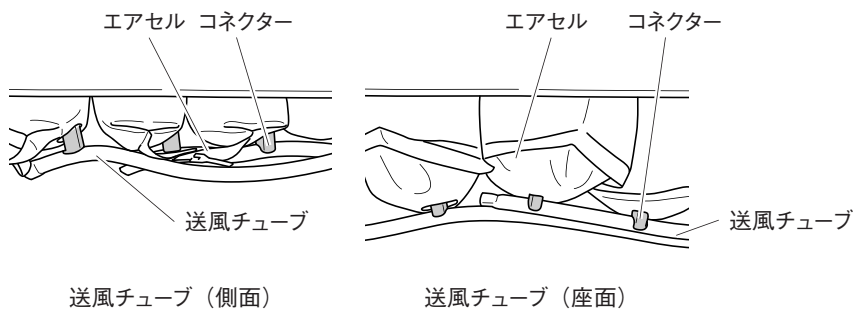
### 【エアセルの清拭方法】



- エアセルをお手入れする際は、エアセル1本1本をマットレスから分離しないでください。
- 長期間使用すると、エアセルのウレタンフィルムが変色することがありますが、機能的には問題ありません。

- ① カプリング（上下）をポンプ本体から取外し、エアセルの空気を抜いてください。
- ② 側地（トップカバー）を取外してください。
- ③ 59ページの【側地の清拭方法】を参照して、エアセルを清拭してください。
- ④ 自然乾燥させ、必ずカプリング（上下）とポンプ本体を確実に取付けてください。（18ページ参照）
- ⑤ 側地のファスナーをしっかりと閉めてください。

- お手入れ後は送風チューブのコネクターが外れていないことを確認してください。空気の供給ができなくなるおそれがあります。





## ポンプ本体のお手入れ方法

### 【ポンプ本体の清拭方法】

■ポンプ本体は定期的にお手入れを行ってください。お手入れの際は、電源プラグおよびベッドリンクケーブルを抜き、ポンプ本体をマットレス本体から取外してから、以下の手順で行ってください。

- ①汚物があれば除去してください。（血液・便など）
- ②石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）でポンプ本体を拭き、汚れを落としてください。



- 血液・尿・汗・皮脂などのたいていの汚れやにおいては中性洗剤や石鹼で落とせますが、放置されるとにおいが残ったり、しみになったりする場合があります。しみがある場合は、オキシドール（過酸化水素水：濃度3%）でしっかり拭き取ってください。
- 揮発性のもの（シンナー・ベンジン・ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。

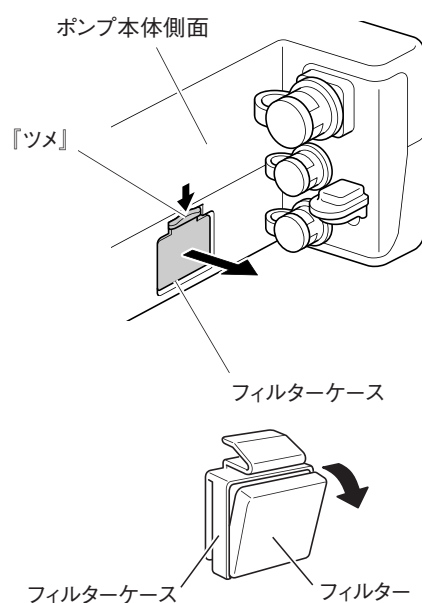
③消毒剤でポンプ本体を清拭消毒してください。

消毒剤は、必ず下記の薬品を指定の濃度を守って使用してください。また、各消毒剤の取扱い方法に従って使用してください。

- |             |                       |
|-------------|-----------------------|
| ●76.9～81.4% | 消毒用エタノール              |
| ●70%        | イソプロパノール              |
| ●0.05～0.2%  | 塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）    |
| ●0.05～0.2%  | 塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）    |
| ●0.05%      | グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど） |

## フィルターの交換

■フィルターは定期的に点検・交換をしてください。点検・交換の際は、電源プラグおよびベッドリンクケーブルを抜き、以下の手順で行ってください。



①ポンプ本体側面にあるフィルターケースの『ツメ』を押し、ケースを取出してください。

②フィルターを交換してください。

※ここちあ用フィルターについては、販売店またはここちあセンター（78ページ参照）までお問い合わせください。



●フィルターの交換が終わったら、フィルター確認モード（65ページ参照）の操作に従ってフィルター使用時間をリセットしてください。

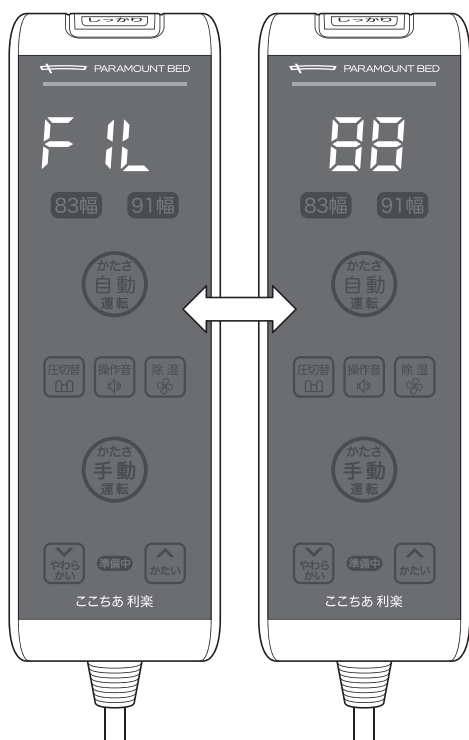


- フィルターは定期的に点検を行ってください。フィルターが目詰まりしていると、正常に作動しないおそれがあります。
- フィルター交換の際、指定の「ここちあ用フィルター」を確実に取付けてください。指定以外のフィルターを取付けたり、付け忘れしたりすると、ポンプ内部に虫やほこりが入り込み、正常に作動しないおそれがあります。また、故障の原因となります。

# 7 お手入れと点検

## 2. 点検

### フィルター確認モード



■フィルターの使用時間の確認およびフィルター使用時間のリセットが  
できます。



- フィルター確認モード中はポンプは動作せず、操作パネルにボタンは表示されません。
- フィルター確認モードでの作業が終了しましたら、すぐに通常の表示に戻して使用してください。

- ①操作パネル裏面の設定ボタンを長押ししてください。
- ②状態表示画面に「FIL」の表示とフィルター使用時間の表示が交互に表示されます。  
※フィルター使用時間は100の桁より上の数字が表示されます。  
例) 160時間→表示“1” 80時間→表示“0”  
※使用場所や環境・使用時間により異なりますが、連続使用の場合、フィルターは表示“88”が交換の目安です。

#### ■フィルター確認モードの終了方法

操作パネル裏面の設定ボタンを押してください。または、1分経過でフィルター確認モードは終了します。

#### ■フィルター使用時間のリセット方法

フィルター確認モード中に操作パネル上面のしっかりモードボタンを3秒間押ししてください。  
・「ピー」と音が鳴ってフィルター使用時間の表示が“0”になります。



- フィルターを交換した後は、フィルター使用時間をリセットしてください。

日常点検

■使用する際は、以下の点に注意して日常点検を行ってください。

名称	点検項目	確認方法
マットレス 本体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 極端に沈み込んでいないか (図1)</li> <li>※ 圧切替モードのときは、一部のエアセルが凹んでいます。</li> <li>※ マットレスが極端に沈み込んでいる場合、エアセルが破損しているおそれがあります。内部のエアセルを確認し、68～72ページの「<b>8</b> 故障かな?と思ったら」を参照して、処置を行ってください。</li> </ul>	触感
操作パネル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電源ランプは緑色に点灯しているか</li> <li>・ エラーコードが出ていないか</li> <li>※ 電源ランプが緑色に点灯していない場合やエラーコードが表示されている場合、68～72ページの「<b>8</b> 故障かな?と思ったら」を参照して、処置を行ってください。</li> </ul>	
カプリング (上下)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポンプ本体に確実に固定されているか</li> <li>※ 確実に固定されていない場合は、16～19ページの「3. ポンプ本体の設置」を参照して、再度接続してください。</li> </ul>	目視
ケーブル接続部 (ポンプ本体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケーブルやACアダプターコネクタは確実に接続されているか</li> <li>※ 確実に接続されていない場合は、16・17ページの「3. ポンプ本体の設置」、40・41ページの「ベッドリンクケーブルとポンプ本体の接続」を参照して、再度接続してください。</li> <li>・ キャップは確実に取付けられているか (操作パネル・ベッドリンクケーブル接続時は除く) (図2参照)</li> <li>※ 外れている場合、水分やほこりなどが入り込み、感電・故障の原因となります。確実に取付けてください。</li> </ul>	

図 1

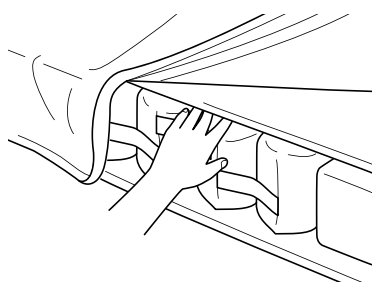
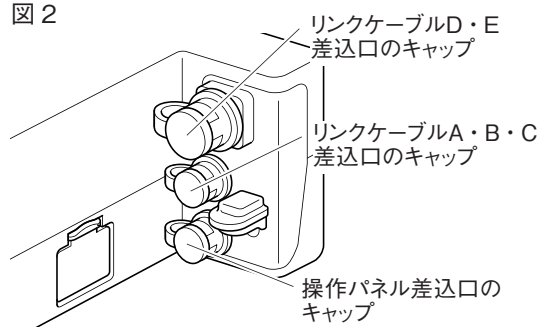


図 2



## 7 お手入れと点検

### 定期点検

■安全にご使用いただくために、1年に1回は点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に以下の項目を点検してください。

■異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、ここちあセンター（78ページ参照）までお問い合わせください。

名称	点検項目	確認方法
側地	・ 破損していないか	目視
マットレス本体 内部	・ スナップボタンが取付けられているか ・ 送風チューブとエアセルが接続されているか ・ カプリング（上・下）と送風チューブが接続されているか（図3参照）	
ポンプ本体	・ 破損していないか ・ フィルターが汚れていないか ※フィルターが汚れている場合は、64ページの「フィルターの交換」を参照して、フィルターを交換してください。	
カプリング （上・下）	・ 破損していないか	
コード類	・ 傷や破損がないか ・ ベッド配線用クランプがずれて、電源コードがたるんでいないか ※電源コードがたるんでいる場合は、44ページの「ベッド配線用クランプの取付けかた」を参照して、正しく配線してください。 ・ ベッドリンクケーブルがたるんでいないか ※ベッドリンクケーブルがたるんでいる場合は20～42ページを参照して、正しく配線してください。	
操作パネル	・ コードがエアマットレスやベッドに絡まっていないか ・ プラグやコードに傷などがいないか ・ 操作パネル本体に傷や破損がないか	

図 3



## 8 故障かな?と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- チェック・処置をしても正常に動作しない場合や原因が分からない場合は、ただちにエアマットレスの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く、またはベッドリンクケーブルD・Eをベッドのエアマットレスコンセントまたはコントロールボックスから抜いて、販売店またはここちあセンター（78ページ参照）まで修理をご依頼ください。
- 故障や一時的異常の場合は操作パネルにエラーコードが表示されることがあります。（72ページ参照）

症状・状態	エラーコード	チェック	処置	参照ページ
操作パネルの電源が入らない	—	ACアダプターを使用する場合は、以下を確認してください。 ・電源プラグはコンセントに接続されていますか？ ・電源コードはACアダプターに接続されていますか？ ・ACアダプターコネクタはポンプ本体に接続されていますか？	・電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ・電源コードをACアダプターに差し込んでください。 ・ACアダプターコネクタをポンプ本体に差し込んでください。	15・16
		ベッドリンクケーブルDを使用する場合は、以下を確認してください。 ・ベッドリンクケーブルは、ベッドのエアマットレスコンセントに接続されていますか？ ・ベッドリンクケーブルはポンプ本体に接続されていますか？ ・ベッドの電源プラグはコンセントに接続されていますか？	・ベッドリンクケーブルをベッドのエアマットレスコンセントに差し込んでください。 ・ベッドリンクケーブルをポンプ本体に差し込んでください。 ・ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。	22・41
		ベッドリンクケーブルEを使用する場合は、以下を確認してください。 ・ベッドリンクケーブルは、ベッドのコントロールボックスに接続されていますか？ ・ベッドリンクケーブルはポンプ本体に接続されていますか？ ・ベッドの電源プラグはコンセントに接続されていますか？	・ベッドリンクケーブルをベッドのコントロールボックスに接続してください。 ・ベッドリンクケーブルをポンプ本体に差し込んでください。 ・ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。	27~32・35・36・41
		エアマットレスの電源プラグ（ベッドリンクケーブルD・Eを使用する場合は、ベッドの電源プラグ）はコンセントに差し込んでいるが、操作パネルの電源ランプが消えていませんか？	コンセントに他の電気機器のプラグを差し込んで、電気が来ているかを確認してください。	—
ポンプ本体が動かない	H02・H03・H07・H08	—	エアマットレスの使用を中止し、販売店またはここちあセンターまでご連絡ください。	78
ポンプ本体は動いているが操作パネルの電源が入らない	—	操作パネルはポンプ本体に接続されていますか？	操作パネルをポンプ本体に接続してください。	17
エアマットレスが膨らまない	—	—	フィルターが目詰まりしている可能性があります。フィルターを交換してください。交換フィルターは販売店またはここちあセンターまでご連絡ください。	64・65・78
	U10・U11・U12・U13・U14・U19	カプリング（上・下）がポンプ本体から抜けていませんか？	カプリング（上・下）をポンプ本体の差込口に差直してください。	18

## 8 故障かな?と思ったら

症状・状態	エラーコード	チェック	処置	参照ページ
部分的に エアセルの空気 が抜けている	—	圧切替設定がONになっていませんか？	圧切替設定がONに設定されているため、エアマットレスが順次膨張・収縮します。故障ではありません。	12・55
		ベッドリンクケーブルを接続した状態で、ベッドの背あげ/背さげをしませんでしたか？	圧迫軽減機能が働いているため、エアマットレスが順次膨張・収縮します。故障ではありません。	13・57
	U10・U11・ U12・U13・ U14・U19	エアセルに穴が開いていませんか？	エアセルが破損しています。販売店またはここちあセンターまでご連絡ください。	78
		エアセルと送風チューブの接続が外れていませんか？	エアセルと送風チューブを接続してください。	63
		送風チューブとカプリング（上・下）の接続が外れていませんか？	送風チューブとカプリング（上・下）を接続してください。	67
	U21・U22・ U23・U24	送風チューブが折れ曲がっていませんか？	送風チューブを伸ばして接続してください。	63
エアマットレスが やわらかすぎる	—	かたさ手動運転設定で極端に低い かたさに設定していませんか？	かたさ設定の目安を見ながらかたさを手動設定してください。またはかたさ自動運転をご使用ください。	53・54
		使用する方がベッドから離れていませんか？	かたさ自動運転はベッドから10分以上離れると、かたさ"5"に設定されます。使用する方が寝られると再び使用する方に適したかたさに自動で設定されます。故障ではありません。	12
エアセルが 順次膨張・収縮 しない	—	圧切替設定がOFFになっていませんか？	順次膨張・収縮させる場合は、圧切替設定をONにしてご使用ください。	12・55
		しっかりモードがONになっていませんか？	しっかりモード中はエアセルが順次膨張・収縮しません。故障ではありません。	13・56・57
		エアセルに穴が開いていませんか？	エアセルが破損しています。販売店またはここちあセンターまでご連絡ください。	78
		送風チューブが折れ曲がっていませんか？	送風チューブを伸ばして接続してください。	63
	U28・U29	ヒーターやストーブの風がポンプに当たっていませんか？または、電気掛毛布などの電気機器を40℃以上で使用していませんか？	ポンプ本体が暖まらないようにして、使用してください。	10
操作パネルに ボタンが表示 されない	—	操作パネル裏面の設定ボタンを押しましたか？	操作パネル裏面の設定ボタンを押してください。	52
		フィルター確認モードになっていませんか？	フィルター確認モード中は操作パネルにボタンは表示されません。故障ではありません。	65
	U02	操作パネルが正しく接続されていますか？	操作パネルを正しく接続してください。	17
		操作パネルのコードが傷ついていませんか？	販売店またはここちあセンターに、操作パネルの修理（交換）を依頼してください。	78



症状・状態	エラーコード	チェック	処置	参照ページ
操作パネルにボタンが表示されない	U08	—	エアマットレスの使用を中止し、販売店またはここちあセンターまでご連絡ください。	78
操作パネルのボタンを押しても、設定が変わらない	—	操作パネル裏面の設定ボタンを押しましたか？	操作パネル裏面の設定ボタンを押してください。	52
		設定変更後に操作パネル裏面の設定ボタンを再度押しましたか？	設定変更後に操作パネル裏面の設定ボタンを再度押してください。	53~56
		操作パネルの表面に触れながら、裏面の設定ボタンを押しましたか？	表面に触れながら裏面の設定ボタンを押すと、ボタンが反応しにくいことがあります。表面に触れないようにしながら、裏面の設定ボタンを押し直してください。	52
		操作パネルの表面ボタンを押している時間が短くありませんか？	操作パネルの表面ボタンは、1秒程度押して操作してください。	53~56
	U02	操作パネルが正しく接続されていますか？	操作パネルを正しく接続してください。	17
		操作パネルのコードが傷ついていませんか？	販売店またはここちあセンターに、操作パネルの修理（交換）を依頼してください。	78
		電子治療器などを使用していますか？	電子治療器などを使用している場合、操作パネルの設定はできません。通信状態の異常を検知する機能が働いた可能性があります。故障ではありません。なお、エアマットレスを優先して使用したい場合は、電子治療器などの使用をおやめください。また、電子治療器などを使用する場合は、エアマットレスおよびベッドの電源プラグをコンセントから抜いてから使用してください。	—
U00・U09	操作ボタンが押され続けていませんか？	押されているボタンを離してください。	—	
操作パネルの押していないボタンが反応する	—	—	操作パネルの表面に触れないようにしながら、設定ボタンを押し直してください。	52
			人差し指や小指で操作してください。	53~56
エアマットレスが硬すぎる	—	かたさ手動運転設定で極端に高いかたさに設定していませんか？	かたさ設定の目安を見ながらかたさを手動設定してください。またはかたさ自動運転をご使用ください。	53・54
		しっかりモードがONになっていませんか？	しっかりモードがONに設定されているため、マットレス内部の圧力が高くなっています。必要時以外はOFFにしてご使用ください。	13・56・57
	H02	—	エアマットレスの使用を中止し、販売店またはここちあセンターまでご連絡ください。	78

## 8 故障かな?と思ったら

症状・状態	エラーコード	チェック	処置	参照ページ
かたさ自動運転の設定値が使用する方の体重とあわない	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドの背あげをしていませんか?</li> <li>・ポジショニングをしたり、座位をとっていませんか?</li> <li>・エアマットレスを使用する方は骨突出や円背・下肢拘縮がある方ですか?</li> </ul>	かたさ自動運転中は体重に加えて、ベッドの背あげや使用する方の寝姿勢・体形にあわせて、かたさは自動設定されます。故障ではありません。	12・53
		マットレス本体のサイズ印字の幅と操作パネルの幅設定が間違っていますか?	操作パネルの幅設定をマットレス本体のサイズ印字の幅とあわせてください。	53
ベッドリンクケーブルを接続しても圧迫軽減機能/ベッドからの電源供給機能表示が表示されない	—	ベッドリンクケーブルは、正しく接続されていますか?	ベッドリンクケーブルの接続を確実に行ってください。	20~42
		ベッドの電源プラグはコンセントに接続されていますか?	ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。	—
		ベッドリンクケーブルが破損していませんか?	ベッドリンクケーブルを交換してください。	—
	ベッドリンクマーク  が点滅	ベッドリンクケーブルは、正しく接続されていますか?	ベッドリンクケーブルの接続を確実にいき、ベッドの背あげを行ってください。	20~42
		ベッドリンクケーブルが破損していませんか?	ベッドリンクケーブルを交換してください。	—
ポンプ本体が動いたり止まったりする	—	—	正常に動作しています。故障ではありません。	—
ポンプ本体内部でコンコン音がする	—	—	正常に動作しています。故障ではありません。	—
ポンプ本体がうるさい	—	ポンプ本体が、正しい位置に設置されていますか?	指定されている方法で、ポンプ本体を正しく設置してください。	16~19
		操作パネルの「準備中」表示が点灯していませんか?	操作パネルの「準備中」表示が点灯している間や背あげ/背さげ時の圧迫軽減動作中はターボ運転を行っており、通常運転時より運転音が大きくなります。故障ではありません。	13・48
底づきをしてしまう	—	かたさ手動運転設定で極端に低いかたさに設定していませんか?	かたさ設定の目安を見ながらかたさを手動運転設定してください。またはかたさ自動運転をご使用ください。	53・54
		かたさ自動運転がOFFの状態ではベッドの背あげをしていませんか?	ベッドの背あげをする際は、かたさ自動運転をONに設定するか、底づかないことを確認しながらかたさ手動運転設定でかたさ設定をあげてください。	53・54
		エアマットレスを使用する方は骨突出や円背、下肢拘縮が顕著な方ですか?	骨突出や円背、下肢拘縮が顕著な方が底づいてしまう場合は、底づかないことを確認しながら、かたさ手動運転設定でかたさ設定をあげてください。	54
異臭がする	—	定期的にお手入れしていますか?	「お手入れ」を参照してお手入れをしてください。	59~67

## 【エラー発生時の操作パネルの表示内容】

- エラーには軽微エラーと重度エラーの2種類があり、エラーが発生すると操作パネルの電源ランプが軽微エラーは黄色に点灯、重度エラーは赤色に点滅し、エラーコードが表示されます。

### 軽微エラー



以下の状態になると、エラー表示が解除されます。

- ・エラーが解消される
- ・電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに差し込む（ACアダプターを使用している場合）
- ・ベッドリンクケーブルD・Eをベッドから抜き、再度ベッドに差し込む（ACアダプターを使用していない場合）

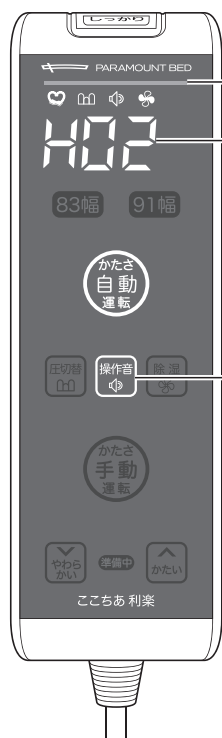
#### 電源ランプ

エラー表示中は黄色に点灯します。

#### エラー表示

軽微エラーのエラーコードは"U00"で表示されます。

### 重度エラー



重度エラーが発生すると、警告音が鳴りポンプ本体の動作は停止します。

※エラー発生時は、エアマットレスの使用を中止し、販売店またはここちあセンター（78ページ参照）までご連絡ください。

※重度エラー表示中は、操作音ボタンが点灯します。操作音ボタンを押すことで警告音を止めることができます。

#### 電源ランプ

エラー表示中は赤色に点滅します。

#### エラー表示

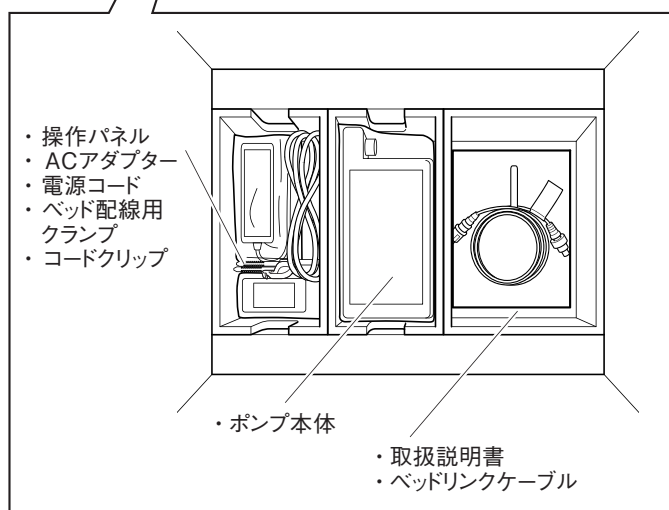
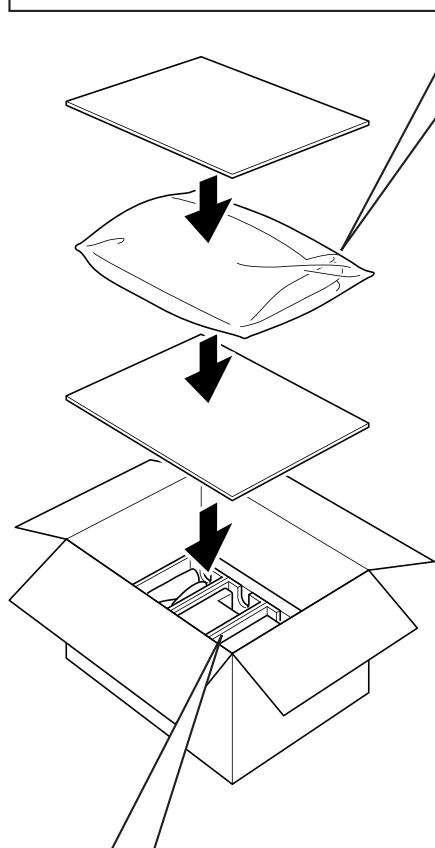
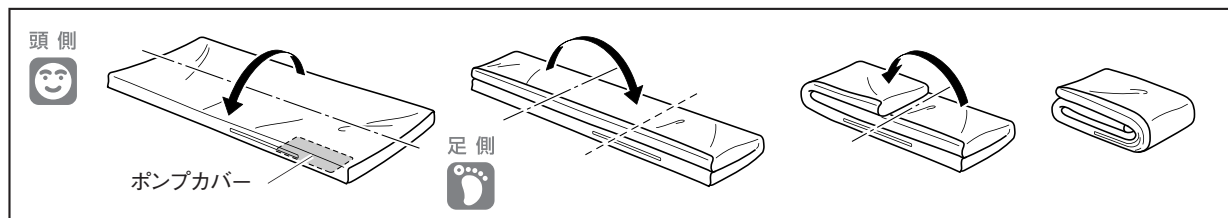
重度エラーのエラーコードは"H00"で表示されます。

#### 操作音ボタン

警告音を停止します。

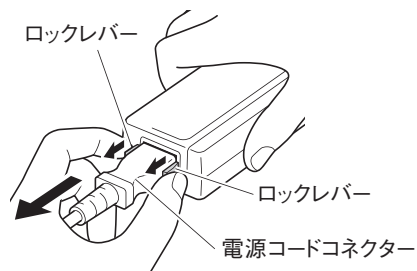
## 9 長期保管・輸送と廃棄について

■長期にわたりエアマットレスをご使用にならないときやエアマットレスを梱包して輸送するときは、以下に記載の【エアマットレスのしまいかた】に従い、エアマットレスを段ボールに入れてから保管・輸送してください。



### 警告

- 電源コードコネクタには抜け防止のロック機構が備わっています。電源コードをACアダプターの電源コードコネクタ差込口から抜く際は、電源コードコネクタ左右のロックレバーを引きながら抜いてください。ロックレバーを引かずに抜こうとすると、電源コードコネクタや電源コードが破損・断線して、感電・火災のおそれがあります。



### 【エアマットレスのしまいかた】

- ①コンセントから電源プラグを抜き、ポンプ本体からACアダプターコネクタを抜いて、ACアダプターをポンプカバーから取出し、電源コードをACアダプターから取外して付属のケーブルクランプで束ねてください。ACアダプターはお買い上げ時に入っていたエアキャップ袋に梱包してください。  
※ベッドリンクケーブルD・Eを使用している場合はベッドリンクケーブルD・Eをベッドのエアマットレスコンセントまたはコントロールボックスから抜いて、付属の面ファスナーで束ねてください。また、ポンプ本体から取外し、リンクケーブルD・E差込口にキャップを取付けてください。(41ページ参照)

②ポンプ本体から操作パネルを取外し、キャップをポンプ本体のケーブル接続部の操作パネル差込口に取付けてください（17ページ参照）。操作パネルはお買い上げ時に入っていたエアキャップ袋にコードクリップとともに梱包してください。

※ベッドリンクケーブルA・B・Cを使用している場合は、ベッドリンクケーブルを取外し、ポンプ本体のリンクケーブルA・B・C差込口にキャップを取付けてください。（40ページ参照）

※ベッドリンクケーブルがAタイプの場合はコントロールボックスのキャップを、Bタイプの場合は手元スイッチのプラグをベッドのコントロールボックスに取付けてください（20～42ページ参照）。ベッドリンクケーブルと付属の面ファスナーは、お買い上げ時に入っていたビニール袋に梱包してください。

③マットレス本体からポンプ本体を取外してください。（16～19ページ参照）

④ポンプ本体・操作パネル（コードクリップを含む）・ACアダプター・電源コード・ベッド配線用クランプ・取扱説明書・ベッドリンクケーブル（面ファスナー（白・黒）を含む）を、73ページの図の様に、お買い上げ時に入っていたビニール袋とパッドを用いて、段ボール箱に梱包してください。

⑤マットレス本体を73ページの図の様に折りたたんで、お買い上げ時に入っていたビニール袋に入れ、段ボール箱に入れてください。マットレス本体の上にお買い上げ時に入っていたパッドを置いてください。



●重いものを載せないでください。

●高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所・直射日光を避けてください。

※保管環境：温度  $-10\sim 60^{\circ}\text{C}$  湿度  $0\sim 85\% \text{RH}$

※詰め物（エアセル・送風チューブなど）が変色するおそれがありますが、製品の機能に問題はありません。

※におい（ウレタン臭など）が気になる場合は、風通しのよい日陰にエアマットレスを1日放置したり、お手入れ（59～64ページ参照）することで、においは低減します。

●取扱説明書を紛失しないよう、大切に保管してください。



ちゅう  
い  
**注 意**

●保管温度・湿度の範囲内で保管してください。カビの発生や故障の原因となります。

## 廃棄方法

■各パーツを素材ごとに分けてください。

■廃棄の際は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」および各自治体の規制に従ってください。

# 10 仕様

## ■マットレス本体およびポンプ本体

品名		エアマットレスこちあ利楽シリーズ								
品番		清拭タイプ				通気タイプ				
		KE-971S	KE-973S	KE-972S	KE-974S	KE-971T	KE-973T	KE-972T	KE-974T	
マットレス 本体	サイズ (cm)	幅	91	83	91	83	91	83	91	83
		長さ	191		180		191		180	
		厚さ	13 (ポンプ内蔵部のみ 15)							
	材質	トップ カバー	ポリエステル70%・ポリウレタン30% (抗菌・難燃・防水・透湿)				ポリエステル100% (抗菌・難燃・防カビ・消臭)			
		グライド シート生地	ポリエステル100%							
		グライド シート ウレタン	ポリウレタン100% (難燃)							
		ボトム カバー	ポリエステル90%・ポリウレタン10% (抗菌・難燃・防水)				ポリエステル100% (抗菌・難燃・防カビ)			
		ポンプ カバー	ポリエステル90%・ポリウレタン10% (抗菌・難燃・防水)							
		チューブ	塩化ビニル100% (抗菌・難燃)							
		エアセル カプリング	ポリウレタン100% (抗菌・難燃) PC / PBT樹脂 (難燃)							
エアセル本数	3連セル： 8本	3連セル： 8本	3連セル： 7本 2連セル： 1本	3連セル： 7本 2連セル： 1本	3連セル： 8本	3連セル： 8本	3連セル： 7本 2連セル： 1本	3連セル： 7本 2連セル： 1本		
製品質量(kg)	6	5.6	5.8	5.3	5.8	5.4	5.6	5.1		
ポンプ 本体	サイズ(cm)	幅15×長さ33×厚さ10								
	主な材質	ケース ABS樹脂 (難燃・耐薬)								
	製品質量(kg)	3								
操作 パネル	サイズ(cm)	縦17×横5.6×厚さ5.6 (フック含む)								
	製品質量(kg)	0.3								
AC アダプター	サイズ(cm)	幅6×長さ12×厚さ3.6								
	製品質量(kg)	0.3								
電源 コード	プラグ	2P								
	コード	VCTF (黒) φ7mm								
	長さ	4.5m								
	製品質量(kg)	0.4								
動作保証 条件	使用温度/湿度	0~40℃ / 30~85% RH								
	保管温度/湿度	-10~60℃ / 0~85% RH								
使用者体重(kg)		20~138								
電源電圧		DC24V								
消費電力		20W								
耐用期間		5年[自己認証 (当社データ) による] ※ただし、消耗部品は除く								

## ■ベッドリンクケーブル (別売)

製品コード		E92CQ		E92CH	E97CH	E97CQ	
タイプ		Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ	Eタイプ	
長さ(cm)		230				62	250
コネクター	ベッド側	ミニDIN 8極オス	ミニDIN 8極オス	DIN 8極オス	DIN 8極オス	DIN 8極オス	
	ポンプ側	ミニDIN 8極オス	ミニDIN 8極オス	ミニDIN 8極オス	DIN 8極オス	DIN 8極オス	
	手元スイッチ側	/		ミニDIN 8極メス	/		
色		ダークグレー				ケーブル：ライトグレー コネクター：紫	



## 11 適合品



●適合品は仕様変更などにより変わる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

### ■ベッド

- ・小児ベッドは適合しません。
- ・ベッドリンクケーブルを接続できるベッドにつきましては、21ページの一覧表を参照してください。

### 【ベッドの適合品】

適合品 ※延長フレーム・延長マットレス・78cm幅・100cm幅は除く
KA-85000シリーズ
KA-60000シリーズ
メーティスPROシリーズ
メーティスシリーズ
ウッディー/ドージェシリーズ
スタンダードベッド
KA-5000シリーズ
アルデコラシリーズ
KA-4000シリーズ
エスパシアシリーズ
カリストエールシリーズ
KA-7900シリーズ
FeeZシリーズ
ベーシックベッド
KA-4351 (ドミトリーベッド)
KRシリーズ
KR+シリーズ
楽匠Zシリーズ
楽匠FeeZシリーズ
レントシリーズ
楽匠Sシリーズ
楽匠シリーズ
介護用ベッド KQ-5000シリーズ
介護用ベッド KQ-50000シリーズ
介護用ベッド KQ-60000シリーズ
INTIME 1000シリーズ
INTIME 2000シリーズ ※木製ボードセットを取付けた場合のみ適合

# 11 適合品

## 【その他の適合品】



けい  
**警告**  
こく

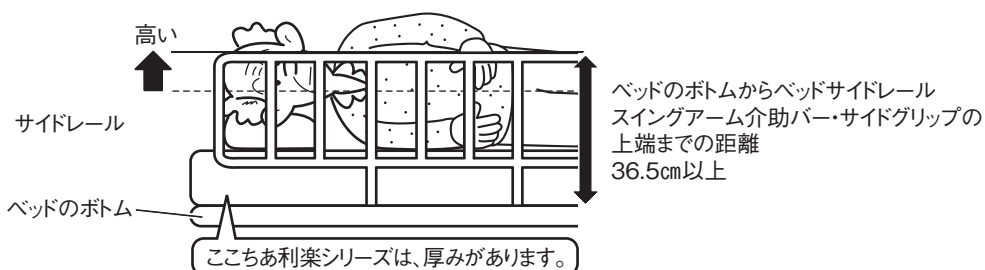
●エアマットレスと組合せて使用するベッドなどは弊社が指定する適合品をご使用ください。指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりエアマットレスが破損したりするおそれがあります。



●適合品は仕様変更などにより変わる場合があります。最新の情報やご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

### ■ベッドサイドレール・スイングアーム介助バー・サイドグリップ

・適合品は、ベッドやベッドサイドレール・スイングアーム介助バー・サイドグリップの取扱説明書および弊社のカatalogもあわせてご確認のうえ、適合が認められている製品から選択し、且つ下記の適合基準を満たす組合せでご使用ください。



●同じベッドサイドレールやスイングアーム介助バー・サイドグリップでも適合するベッドが異なります。ご使用になるベッドとベッドサイドレールなどの組合せで確認してください。

●メーティスシリーズとカリストエールシリーズは、KS-151Gの組合せは不適合になります。

### ■オーバーレイ（KE-351他：清拭タイプ・通気タイプ）

・適合しません。

### ■サイドサポート

・使用するベッドにより適合する取付けかたが異なります。取付けかたの詳細につきましては、直接弊社までお問い合わせください。

## 12 アフターサービスについて

### 1.保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

### 2.修理を依頼される時

取扱説明書の「故障かな?と思ったら」(68～72ページ参照)に従って調べてください。それでも直らないときは、エアマットレスの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはここちあシリーズ製品専用の修理受付窓口であるここちあセンター(下記参照)までご連絡ください。

#### ■連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号(3ページ「各部の名称と部品の確認」参照)
- お買い上げ日 ●破損または異常の内容(できるだけ詳しく) ●施設名、お名前、ご住所および電話番号

#### ■消耗部品について

- 操作パネル・フィルター・ベッド配線用クランプ・ケーブルクランプ・ポンプ本体内部部品・ベッドリンクケーブル・コードクリップ・面ファスナーは消耗部品です。

#### 保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

### 3.部品の最低保有年数は

弊社ではこの製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間を製造打ち切り後6年としております。

### 4.アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはここちあセンターまでお問い合わせください。

ここちあセンター ☎0120-02-5518

受付時間:9:00～17:20(年始休業を除く)

#### 【ここちあセンターについて】

ここちあセンターは、パラテクノ株式会社のここちあシリーズ製品専用のお問い合わせ窓口です。パラテクノ株式会社は、弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

#### <パラマウントベッド 株式会社>

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111(大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171(代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211(代)
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合9丁目4番7号	☎(048)852-0707(代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600(代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)

# 保証書

品名	エアマットレス こちあ 利楽シリーズ	品番	全機種
保証期間	1年間		
★お買い上げ日	年 月 日		
お客様	お名前		
	ご住所	〒□□□□ - □□□□ ☎ ( )	
★販売店	店名		
	住所	☎ ( )	

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので販売店から発行された★印欄の情報が確認できる領収書などを、本保証書と一緒に大切に保管してください。

この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

## 保証規定

- 保証期間内（お買い上げの日より1年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
  - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
  - 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
  - お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
  - 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
  - 保証書のご提示がない場合
  - 本保証書の保証期間および販売店名が確認できない場合
  - 字句を書き換えるなどの不正行為が発覚した場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
  - This warranty is valid only in Japan.

修理実施日	修理内容	担当者

※この保証書は、本書に明示した期間、条件の基において無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはこちあセンターまでお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書の中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

パラマウントベッド株式会社

〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号